

阿賀町一般廃棄物処理基本計画 (案)

令和8年3月

阿賀町

目 次

第1章 計画策定にあたって	1
1. 計画策定の趣旨と目的	1
2. 対象地域	1
3. 計画期間	1
4. 計画の位置付け	2
第2章 地域の概況	3
1. 地理的概要	3
2. 社会的概要	5
3. 上位計画の概要	11
第3章 ごみ処理の実績	13
1. ごみ処理フロー	13
2. ごみ処理体制	14
(1) ごみ収集運搬の実施主体	14
(2) ごみ処理主体	16
(3) ごみの分別・収集方法	16
3. ごみ排出量	17
(1) ごみ排出量の推移（生活系）	17
(2) ごみ排出量の推移（事業系）	18
(3) ごみ排出量の推移（総量）	19
(4) 1人1日あたりのごみ排出量	20
4. ごみ処理量	22
(1) 中間処理量の推移（焼却処理）	22
(2) 中間処理量の推移（資源化）	23
(3) 最終処分量の推移	24
5. その他	25
(1) ごみ性状の推移	25
(2) 排出ガス濃度	26
(3) ごみ処理費の推移	27
6. 他自治体との比較	28
7. 前回計画の目標との比較	31
8. 課題の抽出	32

第4章 ごみ処理基本計画	33
1. ごみ処理施設の変更	33
2. 目標の設定	39
3. 将来ごみ排出量等の推計	41
4. ごみ処理基本計画の取り組み	60
第5章 生活排水処理の実績	65
1. 生活排水処理フロー	65
2. 生活排水処理体制	66
3. 形態別処理人口の推移	70
4. し尿・浄化槽汚泥処理量	71
第6章 生活排水処理基本計画	73
1. 目標の設定	73
2. 将来生活排水処理量等の推計	74
3. 生活排水処理基本計画の取り組み	77

巻末資料

1. 将来推計の方法

第1章 計画策定にあたって

1. 計画策定の趣旨と目的

本町では、平成 27 年 3 月に一般廃棄物処理基本計画（ごみ、生活排水）（以下、前回計画とする。）を策定している。前回計画では計画目標年度を平成 27 年度から平成 37 年度（令和 7 年度）までの 10 年間としていることから、前回計画目標の達成状況を確認するとともに、今後の計画目標を示すものとする。

前回計画策定時との大きな変化として、可燃ごみ、粗大（可燃）ごみに関して、これまで本町が管理する阿賀町クリーンセンターにて焼却処理をしていたが、令和 7 年 4 月より供用となったクリーンセンターあがのがわでの処理が開始され、ごみ処理体制が大きく変化した。また、同様に、不燃ごみ、粗大ごみ（不燃）、有害ごみは五泉地域衛生組合が管理する不燃物処理センターにて処理をしていたが、これらもクリーンセンターあがのがわにて処理することになった。

さらに、前回計画策定から廃棄物処理に関する法律として、「食品ロスの削減の推進に関する法律」（令和元年 10 月 1 日）、「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」（令和 4 年 4 月 1 日）が施行されていることから、これらを踏まえて一般廃棄物処理基本計画を策定する。

2. 対象地域

本計画の対象地域は、阿賀町全域とする。

3. 計画期間

本計画は、令和 8 年度を計画初年度とし、令和 22 年度までの 15 年間の計画とする。なお、計画策定の 5 年後の令和 13 年度、または、計画策定の 10 年後の令和 18 年度を中間目標年度として設定し、見直しを行う。また、廃棄物処理に関する条件に大きな変化があった場合には、見直しを行うものとする。

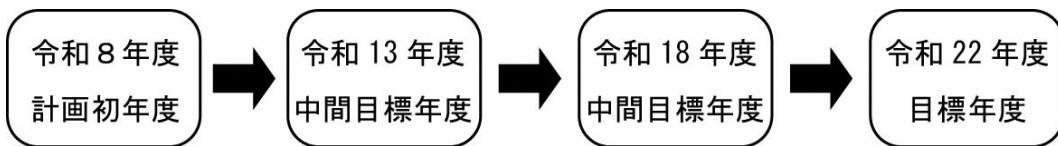


図 1.1 計画期間

4. 計画の位置付け

本計画は、国が定めた関連法令および関連計画、県が定めた関連計画や町が定めた総合計画を上位計画とし、これらに沿うよう一般廃棄物の減量化、再資源化、適正処理に取り組むための基本方針とする。

本計画の位置付けを図 1.2 に示す。

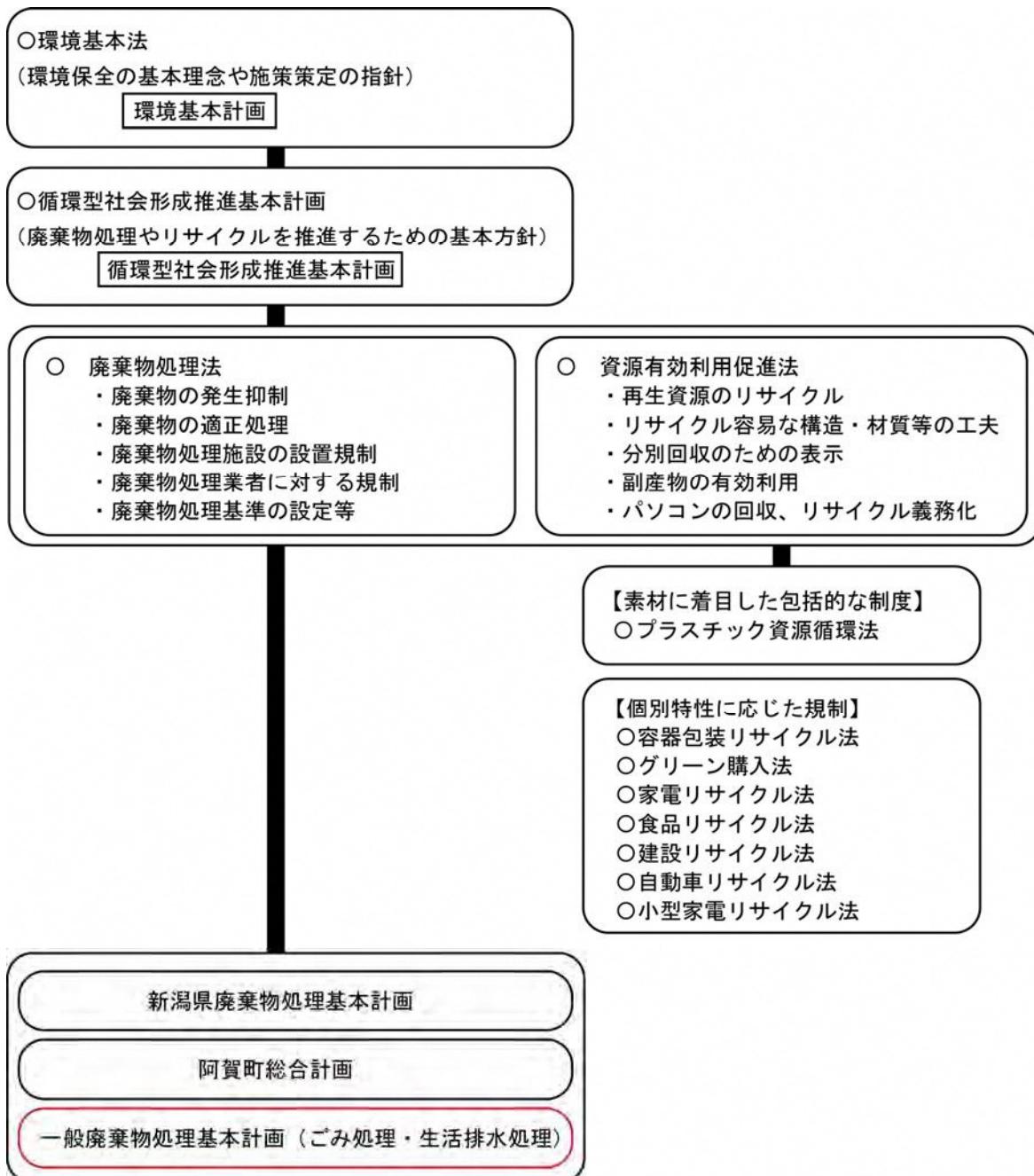


図 1.2 本計画の位置付け

第2章 地域の概況

1. 物理的要素

(1) 位置

阿賀町の位置を図 2.1 に示す。

阿賀町は新潟県の東部に位置し、東は福島県に接し、一部を山形県に接しており、西は新発田市、阿賀野市、五泉市、三条市に接している。

町の中央を阿賀野川とその支流の常浪川が流れ、その周辺は急峻な山岳地帯となっており、北側に飯豊山塊が広がり、北西側には越後山脈が南北に走っている。

町の面積は 952 平方キロメートルで新潟県の 30 市町村のうち、村上市、上越市に次ぐ 3 番目に広い面積となっている。



図 2.1 阿賀町の位置

(2) 気象の状況

令和6年度の阿賀町周辺の天候を表2.1、図2.2に示す。

阿賀町は日本海側気候と内陸性気候の両方の特徴を持ち合わせている。

降水量：高温多湿で降水量も多く、冬の降雪時期の積雪は平坦部で1.5m、山間部で2.5mに達し、特別豪雪地帯に指定されている。

気温：年間の平均気温は約13°Cであるが、年間の最高気温と最低気温の差が30°Cを超え、さらに1日の気温差も大きくなっている。

風速：平均風速は0.8~1.3m/sの範囲で比較的穏やかな風況となっている。また、冬季の間は北寄りの風が多いが、それ以外は南から南東よりの風が多くなっている。

日照時間：年間日照時間は1,400時間程度であり、全国平均と比較すると少なくなっている。

表2.1 阿賀町の気象（アメダス津川局（令和6年度））

月	降水量 (mm)	気温 (°C)			平均風速 (m/s)	最大風速 (m/s)		日照時間 (h)
		日平均	日最高	日最低		風速	風向	
4	88.5	13.2	21.1	6.0	1.2	5.2	南南東	198.3
5	84.5	15.1	22.9	8.4	0.9	4.7	北	193.9
6	97.0	20.3	26.6	14.9	0.9	4.5	南	193.3
7	459.0	24.4	29.0	21.6	0.8	3.6	南南東	83.4
8	85.5	26.1	31.8	22.6	0.8	5.3	南南東	178.1
9	304.5	23.0	28.3	19.6	0.8	5.0	南南東	135.6
10	151.0	16.2	22.2	11.9	1.0	6.3	南	116.8
11	233.5	8.8	14.2	4.8	0.9	5.0	南	100.4
12	446.5	1.9	4.6	-0.3	0.9	5.5	北北西	20.5
1	355.0	0.5	4.0	-1.6	0.8	3.8	南南西	51.5
2	266.0	0.0	3.9	-3.4	1.3	6.5	北北西	49.7
3	86.0	4.2	9.9	-0.5	1.1	5.0	南東	107.1

資料：気象庁アメダスデータ（津川局）

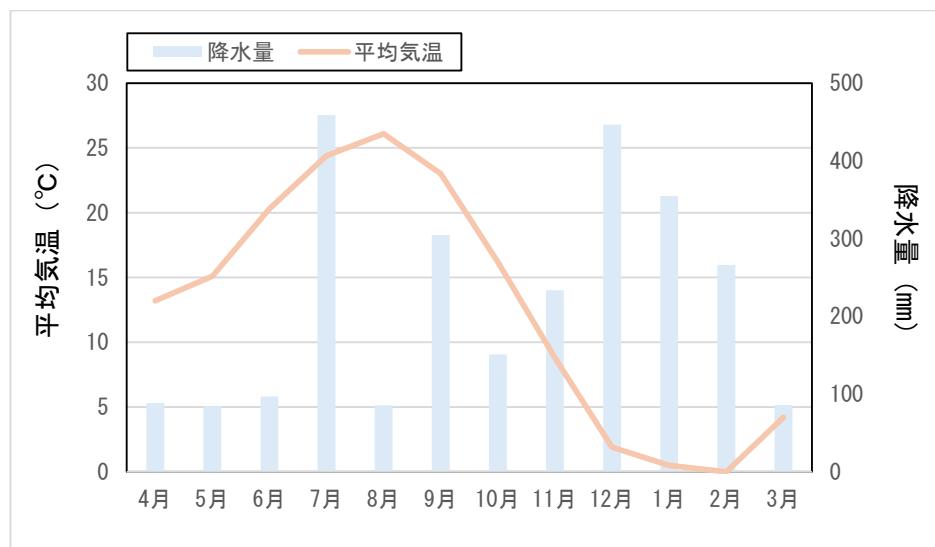


図2.2 阿賀町の平均気温と降水量（アメダス津川局（2024年度））

2. 社会的概要

(1) 人口の状況

阿賀町の人口および世帯数の推移を表 2.2、図 2.3 に示す。

人口については平成 27 年度から、減少し続けており平成 27 年度から令和 6 年度の 10 年間で、約 3,100 人が減少している。

世帯数も同様に減少しているものの、人口と比較するとその減少率は緩やかである。それに伴い 1 世帯あたりの人口も少なくなっている、平成 27 年度に 1 世帯あたり 2.5 人であったが令和 6 年度において 1 世帯あたり 2.2 人となっている。

表 2.2 人口および世帯数の推移（平成 27 年度～令和 6 年度）

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
人口（人）	12,222	11,874	11,538	11,174	10,775	10,444	10,153	9,855	9,467	9,107
世帯数（世帯）	4,844	4,777	4,702	4,641	4,561	4,505	4,447	4,382	4,286	4,190
1 世帯あたりの人口（人）	2.5	2.5	2.5	2.4	2.4	2.3	2.3	2.2	2.2	2.2

資料：住民基本台帳（人口は外国人を含めた人数）、各年 9 月 30 日の人口

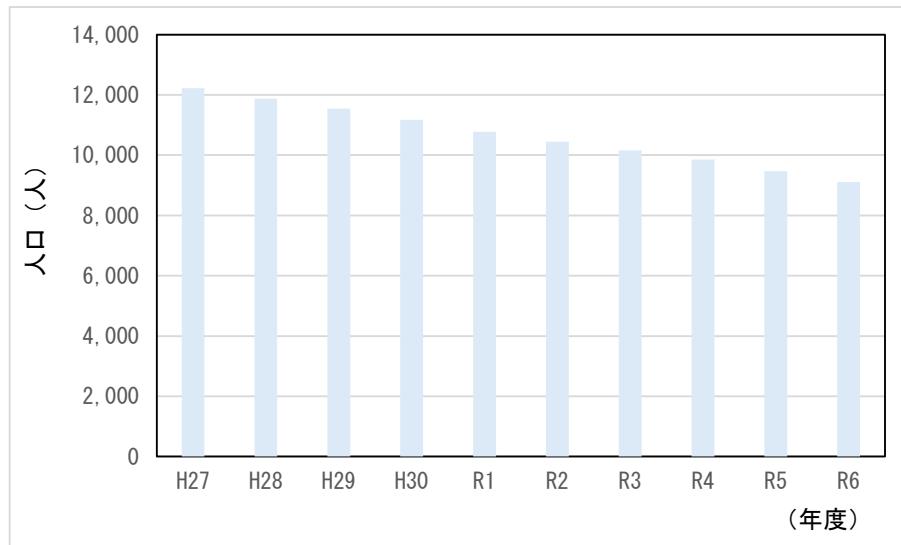
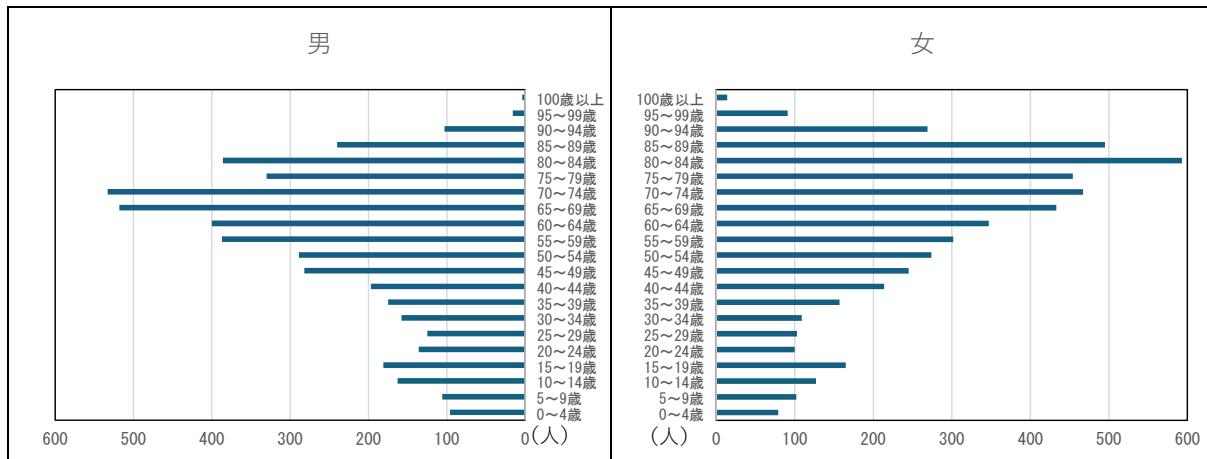


図 2.3 人口の推移

男女別の人ロピラミッドを図2.4に示す。

これを見ると、男性では70～74歳が最も多く、500人程度となっている。女性では80～84歳が最も多く、600人近い人数となっている。一方で、労働力となる20～39歳は男女合わせても1,000人程度であり、高齢化が進行している状況である。



資料：令和2年度 国勢調査結果

※年齢不詳は100歳以上とした。

図2.4 人口ピラミッド

(2) 産業の状況

阿賀町の事業所数および従業者数を表2.3、図2.5、2.6に示す。

事業所数では、卸売業、小売業の比率が多く全体の約22%となっている。続いて建設業、生活関連サービス業、娯楽業となっている。

従業者数では製造業が最も高く、約18%となっている。製造業は事業所数では約8%であったが、1つの事業所に多くの従業者を雇っているためと考えられる。また、製造業に次いで卸売業、小売業となっている。

表2.3 事業所数および従業者数（令和3年度）

	事業所数		従業者数	
	(事業所)	割合	(人)	割合
A_農業、林業	35	6.5%	273	7.5%
B_漁業	-	-	-	-
C_鉱業、採石業、砂利採取業	2	0.4%	26	0.7%
D_建設業	90	16.6%	626	17.2%
E_製造業	41	7.6%	660	18.1%
F_電気・ガス・熱供給・水道業	1	0.2%	7	0.2%
G_情報通信業	-	-	-	-
H_運輸業、郵便業	15	2.8%	115	3.2%
I_卸売業、小売業	121	22.3%	659	18.1%
J_金融業、保険業	4	0.7%	25	0.7%
K_不動産業、物品販貸業	7	1.3%	13	0.4%
L_学術研究、専門・技術サービス業	8	1.5%	19	0.5%
M_宿泊業、飲食サービス業	54	10.0%	275	7.6%
N_生活関連サービス業、娯楽業	60	11.1%	176	4.8%
O_教育、学習支援業	4	0.7%	9	0.2%
P_医療、福祉	35	6.5%	491	13.5%
Q_複合サービス事業	10	1.8%	46	1.3%
R_サービス業(他に分類されないもの)	55	10.1%	218	6.0%
計	542	100.0%	3,638	100.0%

資料：令和3年経済センサス

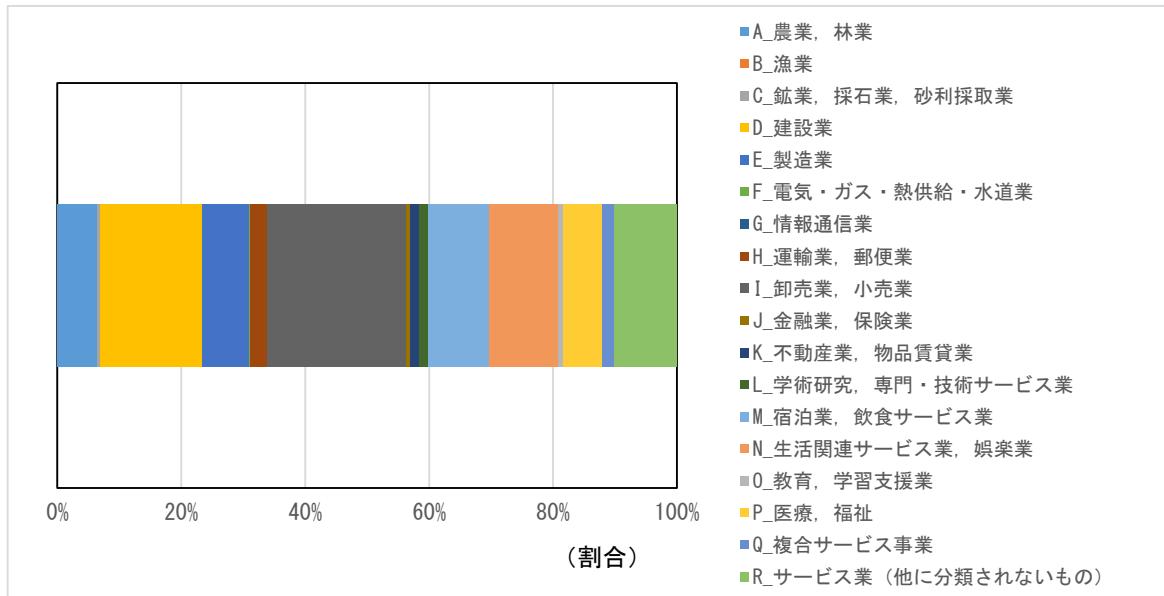


図 2.5 事業所数の割合

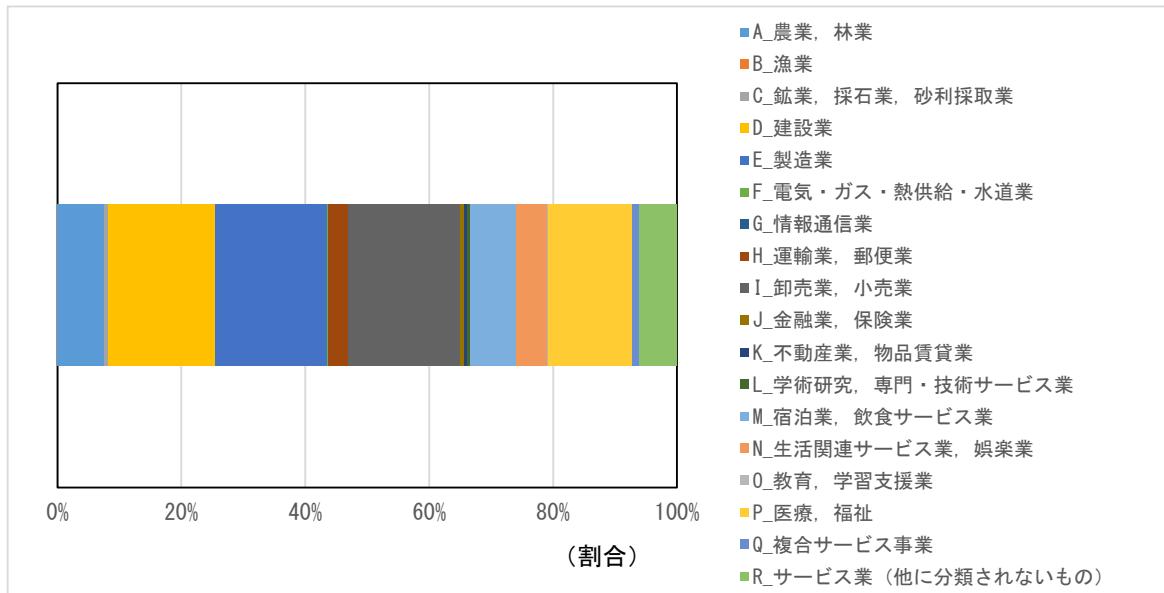


図 2.6 従業者数の割合

(3) 土地利用の状況

阿賀町の土地利用の状況を表2.4、図2.7に示す。

阿賀町の特徴としては、町内の約80%が山林となっており、県全体の山林の割合である約45%と比較しても、高い割合となっている。

山林に次いで田、原野、畑の順になっており、宅地はわずか1.8%となっている。

表2.4 土地利用の状況

	単位	田	畑	宅地	池沼	山林	原野	雑種地・その他	計
阿賀町	ha	1,215.5	670.2	355.3	4.1	15,705.8	792.0	633.3	19,376.3
	-	6.3%	3.5%	1.8%	0.0%	81.1%	4.1%	3.3%	100.0%
新潟県	ha	154,728.0	32,149.4	47,456.3	1,234.7	219,836.9	20,966.9	16,353.8	492,725.9
	-	31.4%	6.5%	9.6%	0.3%	44.6%	4.3%	3.3%	100.0%

資料：新潟県統計年鑑（2024）

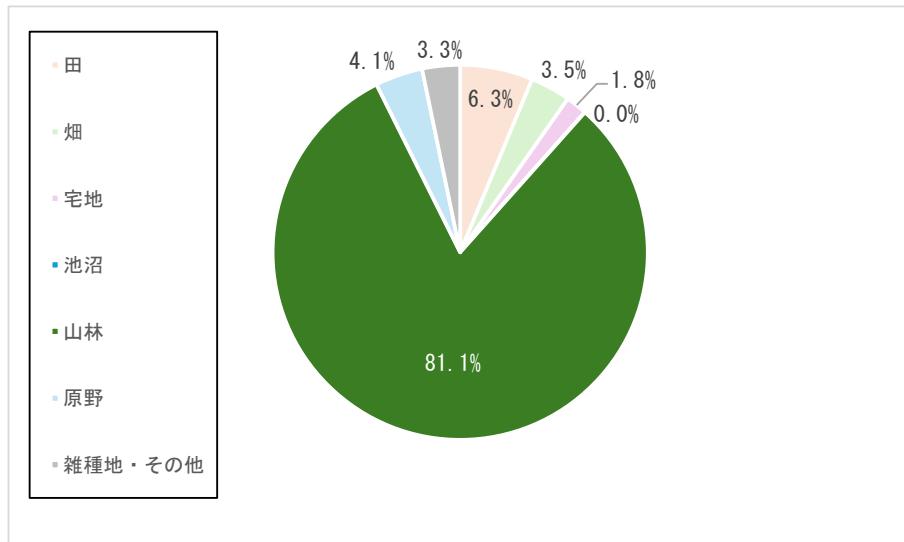


図2.7 土地利用の状況（阿賀町）

(4) 交通の状況

阿賀町は町内を東西に横断している磐越自動車道があり、西は新潟県中心市、東はいわき市までを結んでいる。同様に、町内を東西に横断している国道49号があり、磐越自動車道と同様に西は新潟県中心市、東はいわき市までを結んでいる。さらに、町の中心に磐越西線が通じており新潟駅から郡山駅までを結んでいる。

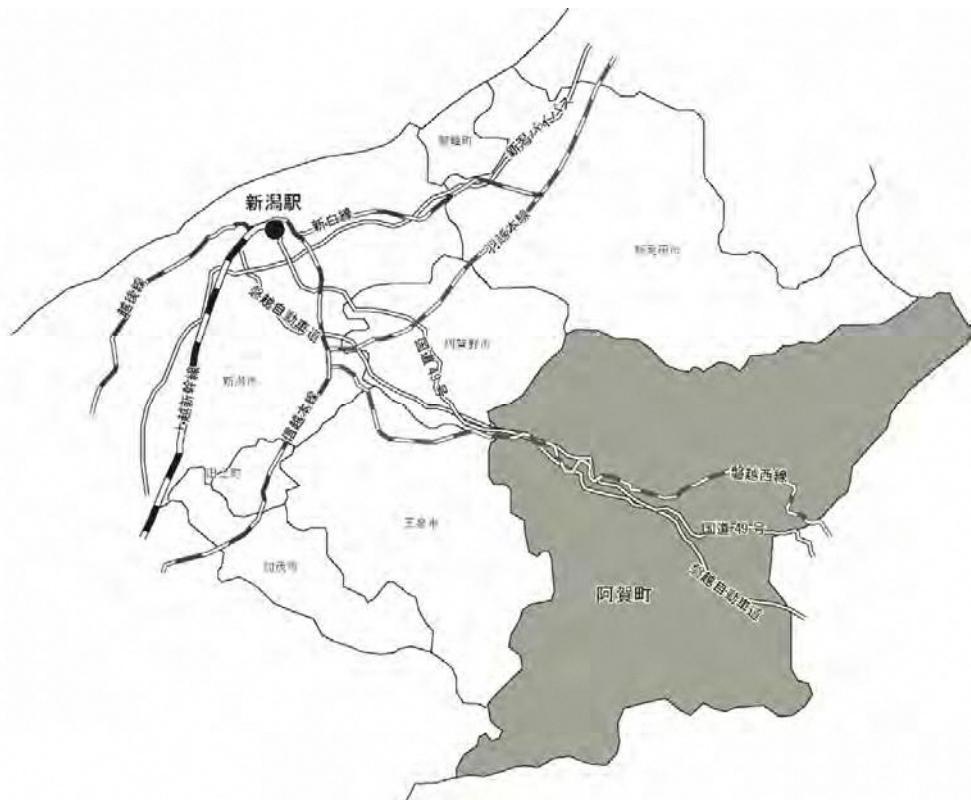


図 2.8 阿賀町周辺の交通網

3. 上位計画の概要

上位計画として、令和6年度末に、「第3次 阿賀町総合計画（令和7年3月）」が策定されており、計画期間は2025年から2034年となっている。

その内容として、基本理念が掲げられている。

基本理念：

～豊かな自然・かがやく文化
みんなで築く安心のまち～

また、目標とする将来像として4つの将来像を示し、総合的に施策を推進するとしている。

将来像1 自然と共生するまち（ゆとり・潤い）

将来像2 文化があふれるまち（希望・活気）

将来像3 活力ある産業のまち（連携・発展）

将来像4 やすらぎのあるまち（安全・安心）

4つの将来像を実現するために、8つの基本目標を示している。その中で、本計画に関連する目標を以下に示す。

基本目標1 豊かな自然環境の保全と地域資源活用のサイクルを推進する。

- ・再生可能エネルギーの活用
- ・資源ごみのリサイクル
- ・廃棄物の減量化推進による循環型社会の構築
- ・環境への負荷が低減される地域の構築

基本目標6 安全・安心な暮らしを確保する

- ・道路、河川、上下水道施設等のインフラ整備の推進及び管理

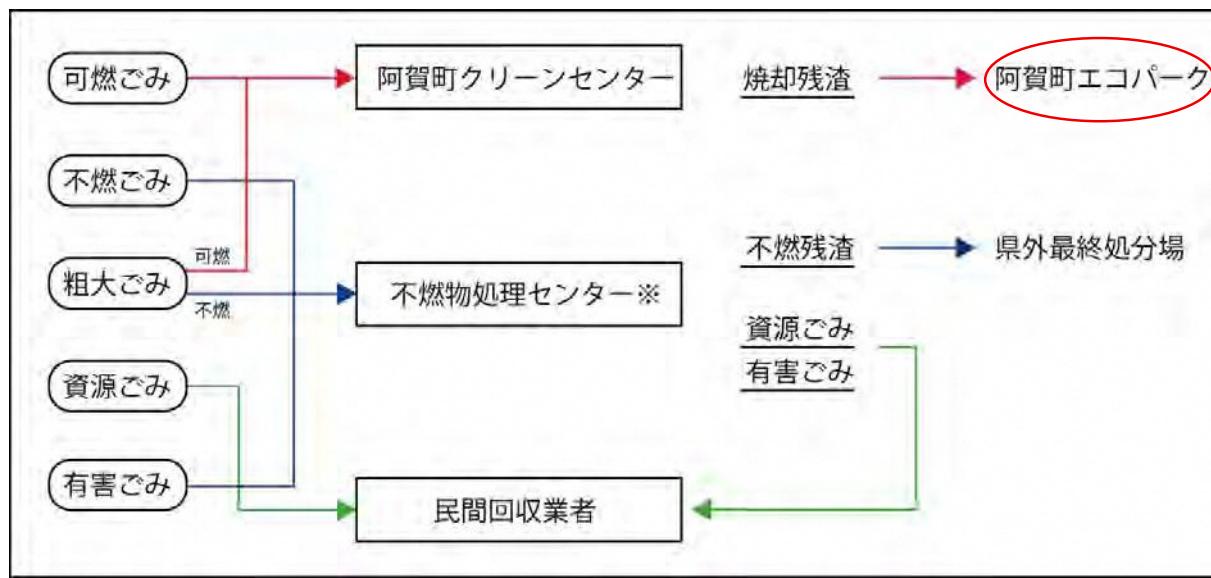
第3章 ごみ処理の実績

1. ごみ処理フロー

これまでの阿賀町のごみ処理フローを図3.1に示す。

可燃ごみ・粗大（可燃）ごみについては、阿賀町クリーンセンターにて独自に焼却処理をしてきた。

また、不燃ごみ・粗大（不燃）ごみについては五泉地域衛生施設組合が管理する、不燃物処理センターにて分別・圧縮し、可能な限り再生利用していた。



*五泉地域衛生施設組合不燃物処理センター

図3.1 ごみ処理フロー

2. ごみ処理体制

(1) ごみ収集運搬の実施主体

1) 生活系ごみの収集運搬

生活系ごみに関しては、町が主体となり収集運搬をしている。

令和7年3月まではプラスチック製容器包装は、個別収集しておらず、可燃ごみとして処理していた。

表 3.1 生活系ごみの収集運搬の形態

	形態				地域	
	直営	委託	許可	無し	全地域	一部
可燃ごみ		○			○	
不燃ごみ		○			○	
紙（雑誌・紙パック・新聞紙・段ボール）		○			○	
紙製容器包装				○	-	-
金属類（缶類を含む）		○			○	
ガラス類（びん類を含む）		○			○	
ペットボトル		○			○	
白色トレイ		○			○	
プラスチック製容器包装				○	-	-
製品プラスチック				○	-	-
その他プラスチック				○	-	-
布類				○	-	-
生ごみ				○	-	-
廃食用油				○	-	-
選定枝				○	-	-
小型家電				○	-	-
その他				○	-	-
粗大ごみ				○	○	○

※令和7年3月までの収集形態

2) 事業系ごみの収集運搬

事業系ごみに関しては、基本的に排出者自らが、阿賀町クリーンセンターもしくは五泉地域衛生施設組合が管理する、不燃物処理センターへ持ち込んでいた。

表 3.2 事業系ごみの収集運搬の形態

	形態				地域	
	直営	委託	許可	無し	全地域	一部
可燃ごみ			○		○	
不燃ごみ			○		○	
紙（雑誌・紙パック・新聞紙・段ボール）			○		○	
紙製容器包装				○		
金属類（缶類を含む）			○		○	
ガラス類（びん類を含む）			○		○	
ペットボトル			○		○	
白色トレイ			○		○	
プラスチック製容器包装				○		
製品プラスチック				○		
その他プラスチック				○		
布類				○		
生ごみ				○		
廃食用油				○		
選定枝				○		
小型家電				○		
その他				○		
粗大ごみ			○	○	○	

※令和7年3月までの収集形態

(2) ごみ処理主体

阿賀町では、可燃ごみ・粗大（可燃）ごみについては、本町が管理する阿賀町クリーンセンターで処理し、焼却残渣および不燃残渣は、町が管理する阿賀町エコパークに最終処分していた。

不燃ごみ、粗大（不燃）ごみ、資源ごみ、有害ごみ等については、五泉地域衛生施設組合が管理する不燃物処理センターで処理し、外部委託処分していた。

表 3.3 ごみ処理主体

ごみ処理	収集・運搬	中間処理			最終処分
		可燃ごみ 粗大（可燃）ごみ	不燃ごみ 粗大（不燃）ごみ 資源ごみ	有害ごみ	
阿賀町 (排出者)	阿賀町 (排出者)	阿賀町クリーン センター	不燃物処理 センター※	不燃物処理 センター※	・阿賀町エコパーク ・外部委託処分

※五泉地域衛生施設組合 不燃物処理センター

(3) ごみの分別・収集方法

1) ごみの分別区分と収集頻度

生活ごみの分別区分と収集頻度を表 3.4 に示す。

燃やすごみは週 3 回、缶・びん類、紙類、燃やさないごみ、有害ごみ、ペットボトルは月 2 回となっていた。

表 3.4 ごみ収集区分

燃やすごみ	缶・びん類	紙類	燃やさないごみ
生ごみ、布類、革製品 ゴム・皮革製品 プラスチック製品	缶・びん・せともの	新聞紙・折込チラシ、 紙パック、段ボール、雑誌	小型家電、鍋・一斗缶、ガラス類、スキー板、電球・LED 電球
町の指定のごみ袋に入れ る。	びん類は直接専用コンテナ に入る。	十字にしばる。	割れ物は”危険”と表示す る。
週 3 回	月 2 回	月 2 回	月 2 回

有害ごみ	ペットボトル	白色トレイ
乾電池、水銀体温計、 蛍光ランプ・電球型蛍光ランプ		
バッテリー、電池が外れない製品は有害ごみとして出 す。	透明・半透明の袋に入れる。	透明・半透明の袋に入れる。
月 2 回	月 2 回 (ペットボトルと白色トレイは同日)	

※令和 7 年 3 月までの収集区分

3. ごみ排出量

(1) ごみ排出量の推移（生活系ごみ）

生活系ごみ排出量を表3.5に示す。ごみ排出量は、平成27年度の3,736 t/年から令和6年度では約30%減の2,541 t/年となっている。

ごみ種類別でみると、可燃ごみの割合が多く、全ごみの約80%となっている。次いで資源ごみ・不燃ごみとなっている。

ごみ全体の排出量の減少に伴って資源ごみの排出量も少なくなっているため、再資源化率に大きな変化はない。

表3.5 生活系ごみ排出量

単位:t/年

収集方法	ごみ種類	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
委託等	可燃ごみ	2,964	2,779	2,697	2,594	2,533	2,374	2,180	2,192	2,004	1,952
	不燃ごみ	326	303	294	293	268	271	249	243	222	209
	資源ごみ	342	317	304	300	268	264	257	240	224	226
	その他	0	6	0	0	0	20	0	7	0	6
	粗大ごみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
直接搬入	可燃ごみ	97	75	17	13	77	20	11	17	12	10
	不燃ごみ	7	7	6	11	11	12	13	11	13	14
	資源ごみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0
	粗大ごみ	0	0	84	0	70	90	94	98	106	124
計	可燃ごみ	3,061	2,854	2,714	2,607	2,610	2,394	2,191	2,209	2,016	1,962
	不燃ごみ	333	310	300	304	279	283	262	254	235	223
	資源ごみ	342	317	304	300	268	264	257	240	224	226
	その他	0	6	0	0	0	30	0	7	0	6
	粗大ごみ	0	0	84	0	70	90	94	98	106	124
総計		3,736	3,487	3,402	3,211	3,227	3,061	2,804	2,808	2,581	2,541

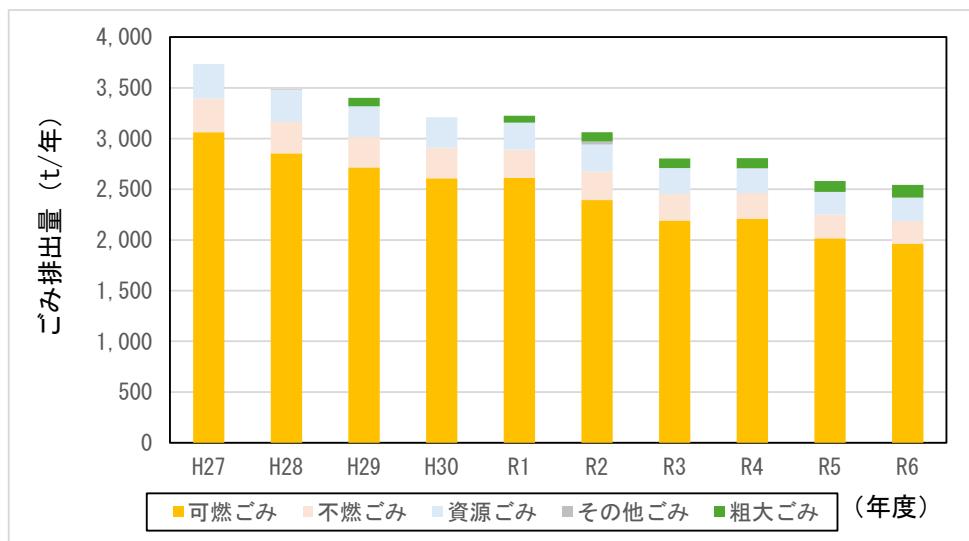


図3.2 生活系ごみ排出量

(2) ごみ排出量の推移（事業系ごみ）

事業系ごみ排出量を表3.6に示す。生活系ごみは、はっきりとした減少傾向であったが、事業系ごみは、ほぼ横ばいの傾向となっている。

また、事業系ごみも生活系ごみと同様に可燃ごみの割合が高くなっている。

表3.6 事業系ごみ排出量

単位:t/年

収集方法	ごみ種類	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
許可等	可燃ごみ	919	770	759	730	725	645	662	660	620	619
	不燃ごみ	59	68	44	42	35	30	34	28	27	35
	資源ごみ	0	81	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	粗大ごみ	0	0	0	0	0	18	0	0	29	0
直接搬入	可燃ごみ	132	123	97	173	88	124	145	311	236	233
	不燃ごみ	11	13	6	4	14	6	6	10	9	2
	資源ごみ	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	44	9	16	19	10	11	14	23	16
	粗大ごみ	0	0	23	39	45	64	64	0	35	105
計	可燃ごみ	1,051	893	856	903	813	769	807	971	856	852
	不燃ごみ	70	81	50	46	49	36	40	38	36	37
	資源ごみ	0	89	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	44	9	16	19	10	11	14	23	16
	粗大ごみ	0	0	23	39	45	82	64	0	64	105
総計		1,121	1,107	938	1,004	926	897	922	1,023	979	1,010

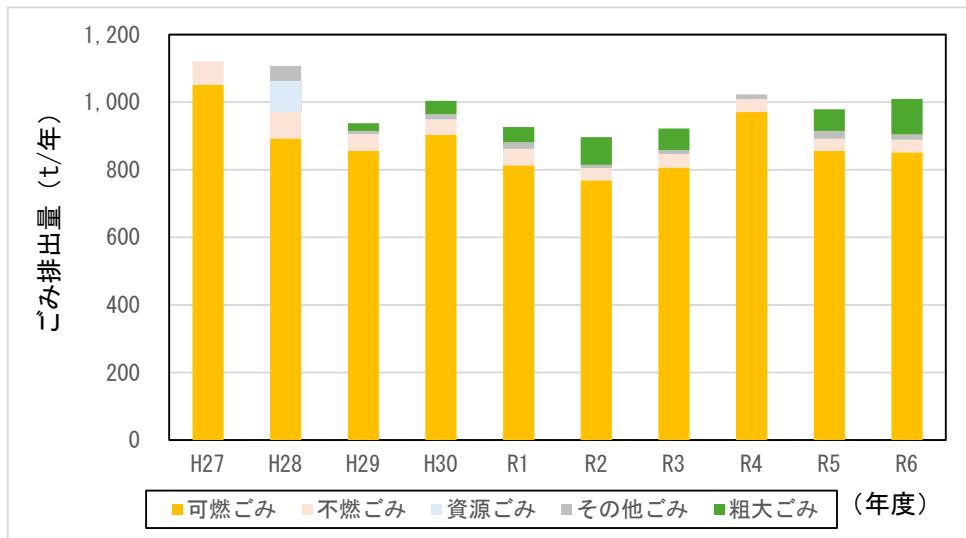


図3.3 事業系ごみ排出量

(3) ごみ排出量の推移（総量）

生活系ごみ、事業系ごみを合わせた総ごみ排出量を表3.7に示す。先述したように生活系ごみは明らかに減少傾向がみられる状況であり、一方の事業系ごみは、ほぼ横ばいで推移しているため、全体的に緩い減少傾向となっている。

表3.7 ごみ排出量（総量）

単位:t/年

収集方法	ごみ種類	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
許可+委託等	可燃ごみ	3,883	3,549	3,456	3,324	3,258	3,019	2,842	2,852	2,624	2,571
	不燃ごみ	385	371	338	335	303	301	283	271	249	244
	資源ごみ	342	398	304	300	268	264	257	240	224	226
	その他	0	6	0	0	0	20	0	7	0	6
	粗大ごみ	0	0	0	0	0	18	0	0	29	0
直接搬入	可燃ごみ	229	198	114	186	165	144	156	328	248	243
	不燃ごみ	18	20	12	15	25	18	19	21	22	16
	資源ごみ	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	44	9	16	19	20	11	14	23	16
	粗大ごみ	0	0	107	39	115	154	158	98	141	229
計	可燃ごみ	4,112	3,747	3,570	3,510	3,423	3,163	2,998	3,180	2,872	2,814
	不燃ごみ	403	391	350	350	328	319	302	292	271	260
	資源ごみ	342	406	304	300	268	264	257	240	224	226
	その他	0	50	9	16	19	40	11	21	23	22
	粗大ごみ	0	0	107	39	115	172	158	98	170	229
総計		4,857	4,594	4,340	4,215	4,153	3,958	3,726	3,831	3,560	3,551

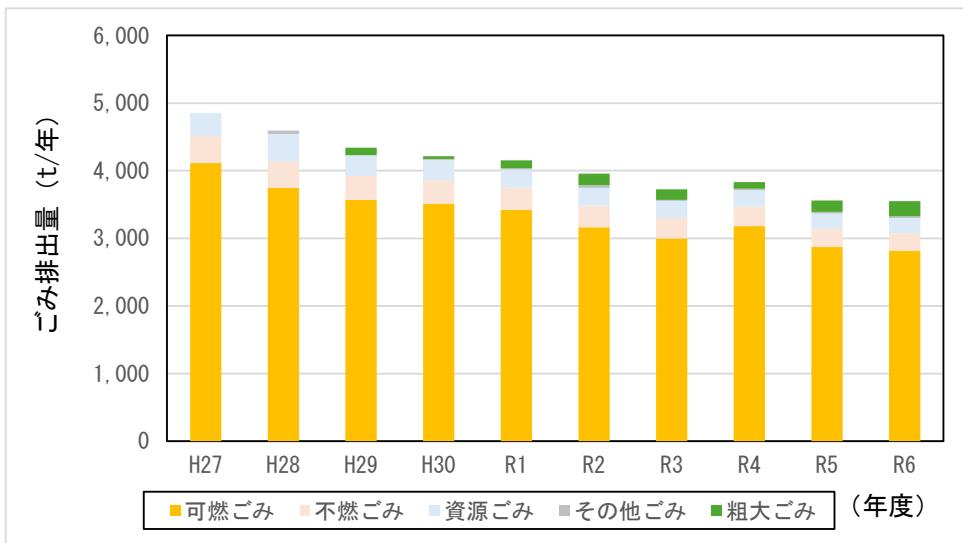


図3.4 ごみ排出量（総量）

(4) 1人1日あたりのごみ排出量

1人1日あたりのごみ排出量を表3.8、図3.5、3.6に示す。

生活系ごみの排出量は減少傾向であったが、人口減少による影響が強く、1人1日あたりのごみ排出量を確認すると、わずかな減少となっている。よって今後も、一人一人のごみ排出量の抑制に取り組んでいく必要があると考える。

表3.8 1人1日あたりのごみ排出量（原単位）

		単位	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
日数		日/年度	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365
人口		人	12,222	11,874	11,538	11,174	10,775	10,444	10,153	9,855	9,467	9,107
生活系 ごみ	可燃ごみ	g/人日	684.3	658.5	644.4	639.2	661.8	628.0	591.2	614.1	581.8	590.2
	不燃ごみ	g/人日	74.4	71.5	71.2	74.5	70.7	74.2	70.7	70.6	67.8	67.1
	資源ごみ	g/人日	76.5	73.1	72.2	73.6	68.0	69.3	69.3	66.7	64.6	68.0
	その他ごみ	g/人日	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	7.9	0.0	1.9	0.0	1.8
	粗大ごみ	g/人日	0.0	0.0	19.9	0.0	17.8	23.6	25.4	27.2	30.6	37.3
事業系 ごみ	可燃ごみ	g/人日	235.0	206.0	203.3	221.4	206.2	201.7	217.8	269.9	247.0	256.3
	不燃ごみ	g/人日	15.6	18.7	11.9	11.3	12.4	9.4	10.8	10.6	10.4	11.1
	資源ごみ	g/人日	0.0	20.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他ごみ	g/人日	0.0	10.2	2.1	3.9	4.8	2.6	3.0	3.9	6.6	4.8
	粗大ごみ	g/人日	0.0	0.0	5.5	9.6	11.4	21.5	17.3	0.0	18.5	31.6

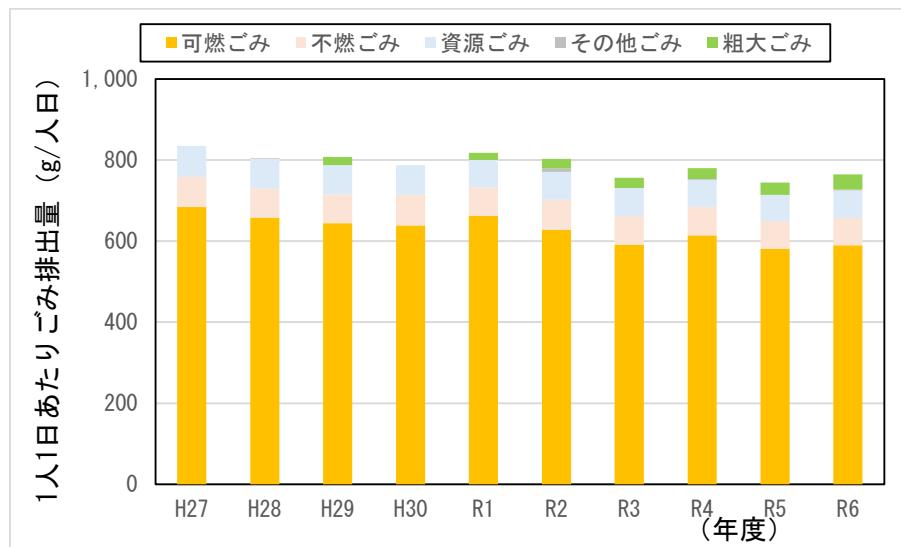


図3.5 1人1日あたりのごみ搬出量（生活系ごみ）

事業系ごみの1人1日あたりのごみ搬出量は生活系ごみと異なり、増加傾向となっている。

ごみ種類を見ると、ほとんどが可燃ごみとなっている。

事業系から排出されたごみは均一性が高いことが多く、分別作業が少ない、資源化が容易なことが多い。例えば、燃えるごみのうち、紙は資源として、厨芥類は飼料化や堆肥化として、木くずであればチップ化などが考えられる。今後、様々な再利用の方法を事業者とともに検討する。

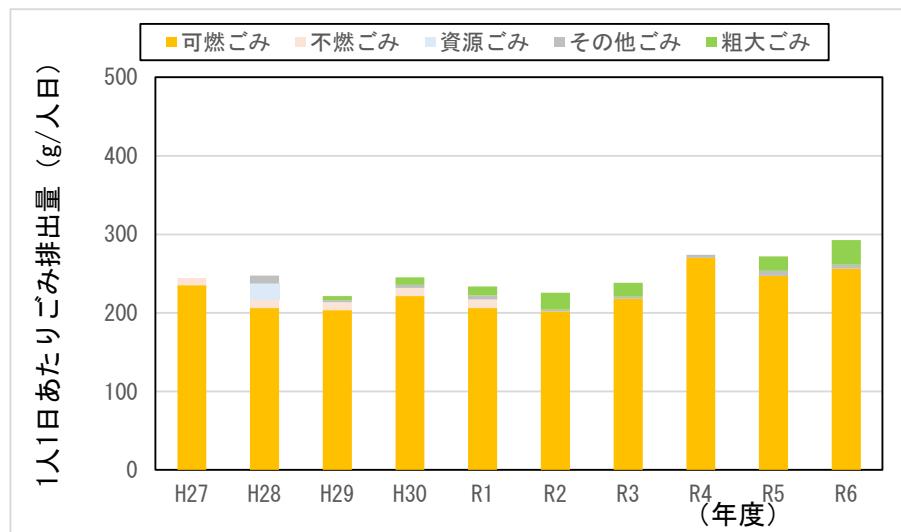


図3.6 1人1日あたりのごみ搬出量（事業系ごみ）

4. ごみ処理量

(1) 中間処理量の推移（焼却処理）

焼却処理量は、可燃ごみの排出量の減少に伴い減少している。平成 27 年度においては、約 4,000t/年を焼却処理していたが、10 年後の令和 6 年度においては、4 分の 3 である約 3,000t/年となっている。

表 3.9 焼却処理の状況

	単位	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
焼却処理量	t/年	4,037	3,813	3,734	3,510	3,510	3,375	2,998	3,198	3,065	3,059
減量化量	t/年	3,494	3,292	3,237	3,015	2,895	2,941	2,583	2,766	2,709	2,719
残渣量（最終処分量）	t/年	543	521	497	495	615	434	415	432	356	340

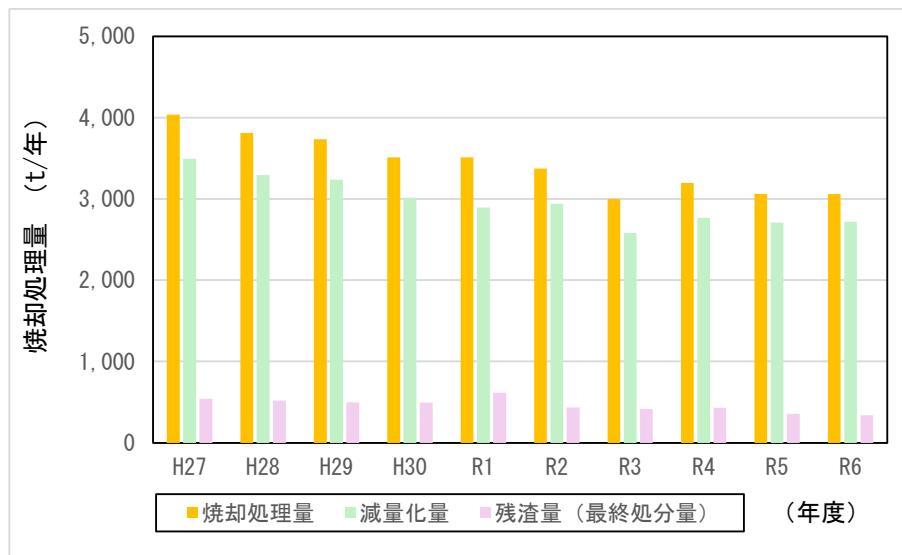


図 3.7 焼却処理量等の推移

(2) 中間処理量の推移（資源化処理）

資源化施設処理量は、資源ごみの排出量の減少に伴い合わせて減少している。特に令和5、6年度は、資源化量が400 t/年以下となっており、資源化率も約10%となっている。

資源ごみは、缶・びん類およびペットボトルが含まれるが、液体等を販売するにあたって、近年は缶・びん類よりもペットボトルが利用されることが多くなった。ペットボトルは容積あたりの重量が軽いため、缶・びん類およびペットボトルいずれも資源ごみとして排出した場合、資源ごみ排出重量は少なくなることが考えられる。

表 3.10 資源化処理量等の状況

	単位	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
資源化施設処理量	t/年	820	1,157	748	659	615	583	728	651	495	492
資源化量	t/年	745	703	659	659	511	354	577	489	389	363
資源化率	-	15.3%	15.3%	15.2%	15.6%	12.3%	8.9%	15.5%	12.0%	10.9%	10.2%

資源化率=資源化量/ごみ排出量*100

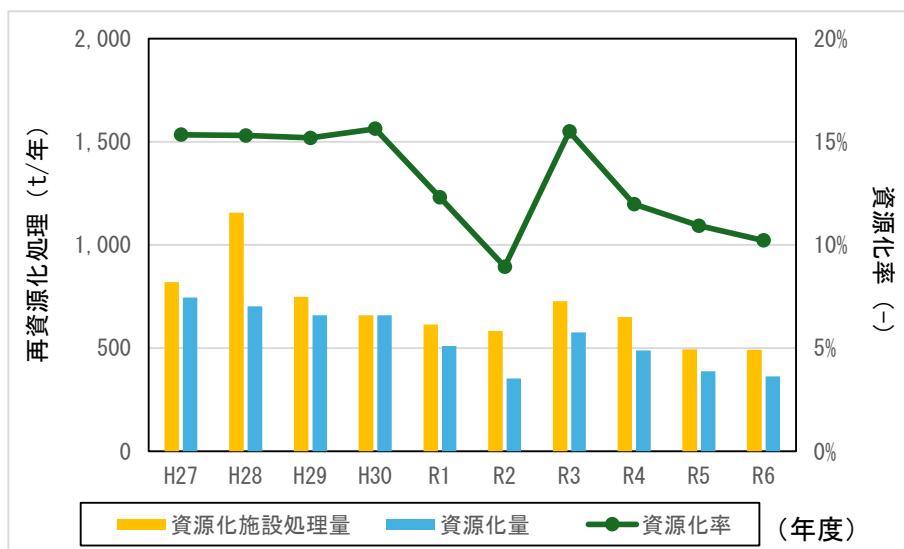


図 3.8 資源化処理等の推移

(3) 最終処分量の推移

ごみ排出量の減少に伴い、最終処分量も減少している。

最終処分率は10%～12%程度の範囲で推移していたが、令和6年度に過去10年間で初めて10%を下回った。

表3.11 最終処分の状況

	単位	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
最終処分量	t/年	564	587	497	495	499	434	415	487	356	340
最終処分率	-	11.6%	12.8%	11.5%	11.7%	12.0%	11.0%	11.1%	12.7%	10.0%	9.6%

最終処分率=最終処分量/ごみ排出量*100

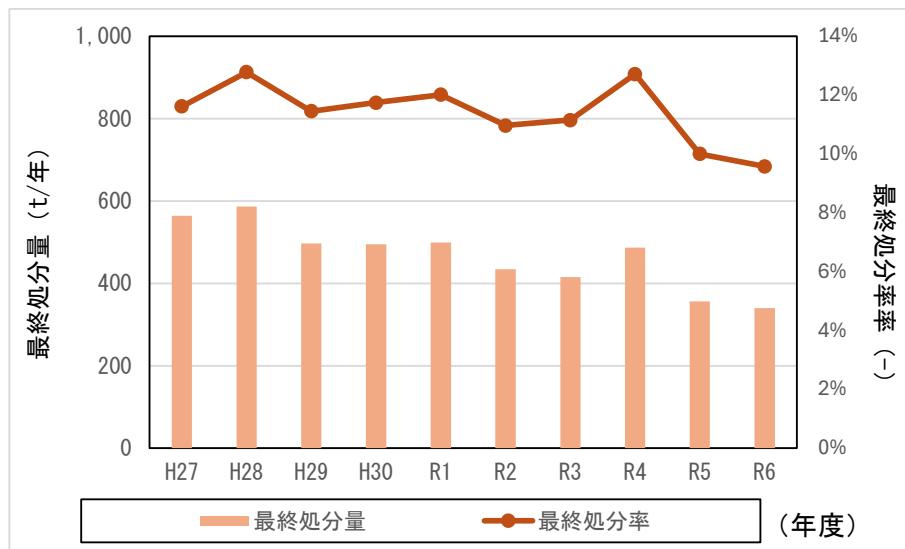


図3.9 最終処分量の推移

5. その他

(1) ごみ性状の推移

ごみの性状の推移を表 3.12、図 3.10 に示す。

年によって多少の変動があるものの、紙・布類が 45%～58%の範囲で変動している。次いでビニール、合成樹脂、ゴム、皮革類が 21%～38%の範囲で、厨芥類が 10%～19%の範囲で変動している。木、竹、わら類は 0%～11%の範囲で変動している。

調査結果は年度ごとのばらつきが大きく、一定の傾向は見られないが、全体的に紙・布類の比率が高くなっている。

表 3.12 ごみの性状

	単位	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
紙・布類	%	50.1	50.8	58.1	52.7	47.9	45.3	48.4	44.6	57.7	53.1
ビニール、合成樹脂、ゴム、皮革類	%	21.1	23.9	22.2	26.0	24.7	23.7	25.3	38.2	22.1	26.2
木、竹、わら類	%	10.4	7.6	7.8	6.8	10.1	11.0	9.6	0.3	7.6	3.5
厨芥類	%	15.3	16.0	10.0	12.5	15.3	18.5	14.0	15.4	9.9	16.1
不燃物	%	2.2	1.3	1.4	1.5	1.3	0.8	1.3	1.3	1.0	0.6
その他	%	0.9	0.4	0.5	0.5	0.7	0.7	1.4	0.2	1.7	0.7

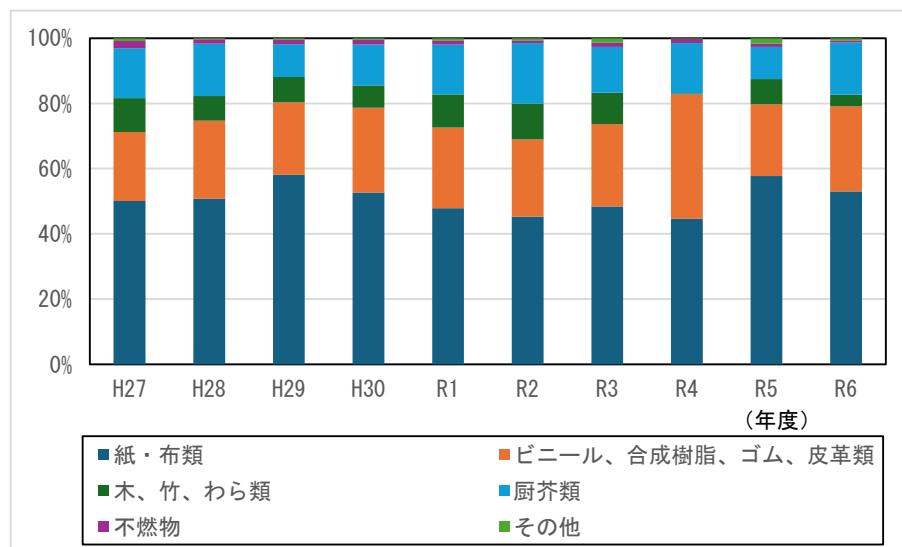


図 3.10 ごみの性状

(2) 排出ガス濃度

・一酸化炭素 (CO) 濃度

煙突出口における一酸化炭素濃度の推移を表 3.13 に示す。

煙突は 2 本あり、それぞれの煙突出口にて測定を行っている。

一酸化炭素の環境基準は、

①連続する 8 時間における 1 時間値の平均は、20ppm 以下であること。

②連続する 24 時間における 1 時間値の平均は、10ppm 以下であること。

となっている。表 3.13 に示した結果は、環境基準と直接比較できるものではないが、測定結果は煙突出口における濃度であることから、人が呼吸する時点では十分に拡散され、一酸化炭素濃度は十分に低くなっているものと考えられる。

表 3.13 一酸化炭素濃度の推移

単位 : ppm

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
1 号炉	25	8	6	14	4	5	<3	16	3	4
2 号炉	8	11	7	11	8	6	<3	15	<3	5
平均	16.5	9.5	6.5	12.5	6.0	5.5	3.0	15.5	3.0	4.5

・ダイオキシン類濃度

煙突出口におけるダイオキシン類濃度の推移を表 3.14 に示す。

煙突は 2 本あり、それぞれの煙突出口にて測定を行っている。

ダイオキシン類（大気）の環境基準は、0.6pg-TEQ/m³以下であり、1 号炉、2 号炉の平均値を見ると、いずれの時点においても環境基準を満足している。

表 3.14 ダイオキシン類の推移

単位 : pg-TEQ/m³

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
1 号炉	0.17	0.7	0.018	0.0037	0.048	0.0026	0.016	0.0003	0.0039	0.0004
2 号炉	0.038	0.017	0.011	0.001	0.0033	0.0004	0.0097	0.2228	0.0072	0.015
平均	0.10	0.36	0.01	0.002	0.03	0.002	0.01	0.11	0.01	0.01

(3) ごみ処理費の推移（組合負担金）

最近10年間のごみ処理経費（組合負担金）の推移を表3.15に示す。

建設費（工事費）は令和元年までは0円だったが、令和2年以降、クリーンセンターあがのがわの建設工事開始に伴い多くなっている。なお、令和7年4月にクリーンセンターあがのがわが供用開始した。

処理及び維持費は、建設費と異なり大きな変動はない。令和7年度からは、可燃ごみおよびプラスチック製容器包装についても組合で処理することから、ここに可燃ごみ、プラスチック製容器包装の処理費が計上される。

表3.15 ごみ処理経費の推移 単位：千円

		H27	H28	H29	H30	R1
建設費	工事費	H27・H28は協議会での事業のため、組合予算無し		0	0	0
	調査費			61,638	74,870	49,806
	組合分担金			7,788	17,289	8,627
	小計	0	0	69,426	92,159	58,433
処理及び維持費	運営費負担金	8,243	10,209	7,696	8,455	10,554
	不燃物処理費	64,141	83,626	60,957	62,386	70,140
	小計	72,384	93,835	68,653	70,841	80,694

		R2	R3	R4	R5	R6
建設費	工事費	28,010	93,159	880,605	5,076,125	11,683,236
	調査費	20,003	31,692	55,308	63,085	56,617
	組合分担金	9,553	22,774	146,775	641,742	1,481,692
	小計	57,566	147,625	1,082,688	5,780,952	13,221,545
処理及び維持費	運営費負担金	11,319	7,561	5,316	5,024	7,519
	不燃物処理費	71,882	70,542	74,475	73,620	74,665
	小計	83,201	78,103	79,791	78,644	82,184

6. 他自治体との比較

環境省は、市町村が独自に類似市町村を探し、容易に評価を行えるよう、「市町村一般廃棄物処理システム評価支援ツール」をホームページで公表している。

今回は、このツールを使用して、阿賀町と周辺自治体の廃棄物処理システムを比較した。

(1) 比較対象

本計画では他自治体との比較を、新潟県内の 15,000 人以下の町村を対象とした。対象とした町村名を表 3.16 に示す。

表 3.16 比較対象とした自治体

都道府県	市町村名	人口 (人)	原単位 (kg/人日)
新潟県	新潟県聖籠町	13,804	0.961
新潟県	新潟県弥彦村	7,562	0.926
新潟県	新潟県田上町	10,852	1.032
新潟県	新潟県阿賀町	9,467	1.027
新潟県	新潟県出雲崎町	4,017	0.726
新潟県	新潟県湯沢町	7,878	1.451
新潟県	新潟県津南町	8,598	1.046
新潟県	新潟県刈羽村	4,287	0.938
新潟県	新潟県関川村	4,874	0.902
新潟県	新潟県粟島浦村	360	1.192

原単位：1人1日あたりごみ総排出量

(2) 比較項目

令和5年度実績版の市町村一般廃棄物処理システム評価支援ツールでは、環境省一般廃棄物実態調査結果（令和5年度結果）をもとに、表 3.17 の示した項目を比較することができる。

表 3.17 比較項目

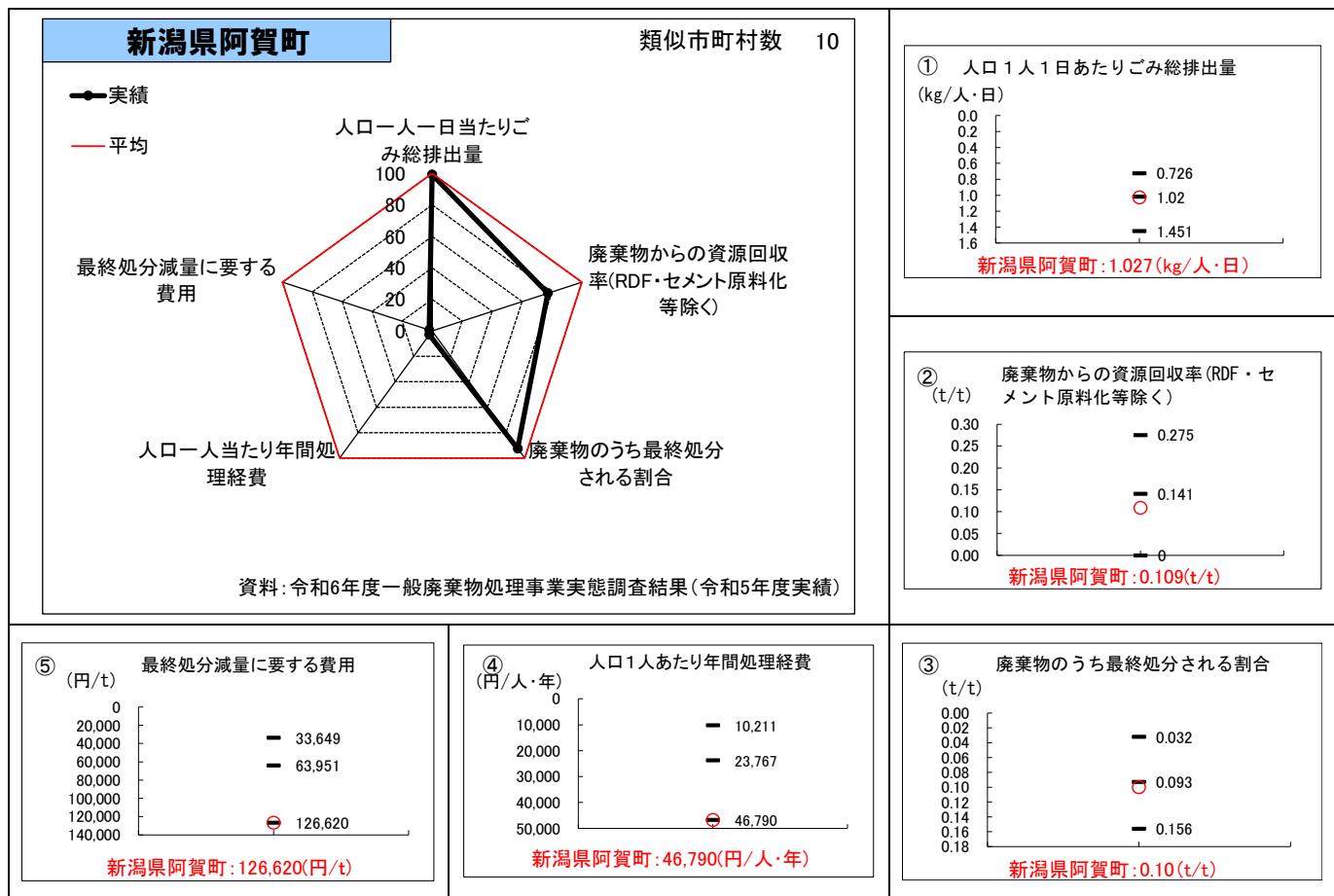
項目	単位	評価方法
①人口1人1日あたりごみ総排出量	(kg/人日)	低いほど評価が高い
②廃棄物からの資源回収率(RDF・セメント原料化等除く)	(t/t)	高いほど評価が高い
③廃棄物のうち最終処分される割合	(t/t)	低いほど評価が高い
④人口1人あたり年間処理経費	(円/人・年)	低いほど評価が高い
⑤最終処分減量に要する費用	(円/t)	低いほど評価が高い

(3) 比較結果 1

比較結果を図 3.11 に示す。

①人口 1 人 1 日あたりごみ総排出量、②廃棄物からの資源回収率、③廃棄物のうち最終処分される割合については、周辺自治体とほぼ同様の数字となっている。

一方で、④人口 1 人あたり年間処理経費、⑤最終処分減量に要する費用については、だいぶ悪い結果となっている。



※市町村一般廃棄物システム評価支援ツール（令和 5 年実態調査結果）

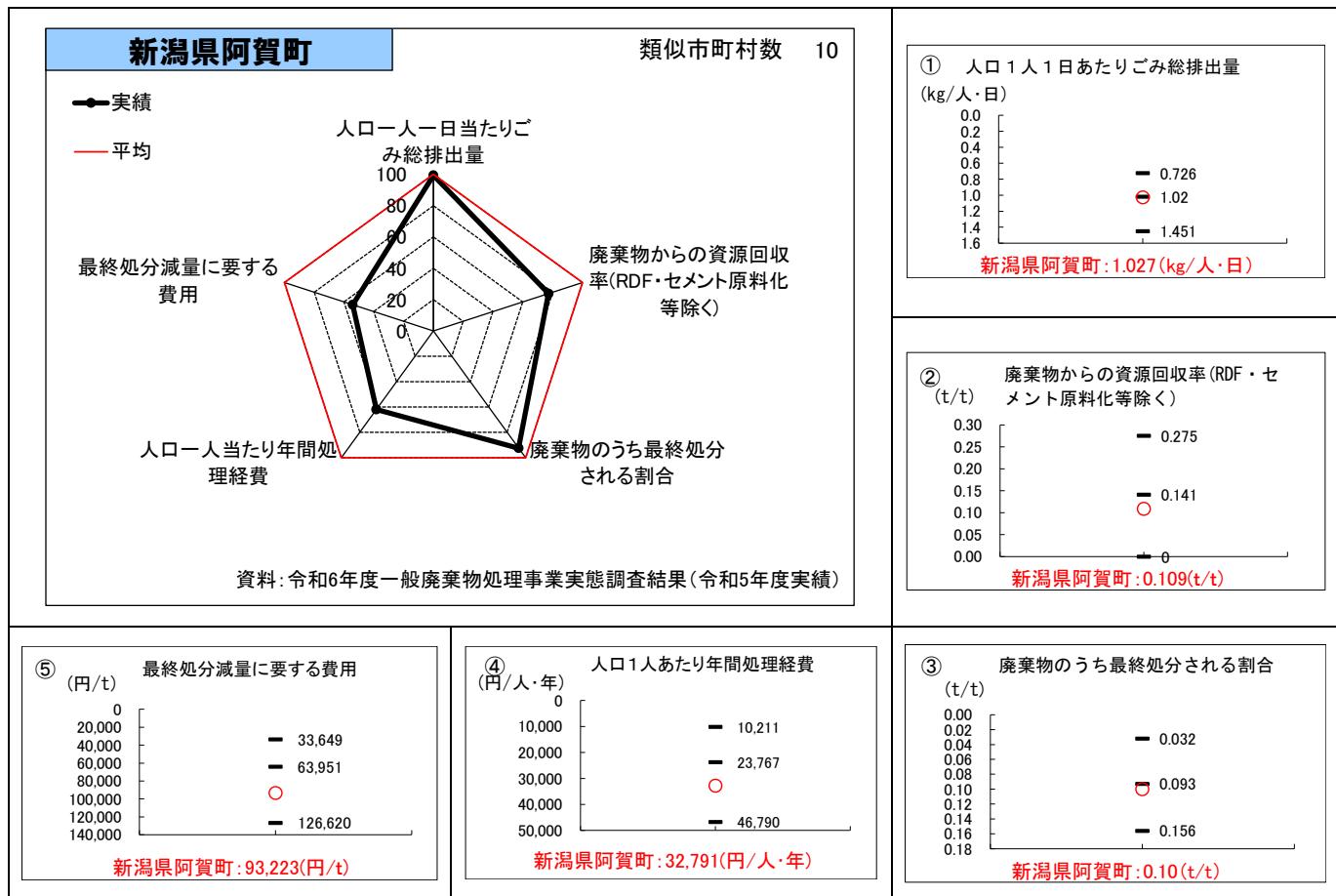
図 3.11 出力結果 (1)

(4) 比較結果 2

先の結果の原因を調べると、新施設建設のための組合負担金の割合が大きく算定されていた。そこで、組合負担金を建築・改良費と処理・維持費に分け、処理・維持費の組合負担金の割合で再評価をした。

組合負担金の比率を見直した場合の結果を図 3.12 に示す。

先の結果と比較して指標値は、評価が高いほうに移行した。しかし、④人口 1 人あたりの年間処理経費や⑤最終処分減量に要する費用は類似市町村の平均を下回っているため、今後も効率の良いごみ処理に努めるものとする。



※市町村一般廃棄物システム評価支援ツール（令和5年実態調査結果）

図 3.12 出力結果 (修正)

7. 前回計画の目標との比較

前回計画で掲げたごみ処理目標値と、令和6年度における実績の比較を表3.18に示す。
(前回の目標達成年度は令和7年度であるが、本計画策定時における直近の実績である令和6年度実績と比較した。)

- ・生活系ごみ排出原単位は、令和7年度までに20 g/人日を抑制し832 g/人日とする目標であったが、令和6年度実績で764.4 g/人日となっており、現状のままであれば目標を達成できる見込みである。
- ・リサイクル率は、令和7年度までに12.6%から18.0%にする目標であったが、令和6年度実績で10.2%となっており、目標達成は難しい状況である。
- ・事業系ごみ排出量は、令和7年度まで平成25年度の水準をほぼ維持させ1,068 t/年とする目標であったが、令和6年度実績で1,010 t/年となっており、現状のままであれば目標を達成できる見込みである。

表3.18 目標と実績の比較

		単位	実績	目標値	実績	達成・未達成
			H25	R7 (H37)	R6 (H36)	
目標 値	生活系ごみ排出抑制 (ごみ原単位)	t/年 (g/人日)	4,030.7 (852.1)	3,288 (832)	2,541 (764.4)	達成
	リサイクル率	-	12.6 %	18.0 %	10.2 %	未達成
	事業系ごみ排出抑制	t/年	1,058.1	1,068	1,010	達成

本計画では上位計画等の目標値を参考として、新たな目標値を設定することとする。

8. 課題の抽出

過去 10 年間のごみ処理実績をまとめた結果、ごみ処理に関する課題を表 3.19 に示す。

令和 7 年度からはごみ処理施設が、阿賀町クリーンセンター・不燃物処理センターからクリーンセンターあがのがわに変更となるため、それを踏まえた課題を提示する。

表 3.19 ゴミ処理の課題

項目	内容
ごみ処理の実績	<ul style="list-style-type: none"> ○現行計画の目標値比較 現行計画で掲げた目標のうちごみの発生量については目標を達成した。ただし、リサイクル率の目標は達成できなかった。 ○他自治体との比較 新潟県の同程度の人口の町村と比較した場合、ごみ排出量、資源回収率、最終処分率については平均であったが、経費に関しては単位ごみ量あたりの経費が多くかかっている。これは、新ごみ処理施設の組合負担金が高くなっていたためと考える。
排出抑制	<ul style="list-style-type: none"> ○ごみ排出量 ごみの排出量は減少しているものの、これは人口減少に伴う減少が多く、1人1日あたりのごみ発生量はあまり減少していない。 また、事業系ごみ一般廃棄物も減少していない。
分別区分	<ul style="list-style-type: none"> ○紙・布類について 生活系ごみの 80%が可燃ごみで、さらに可燃ごみの約 50%が紙・布類となっている。(ごみ全体の 40%) 紙類はこれまで、雑誌、紙パック、新聞紙、ダンボール等を回収してきたが、新たにざつ紙も回収することとした。 ○プラスチック製容器包装について これまでプラスチック製容器包装は焼却処理していたが、令和 7 年度から資源ごみとして個別に回収することとなった。
収集・運搬	<ul style="list-style-type: none"> ○収集・運搬について これまで大きな問題はなかったが、令和 7 年度からはごみの搬出先が変更となったので、効率の良い回収・運搬ルートを選定する必要がある。

第4章 ごみ処理基本計画

1. ごみ処理施設の変更

令和7年4月にクリーンセンターあがのがわが供用開始となり、ごみ処理施設が変更となった。

これまで、ごみ処理を行っていた阿賀町クリーンセンターと五泉地域衛生施設組合不燃物処理センターについては廃棄物受入を終了した。

ごみ処理施設がクリーンセンターあがのがわに変更となったことに伴い、変化した点を以下にまとめる。

(1) 搬出先

変更前後のごみ搬出先を図4.1に示す。

これまで可燃ごみは阿賀町クリーンセンターへ、不燃ごみ・有害ごみは不燃処理センターへ搬出していた。

令和7年4月のクリーンセンターあがのがわ供用後は、一部の資源ごみを除き、クリーンセンターあがのがわに搬出することになる。

ごみの運搬距離は基本的に長距離化することから、委託しているごみ運搬費も影響があると思われる。

また、生活系ごみ・事業系ごみともにこれまで直接搬入していたものが、運搬距離が長くなることで直接搬入から、ごみステーションへの排出や、許可業者への排出に変わることも考えられる。



図4.1 廃棄物処理施設の位置

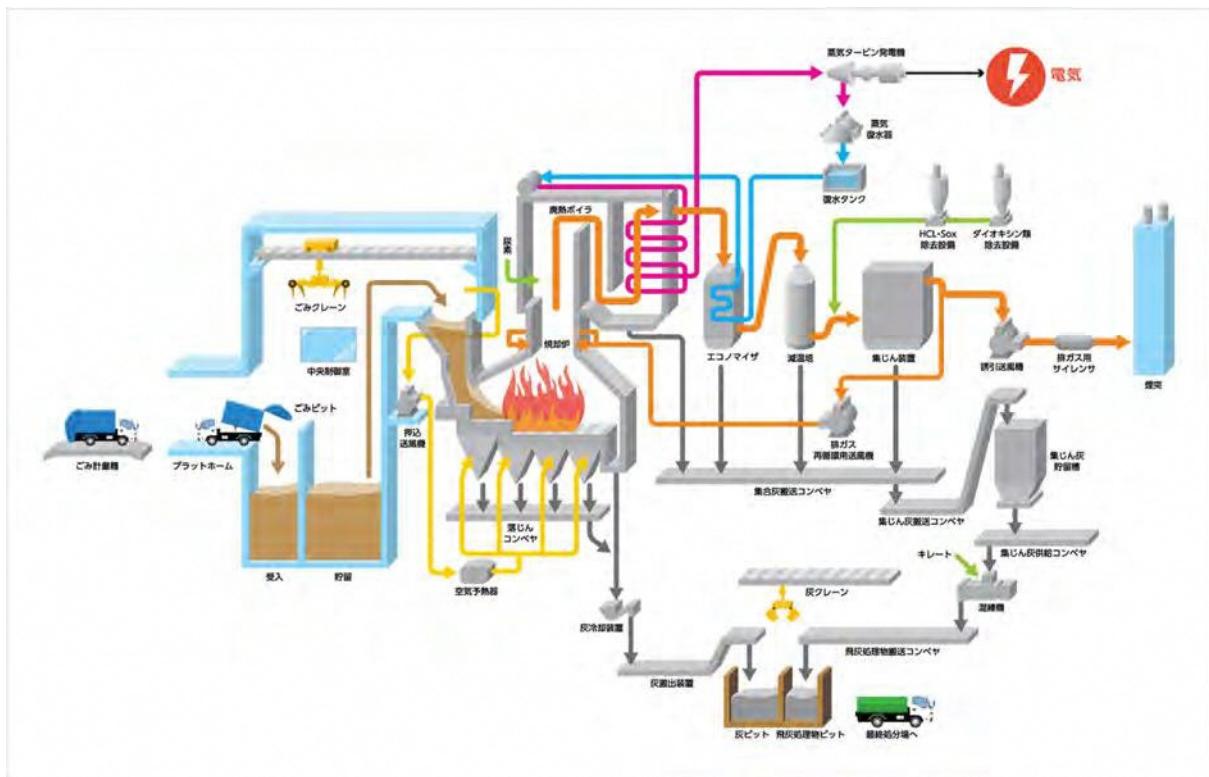
(2) ごみ処理フロー

阿賀町では排出されたごみは一部の資源ごみを除いて、五泉地域衛生施設組合クリーンセンターあがのがわに搬出している。クリーンセンターあがのがわにて処理するごみ種類は可燃ごみ、不燃ごみ・粗大ごみ、プラスチック製容器包装、缶、びんである。

クリーンセンターあがのがわの処理フローを図 4.2、4.3 に示す。

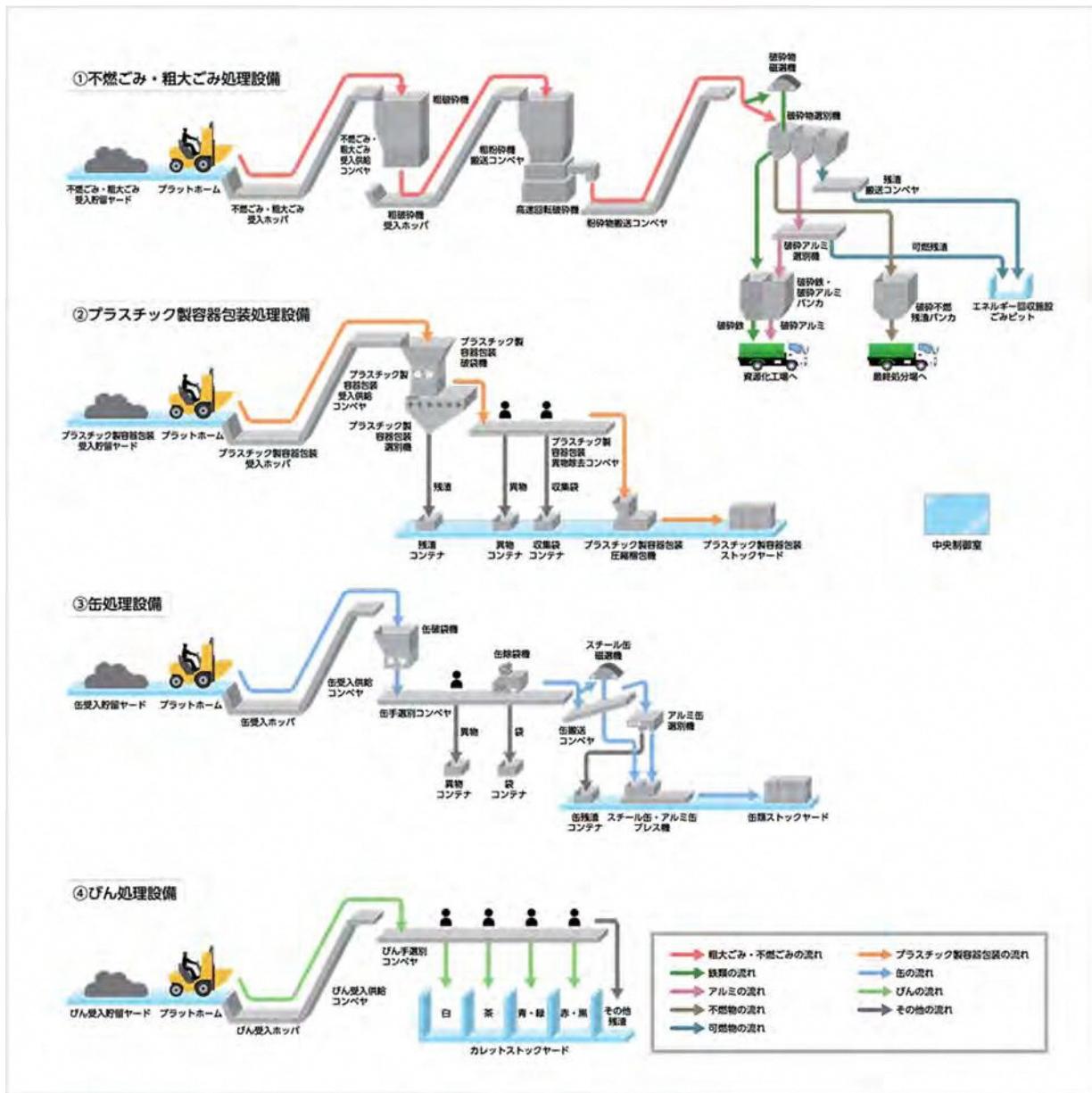
可燃ごみ処理では廃熱を利用して発電し施設内の電力を利用している。さらに、余剰電力の売電をしている。

可燃ごみ以外は、選別および破碎し、可能な限り元の材料として再利用できるよう処理しており、最終処分量が極力少なくなるようリユース・リサイクルに取り組んでいる。



資料：クリーンセンターあがのがわ HP より

図 4.2 処理フロー（可燃ごみ）



資料：クリーンセンターあがのがわ HP より

図 4.3 処理フロー（不燃ごみ・粗大ごみ、プラスチック製容器包装、缶、びん）

(3) ごみ処理主体

可燃ごみは、これまで阿賀町が主体として処理してきたが、五泉地域衛生施設組合が主体に変更となった。また、不燃ごみ、資源ごみ、有害ごみ等についてはこれまでと同様に、五泉地域衛生施設組合となっている。

表 4.1 ごみ処理主体

ごみ処理	収集・運搬	中間処理			最終処分
		可燃ごみ 粗大（可燃）ごみ	不燃ごみ 粗大（不燃）ごみ 資源ごみ	有害ごみ	
阿賀町	阿賀町 (排出者)	クリーンセンター あがのがわ※			外部委託処分

※五泉地域衛生施設組合 クリーンセンターあがのがわ

(4) 収集運搬の形態

・生活系ごみ

ごみ処理施設の変更に伴い生活系ごみの収集運搬の形態も一部変更となる。

具体的には、これまで焼却処理をしていたプラスチック製容器包装を、資源ごみとして個別収集し、資源化処理をするよう変更となった。また、ざつ紙を紙類として収集するよう変更となった。

表 4.2 生活系ごみの収集運搬の形態

ごみ種類	形態				地域	
	直営	委託	許可	無し	全地域	一部
可燃ごみ		○			○	
缶・びん類		○			○	
紙類（雑誌、紙パック、新聞紙、 ダンボール、ざつ紙）		○			○	
燃やさないごみ		○			○	
有害ごみ		○			○	
プラスチック製容器包装（白色トレイを含む）		○			○	
ペットボトル		○			○	
製品プラスチック				○		
その他プラスチック				○		
布類				○		
生ごみ				○		
廃食用油				○		
選定枝				○		
小型家電				○		
その他				○		
粗大ごみ			○	○	○	

※令和7年4月以降の収集形態

・事業系ごみ

事業系ごみの収集運搬の形態に関しても生活系ごみと同様にプラスチック製容器包装を、資源ごみとして個別収集し、資源化処理をするよう変更となった。また、ざつ紙を紙類として収集するよう変更となった。

表 4.3 事業系ごみの収集運搬の形態

ごみ種類	形態				地域	
	直営	委託	許可	無し	全地域	一部
可燃ごみ			○		○	
缶・びん類			○		○	
紙類（雑誌、紙パック、新聞紙、ダンボール、ざつ紙）			○		○	
燃やさないごみ			○		○	
有害ごみ			○		○	
プラスチック製容器包装（白色トレイを含む）			○		○	
ペットボトル			○		○	
製品プラスチック				○		
その他プラスチック				○		
布類				○		
生ごみ				○		
廃食用油				○		
選定枝				○		
小型家電				○		
その他				○		
粗大ごみ			○	○	○	

※令和7年4月以降の収集形態

(5) ごみの分別方法

1) ごみの分別区分と収集頻度

変更した、生活系ごみの分別区分と収集頻度を表 4.4 に示す。

新たに、プラスチック製容器包装を追加し、月 4 回の収集とした。

表 4.4 ごみ収集区分

燃やすごみ	缶・びん類	紙類	燃やさないごみ
生ごみ、布類、革製品 ゴム・皮革製品 プラスチック製品	アルミ缶、スチール缶 びん類	新聞紙、折込チラシ、 紙パック、ダンボール、 雑誌、ざつ紙	小型家電、せともの類、 鍋・一斗缶、ガラス類、 スプレー缶、キー板、 自転車・一輪車、 電球・LED 電球
町の指定のごみ袋に入れ る。	びん類は直接専用コンテナ に入る。	十字にしばる。	割れ物は”危険”と表示す る。
週 3 回	月 2 回	月 2 回	月 2 回

有害ごみ	プラスチック製容器包装	ペットボトル
乾電池、水銀体温計、 蛍光ランプ・電球型蛍光ラ ンプ		
バッテリー、電池が外れな い製品は有害ごみとして出 す。	透明・半透明の袋に入れ る。	透明・半透明の袋に入れ る。
月 2 回	月 4 回※	月 2 回

※令和 7 年 4 月、5 月は月 2 回

2. 目標の設定

(1) 国の目標

令和6年8月に第5次循環型社会形成推進基本計画が閣議決定され、ごみ処理に関する新たな国 の目標が示された。さらに、令和7年2月に循環型社会形成推進基本計画の変更を受け、廃棄物処理基 本計画に具体的な目標値が示された。

ごみ処理に関する国の目標を表4.5に示す。

本計画が示す目標値は国全体の目標値であり、地域性等により実現が困難な場合も考えられる。

②、③の目標は具体的な数字が掲げられているが、現実的に困難と考えられる場合は、令和4年度比 に令和12年度までの削減率を目標としている。

表4.5 廃棄物処理基本計画の目標値（一般廃棄物処理に関する事項）

項目	目標値	目標年度
①一般廃棄物の排出量	令和4年度比 約9%削減	令和12年度 (2030年度)
②1人1日あたり 生活系ごみ排出量	約478g	令和12年度 (2030年度)
	令和4年度比 約4%削減	
③1人1日あたりごみ焼却量	約580g	令和12年度 (2030年度)
	令和4年度比 約15%削減	
④一般廃棄物最終処分量	令和4年度比 約5%削減	令和12年度 (2030年度)

(2) 県の目標

「新潟県環境基本計画（2017-2028）」では、以下の目標を掲げている。

いずれも、目標年度を経過しているが、阿賀町ではすべての目標は達成できていない。

表 4.6 新潟県環境基本計画の目標値（一般廃棄物処理に関する事項）

項目	目標値	目標年度	実績
一般廃棄物再生利用率	27.3%以上	令和6年度 (2024年度)	10.2%
一般廃棄物最終処分率	7.9%以下	令和6年度 (2024年度)	9.6%
1人1日あたりの焼却処理量	767g	令和4年度 (2022年度)	889.1g

(3) 本計画の目標値

本計画における目標値は、廃棄物処理基本計画で掲げられた目標値を基本として、絶対値ではなく、令和4年度の値を基準とした削減割合とした。廃棄物処理基本計画では目標年度を令和12年としているが、本計画では中間目標年度とし、令和12年度に本計画の見直しを行い、目標の達成度に応じて目標値を見直すものとする。

表 4.7 廃棄物処理基本計画の目標値（一般廃棄物処理に関する事項）

項目	目標	中間目標年度	目標値
①一般廃棄物の排出量	令和4年度比 約9%削減	令和12年度 (2030年度)	3,486t/年
②1人1日あたり 生活系ごみ排出量	令和4年度比 約4%削減	令和12年度 (2030年度)	749.3g/人・日
③1人1日あたりごみ焼却量	令和4年度比 約15%削減	令和12年度 (2030年度)	755.7g/人・日
④一般廃棄物最終処分量	令和4年度比 約5%削減	令和12年度 (2030年度)	463t/年

3. 将来ごみ排出量等の推計

(1) 人口の推計の推計方法

人口の将来予測は、以下に示す条件に基づいてトレンド法を用いて令和 22 年度まで推計した。

（「第 3 次阿賀町総合計画（2025-2034）」においても、将来人口の推計をしているが、推計間隔が 5 年毎となっている。本計画では 1 年ごとの人口が必要なため、改めて推計した。）

また、過去 10 年間の人口の変動をもとに表 4.8 に示す 6 種類の推計式を作成し、相関係数（R）やグラフの形状を確認し 1 つを選定した。

推計期間は計画期間（令和 7 年度から令和 22 年度）とした。

表 4.8 推計方法

項目	説明
過去実績	住民基本台帳（外国人を含む）人口 ※毎年 10 月 1 日時点
実績期間	過去 10 年間（平成 27 年度～令和 6 年度）
推計式	①直線式、②べき乗数式、③一次指数式、④修正指数式、 ⑤ロジスティック式、⑥二次傾向式（6 種類）
推計期間	将来 16 年間（令和 7 年度～令和 22 年度）

(2) 推計結果（将来人口）

将来人口の推計結果を表 4.9 に示す。

令和 6 年度時点で約 9,100 人であった人口は、目標年度である令和 22 年度では、約 5,500 人まで減少すると推定される。

表 4.9 人口の推移（実績・推計）

単位：人

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
人口（実績）	12,222	11,874	11,538	11,174	10,775	10,444	10,153	9,855	9,467	9,107
年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
人口（推計）	8,884	8,601	8,327	8,062	7,805	7,557	7,316	7,083	6,857	6,639
年度	R17	R18	R19	R20	R21	R22				
人口（推計）	6,427	6,223	6,025	5,833	5,647	5,467				

(3) ごみ排出量の推計方法

現状で推移した場合のごみ排出量の予測では、過去5年間のごみ種類別・搬入方法別の1人1日あたりのごみ排出量をもとに、表4.10に示す6種類の推計式を作成し、相関係数(R)やグラフの形状を確認し1つを選定した。ただし、数値の変動が少ない場合は、5年間の平均値を用いた。

推計期間は計画期間（令和7年度から令和22年度）とした。

予測条件は、現状のまま推移した場合と、新たにごみ減量の施策をした場合とし、目標達成可能であるかを確認した。

表4.10 推計方法

項目	説明
過去実績	ごみ種類別・搬入方法別のごみ原単位
実績期間	過去5年間（令和2年度～令和6年度）
推計式	①直線式、②べき乗式、③一次指数式、④修正指数式、 ⑤ロジスティック式、⑥二次傾向式（6種類）
推計期間	将来16年間（令和7年度～令和22年度）
推計条件	①現状のまま推移した場合（単純予測） ②ごみ減量等の施策効果を見込んだ場合

また、これまで可燃ごみとして処理してきたプラスチック製容器包装を資源ごみとして分別収集することにより、可燃ごみ排出量が減少し、資源ごみ排出量が増大することになる。

（3か月間の実績で、可燃ごみの約3%分のプラスチック製容器包装が排出されたので、（1）による推計から3%分の可燃ごみを控除し、資源ごみに振り分けた。）

※推計方法については、詳細を資料編に示す。

(4) 推計結果（現状のまま推移した場合のごみ排出量の予測（単純予測））

将来ごみ量の推計結果を表 4.11～4.14 に示す。

予測の結果、現状のままで推移した場合では、目標値を達成することは難しいとの結果となった。

表 4.11 目標値と推計の比較（単純予測）

項目	目標	中間目標年度	目標値	推計
①一般廃棄物の排出量	令和4年度比 約9%削減	令和12年度 (2030年度)	3,486 t/年	2,983 t/年 (達成)
②1人1日あたり 生活系ごみ排出量	令和4年度比 約4%削減	令和12年度 (2030年度)	749.3 g/人・日	741.0 g/人・日 (達成)
③1人1日あたり ごみ焼却量	令和4年度比 約15%削減	令和12年度 (2030年度)	755.7 g/人・日	798.0 g/人・日 (未達成)
④一般廃棄物最終処分量	令和4年度比 約5%削減	令和12年度 (2030年度)	463 t/年	280 t/年 (達成)

表4.12 ごみ排出量等（単純予測（プラスチック製容器包装3%））

				実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	推計																			
年度				単位	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	
人口				人	12,222	11,874	11,538	11,174	10,775	10,444	10,153	9,855	9,467	9,107	8,884	8,601	8,327	8,062	7,805	7,557	7,316	7,083	6,857	6,639	6,427	6,223	6,025	5,833	5,647	5,467	
ごみ種類				単位	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	
ごみ排出量	生活系 ごみ	委託等	可燃ごみ	t/年	2,964	2,779	2,697	2,594	2,533	2,374	2,180	2,192	2,004	1,952	1,870	1,799	1,738	1,671	1,611	1,555	1,504	1,448	1,398	1,350	1,307	1,259	1,217	1,176	1,139	1,098	
		委託等	不燃ごみ	t/年	326	303	294	293	268	271	249	243	222	209	212	203	195	187	180	173	167	161	155	149	144	139	134	129	125	121	
		委託等	資源ごみ	t/年	342	317	304	300	268	264	257	240	224	226	209	202	195	188	181	175	169	163	158	152	147	142	137	133	129	124	
		委託等	その他ごみ	t/年	0	6	0	0	0	20	0	7	0	6	7	7	7	7	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5		
		委託等	粗大ごみ	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		直接搬入	可燃ごみ	t/年	97	75	17	13	77	20	11	17	12	10	19	18	18	17	16	16	15	15	14	14	13	13	12	12	12	11	
		直接搬入	不燃ごみ	t/年	7	7	6	11	11	12	13	11	13	14	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	
		直接搬入	資源ごみ	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
		直接搬入	その他ごみ	t/年	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		直接搬入	粗大ごみ	t/年	0	0	84	0	70	90	94	98	106	124	121	121	120	118	115	112	109	106	102	99	96	93	90	87	85	82	
事業系 ごみ	ごみ	小計		t/年	3,736	3,487	3,402	3,211	3,227	3,061	2,804	2,808	2,581	2,541	2,446	2,358	2,281	2,196	2,118	2,045	1,976	1,905	1,839	1,776	1,718	1,657	1,601	1,548	1,500	1,446	
		許可等	可燃ごみ	t/年	919	770	759	730	725	645	662	660	620	619	821	811	799	782	764	746	728	707	687	667	649	628	609	591	574	555	
		許可等	不燃ごみ	t/年	59	68	44	42	35	30	34	28	27	35	17	17	16	16	16	15	15	14	14	14	13	13	12	12	12	11	
		許可等	資源ごみ	t/年	0	81	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		許可等	その他ごみ	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	10	10	10	9	9	9	9	8	8	8	7	7	7		
		許可等	粗大ごみ	t/年	0	0	0	0	0	18	0	0	29	0	44	44	44	44	43	42	42	41	39	38	37	36	35	34	33	32	
		直接搬入	可燃ごみ	t/年	132	123	97	173	88	124	145	311	236	233	53	52	51	50	49	47	47	45	44	43	41	40	39	38	37	35	
		直接搬入	不燃ごみ	t/年	11	13	6	4	14	6	6	10	9	2	20	19	19	18	18	17	17	16	16	15	15	15	14	14	13		
		直接搬入	資源ごみ	t/年	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		直接搬入	その他ごみ	t/年	0	44	9	16	19	10	11	14	23	16	11	11	11	11	11	10	10	10	9	9	9	8	8	8	8		
総排出量		直接搬入	粗大ごみ	t/年	0	0	23	39	45	64	64	0	35	105	51	52	51	51	50	49	48	46	45	44	42	41	40	39	37		
		小計		t/年	1,121	1,107	938	1,004	926	897	922	1,023	979	1,010	1,026	1,016	1,002	983	961	938	917	891	864	840	816	791	767	744	724	698	
		可燃ごみ合計			t/年	4,112	3,747	3,570	3,510	3,423	3,163	2,998	3,180	2,872	2,814	2,763	2,680	2,606	2,520	2,440	2,364	2,294	2,215	2,143	2,074	2,010	1,940	1,877	1,817	1,762	1,699
		資源ごみ合計			t/年	342	406	304	300	268	264	257	240	224	226	213	206	199	192	185	179	172	166	161	155	150	145	140	136	132	127
		可燃ごみ 紙+プラ修正 合計			0.97																										
		資源ごみ 紙																													

表4.13 1人1日あたりのごみ排出量等（単純予測（プラスチック製容器包装3%））

ごみ種類				単位	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22
1人1日 あたりの ごみ排出量	生活系 ごみ	委託等	可燃ごみ	g/人日	662.6	641.2	640.4	636.0	642.3	622.8	588.3	609.4	578.4	587.2	576.6	573.2	570.3	567.9	565.6	563.6	561.7	560.1	558.6	557.1	555.8	554.5	553.3	552.2	551.1	550.1
		委託等	不燃ごみ	g/人日	72.9	69.9	69.8	71.8	68.0	71.1	67.2	67.6	64.1	62.9	65.3	64.6	64.1	63.6	63.2	62.8	62.5	62.2	61.9	61.6	61.4	61.3	61.0	60.8	60.7	60.5
		委託等	資源ごみ	g/人日	76.5	73.1	72.2	73.6	68.0	69.3	69.3	66.7	64.6	68.0	64.6	64.3	64.0	63.8	63.6	63.4	63.3	63.1	63.0	62.8	62.7	62.6	62.5	62.4	62.3	62.2
		委託等	その他ごみ	g/人日	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	5.2	0.0	1.9	0.0	1.8	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	
		委託等	粗大ごみ	g/人日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		直接搬入	可燃ごみ	g/人日	21.7	17.3	4.0	3.2	19.5	5.2	3.0	4.7	3.5	3.0	5.8	5.8	5.8	5.7	5.7	5.7	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	
		直接搬入	不燃ごみ	g/人日	1.6	1.6	1.4	2.7	2.8	3.1	3.5	3.1	3.8	4.2	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.2	1.2	1.2	1.2	
		直接搬入	資源ごみ	g/人日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	
		直接搬入	その他ごみ	g/人日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		直接搬入	粗大ごみ	g/人日	0.0	0.0	19.9	0.0	17.8	23.6	25.4	27.2	30.6	37.3	37.4	38.7	39.5	40.1	40.4	40.6	40.8	40.9	40.9	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	
		小計		g/人日	835.3	804.5	807.7	787.3	818.4	802.9	756.7	780.6	745.0	764.4	754.6	751.5	748.6	746.0	743.4	741.0	738.9	736.9	734.9	733.0	731.4	729.8	728.2	726.8	725.5	724.2
事業系 ごみ	ごみ	許可等	可燃ごみ	g/人日	205.4	177.7	180.2	179.0	183.8	169.2	178.6	183.5	178.9	186.2	253.1	258.2	262.3	265.6	268.2	270.3	272.0	273.4	274.5	275.4	276.1	276.6	277.1	277.5	277.9	278.1
		許可等	不燃ごみ	g/人日	13.2	15.7	10.4	10.3	8.9	7.9	9.2	7.8	7.8	10.5	5.2	5.3	5.3	5.4	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	
		許可等	資源ごみ	g/人日	0.0	18.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		許可等	その他ごみ	g/人日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	3.1	3.2	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	
		許可等	粗大ごみ	g/人日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.7	0.0	0.0	8.4	0.0	13.5	14.1	14.6	15.0	15.2	15.4	15.5	15.7	15.7	15.8	15.9	15.9	15.9	16.0	16.0	
		直接搬入	可燃ごみ	g/人日	29.5	28.4	23.0	42.4	22.3	32.5	39.1	86.5	68.1	70.1	16.2	16.5	16.7	16.9	17.1	17.2	17.4	17.4	17.5	17.6	17.6	17.7	17.7	17.7	17.7	
		直接搬入	不燃ごみ	g/人日	2.5	3.0	1.4	1.0	3.6	1.6	1.6	2.8	2.6	0.6	6.1	6.2	6.3	6.4	6.4	6.4	6.5	6.5	6.5	6.5	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	
		直接搬入	資源ごみ	g/人日	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		直接搬入	その他ごみ	g/人日	0.0	10.2	2.1	3.9	4.8	2.6	3.0	3.9	6.6	4.8	3.5	3.6	3.7	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	
		直接搬入	粗大ごみ	g/人日	0.0	0.0	5.5	9.6	11.4	16.8	17.3	0.0	10.1	31.6	15.8	16.6	17.1	17.5	17.9	18.1	18.3	18.4	18.5	18.6	18.6	18.7	18.7	18.7	18.7	
		小計		g/人日	250.6	255.5	222.6	246.2	234.8	235.3	248.8	284.5	282.5	303.8	316.3	323.6	329.2	333.9	337.4	340.1	342.4	344.1	345.5	346.8	347.6	348.3	348.9	349.3	349.8	350.0
	総計			g/人日	1,085.9	1,060.0	1,030.3	1,033.5	1,053.2	1,038.2	1,005.5	1,065.1	1,027.5	1,068.2	1,070.9	1,075.1	1,077.8	1,079.9	1,080.8	1,081.1	1,081.3	1,081.0	1,080.4	1,079.8	1,078.1	1,077.1	1,076.1	1,075.3	1,074.2	

表 4.14 ごみ処理量の推計（単純予測（プラスチック製容器包装 3%））

ごみ種類		単位	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22
焼却処理量		t/年	4,037	3,813	3,734	3,510	3,510	3,375	2,998	3,198	3,065	3,059																
	可燃ごみ/焼却処理量	-	1.02	0.98	0.96	1.00	0.98	0.94	1.00	0.99	0.94	0.92																
焼却処理量（推計）	0.96×可燃ごみ	t/年								平均	0.96		2,573	2,496	2,427	2,346	2,272	2,201	2,136	2,063	1,996	1,932	1,872	1,807	1,748	1,692	1,641	1,582
減量化量		t/年	3,494	3,292	3,237	3,015	2,895	2,941	2,583	2,766	2,709	2,719																
減量化量（推計）		t/年											2,239	2,172	2,111	2,041	1,977	1,915	1,858	1,795	1,737	1,681	1,629	1,572	1,521	1,472	1,428	1,376
残渣量		t/年	543	521	497	495	615	434	415	432	356	340																
	残渣量/焼却処理量	-	0.13	0.14	0.13	0.14	0.18	0.13	0.14	0.14	0.12	0.11																
残渣量（推計）	0.13×焼却処理量	t/年							平均	0.13			334	324	316	305	295	286	278	268	259	251	243	235	227	220	213	206
1人1日あたりごみ焼却量		g/人・日	902.5	879.8	886.6	860.6	890.0	885.3	809.0	889.1	884.6	920.3	793.5	795.1	796.3	797.2	797.5	798.0	797.7	798.0	797.5	797.3	795.8	795.5	794.9	794.7	794.0	792.8

資源化施設処理量		t/年	820	1,157	748	659	615	583	728	651	495	492																	
	資源ごみ/資源化施設処理量	-	0.42	0.35	0.41	0.46	0.44	0.45	0.35	0.37	0.45	0.46																	
資源化施設処理量（推計）	0.42×資源ごみ	t/年							平均	0.42			705	681	660	638	614	595	574	552	536	517	500	483	467	455	441	424	
資源化量		t/年	745	703	659	659	511	354	577	489	389	363																	
	資源ごみ/資源化量	-	0.46	0.58	0.46	0.46	0.52	0.75	0.45	0.49	0.58	0.62																	
資源化量（推計）	資源ごみ量/0.58	t/年							平均	0.58			510	493	478	462	445	431	416	400	388	374	362	350	338	329	319	307	
資源化率	資源排出量/資源化量	-	15.3	15.3	15.2	15.6	12.3	8.9	15.5	12.8	10.9	10.2	14.7	14.6	14.6	14.5	14.5	14.4	14.4	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3		

最終処分量		t/年	564	587	497	495	499	434	415	487	356	340																
	残渣量/最終処分量	-	0.96	0.89	1.00	1.00	1.23	1.00	1.00	0.89	1.00	1.00																
最終処分量（推計）	0.98×残渣量	t/年							平均	0.98			327	318	310	299	289	280	272	263	254	246	238	230	222	216	209	202
最終処分率	最終処分量/総排出量	%	11.6	12.8	11.5	11.7	12.0	11.0	11.1	12.7	10.0	9.6	9.4	9.4	9.4	9.4	9.4	9.4	9.4	9.4	9.4	9.4	9.4	9.4	9.4	9.4	9.4	

(5) 推計結果（ごみ減量対策の効果を考慮した予測結果）

ごみ減量のための施策として以下の施策を実施し、その効果を見込んで予測した。

施策 1

これまで、可燃ごみとして処理してきたプラスチック製容器包装を、令和7年度から資源ごみとして分別収集するよう変更となった。これにより、可燃ごみ量が減少し、資源ごみ量が増大することとなる。

単純予測では、3か月の実績を用いて予測をしたが、今後も継続して、住民への周知を徹底することにより、プラスチック製容器包装の分別を習慣づけるよう努める。このことにより、可燃ごみの5%がプラスチック製容器包装として排出されるものとして推計した。

施策 2

これまで、可燃ごみとして処理してきた紙類を、令和7年度から紙箱、紙袋、投函チラシ、ノート、メモ紙などを紙類（ざつ紙）として分別収集するよう変更となった。こちらもプラスチック製容器包装と同様に、住民への周知を徹底することにより、ざつ紙の分別を習慣づけるよう努める。このことにより、可燃ごみの5%がざつ紙として排出されるものとして推計した。

(6) ごみ減量対策の効果を考慮した推計結果

将来ごみ量の推計結果を表4.15～4.18に示す。

ごみ減量対策の効果を考慮した場合、令和12年度に目標を達成できると予測される。

表4.15 目標値と推計の比較（施策効果を見込んだ場合）

項目	目標	中間目標年度	目標値	推計（R12）
①一般廃棄物の排出量	令和4年度比 約9%削減	令和12年度 (2030年度)	3,486 t/年	2,983 t/年 (達成)
②1人1日あたり 生活系ごみ排出量	令和4年度比 約4%削減	令和12年度 (2030年度)	749.3 g/人・日	741.0 g/人・日 (達成)
③1人1日あたり ごみ焼却量	令和4年度比 約15%削減	令和12年度 (2030年度)	755.7 g/人・日	740.7 g/人・日 (達成)
④一般廃棄物最終処分量	令和4年度比 約5%削減	令和12年度 (2030年度)	463 t/年	261 t/年 (達成)

表4.16 ごみ排出量等（プラスチック製容器包装5%、紙類5%）

				実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	推計																					
年度				単位	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22			
人口				人	12,222	11,874	11,538	11,174	10,775	10,444	10,153	9,855	9,467	9,107	8,884	8,601	8,327	8,062	7,805	7,557	7,316	7,083	6,857	6,639	6,427	6,223	6,025	5,833	5,647	5,467			
ごみ種類				単位	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22			
ごみ排出量	生活系 ごみ	委託等	可燃ごみ	t/年	2,964	2,779	2,697	2,594	2,533	2,374	2,180	2,192	2,004	1,952	1,870	1,799	1,738	1,671	1,611	1,555	1,504	1,448	1,398	1,350	1,307	1,259	1,217	1,176	1,139	1,098			
		委託等	不燃ごみ	t/年	326	303	294	293	268	271	249	243	222	209	212	203	195	187	180	173	167	161	155	149	144	139	134	129	125	121			
		委託等	資源ごみ	t/年	342	317	304	300	268	264	257	240	224	226	209	202	195	188	181	175	169	163	158	152	147	142	137	133	129	124			
		委託等	その他ごみ	t/年	0	6	0	0	0	20	0	7	0	6	7	7	7	7	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5				
		委託等	粗大ごみ	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
		直接搬入	可燃ごみ	t/年	97	75	17	13	77	20	11	17	12	10	19	18	18	17	16	16	15	15	14	14	13	13	12	12	12	11			
		直接搬入	不燃ごみ	t/年	7	7	6	11	11	12	13	11	13	14	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2			
		直接搬入	資源ごみ	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3				
		直接搬入	その他ごみ	t/年	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
		直接搬入	粗大ごみ	t/年	0	0	84	0	70	90	94	98	106	124	121	121	120	118	115	112	109	106	102	99	96	93	90	87	85	82			
小計				t/年	3,736	3,487	3,402	3,211	3,227	3,061	2,804	2,808	2,581	2,541	2,446	2,358	2,281	2,196	2,118	2,045	1,976	1,905	1,839	1,776	1,718	1,657	1,601	1,548	1,500	1,446			
事業系 ごみ	許可等	可燃ごみ	t/年	919	770	759	730	725	645	662	660	620	619	821	811	799	782	764	746	728	707	687	667	649	628	609	591	574	555				
		許可等	不燃ごみ	t/年	59	68	44	42	35	30	34	28	27	35	17	17	16	16	16	15	15	14	14	14	13	13	12	12	12	11			
		許可等	資源ごみ	t/年	0	81	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
		許可等	その他ごみ	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	10	10	10	9	9	9	9	8	8	8	7	7	7	7				
		許可等	粗大ごみ	t/年	0	0	0	0	0	18	0	0	29	0	44	44	44	44	43	42	42	41	39	38	37	36	35	34	33	32			
		直接搬入	可燃ごみ	t/年	132	123	97	173	88	124	145	311	236	233	53	52	51	50	49	47	47	45	44	43	41	40	39	38	37	35			
		直接搬入	不燃ごみ	t/年	11	13	6	4	14	6	6	10	9	2	20	19	19	18	18	17	17	16	16	15	15	15	14	14	13				
		直接搬入	資源ごみ	t/年	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
		直接搬入	その他ごみ	t/年	0	44	9	16	19	10	11	14	23	16	11	11	11	11	11	10	10	10	9	9	9	8	8	8	8				
		直接搬入	粗大ごみ	t/年	0	0	23	39	45	64	64	0	35	105	51	52	51	51	50	49	48	46	45	44	42	41	40	39	37				
小計				t/年	1,121	1,107	938	1,004	926	897	922	1,023	979	1,010	1,026	1,016	1,002	983	961	938	917	891	864	840	816	791	767	744	724	698			
可燃ごみ合計				t/年	4,112	3,747	3,570	3,510	3,423	3,163	2,998	3,180	2,872	2,814	2,763	2,680	2,606	2,520	2,440	2,364	2,294	2,215	2,143	2,074	2,010	1,940	1,877	1,817	1,762	1,699			
資源ごみ合計				t/年	342	406	304	300	268	264	257	240	224	226	213	206	199	192	185	179	172	166	161	155	150	145	140	136	132	127			
可燃ごみ 紙+プラ修正 合計				0.9															2,487	2,412	2,345	2,268	2,196	2,128	2,065	1,994	1,929	1,867	1,809	1,746	1,689	1,635	1,5

表4.17 1人1日あたりのごみ排出量等（プラスチック製容器包装5%、紙類5%）

ごみ種類				単位	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22
1人1日 あたりの ごみ排出量	生活系 ごみ	委託等	可燃ごみ	g/人日	662.6	641.2	640.4	636.0	642.3	622.8	588.3	609.4	578.4	587.2	576.6	573.2	570.3	567.9	565.6	563.6	561.7	560.1	558.6	557.1	555.8	554.5	553.3	552.2	551.1	550.1
		委託等	不燃ごみ	g/人日	72.9	69.9	69.8	71.8	68.0	71.1	67.2	67.6	64.1	62.9	65.3	64.6	64.1	63.6	63.2	62.8	62.5	62.2	61.9	61.6	61.4	61.3	61.0	60.8	60.7	60.5
		委託等	資源ごみ	g/人日	76.5	73.1	72.2	73.6	68.0	69.3	69.3	66.7	64.6	68.0	64.6	64.3	64.0	63.8	63.6	63.4	63.3	63.1	63.0	62.8	62.7	62.6	62.5	62.4	62.3	62.2
		委託等	その他ごみ	g/人日	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	5.2	0.0	1.9	0.0	1.8	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	
		委託等	粗大ごみ	g/人日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		直接搬入	可燃ごみ	g/人日	21.7	17.3	4.0	3.2	19.5	5.2	3.0	4.7	3.5	3.0	5.8	5.8	5.8	5.7	5.7	5.7	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	
		直接搬入	不燃ごみ	g/人日	1.6	1.6	1.4	2.7	2.8	3.1	3.5	3.1	3.8	4.2	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.2	1.2	1.2	1.2	
		直接搬入	資源ごみ	g/人日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	
		直接搬入	その他ごみ	g/人日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		直接搬入	粗大ごみ	g/人日	0.0	0.0	19.9	0.0	17.8	23.6	25.4	27.2	30.6	37.3	37.4	38.7	39.5	40.1	40.4	40.6	40.8	40.9	40.9	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	
		小計		g/人日	835.3	804.5	807.7	787.3	818.4	802.9	756.7	780.6	745.0	764.4	754.6	751.5	748.6	746.0	743.4	741.0	738.9	736.9	734.9	733.0	731.4	729.8	728.2	726.8	725.5	724.2
事業系 ごみ	ごみ	許可等	可燃ごみ	g/人日	205.4	177.7	180.2	179.0	183.8	169.2	178.6	183.5	178.9	186.2	253.1	258.2	262.3	265.6	268.2	270.3	272.0	273.4	274.5	275.4	276.1	276.6	277.1	277.5	277.9	278.1
		許可等	不燃ごみ	g/人日	13.2	15.7	10.4	10.3	8.9	7.9	9.2	7.8	7.8	10.5	5.2	5.3	5.3	5.4	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	
		許可等	資源ごみ	g/人日	0.0	18.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		許可等	その他ごみ	g/人日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	3.1	3.2	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	
		許可等	粗大ごみ	g/人日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.7	0.0	0.0	8.4	0.0	13.5	14.1	14.6	15.0	15.2	15.4	15.5	15.7	15.7	15.8	15.9	15.9	15.9	15.9	16.0	
		直接搬入	可燃ごみ	g/人日	29.5	28.4	23.0	42.4	22.3	32.5	39.1	86.5	68.1	70.1	16.2	16.5	16.7	16.9	17.1	17.2	17.4	17.4	17.5	17.6	17.6	17.7	17.7	17.7	17.7	
		直接搬入	不燃ごみ	g/人日	2.5	3.0	1.4	1.0	3.6	1.6	1.6	2.8	2.6	0.6	6.1	6.2	6.3	6.4	6.4	6.4	6.5	6.5	6.5	6.5	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	
		直接搬入	資源ごみ	g/人日	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
		直接搬入	その他ごみ	g/人日	0.0	10.2	2.1	3.9	4.8	2.6	3.0	3.9	6.6	4.8	3.5	3.6	3.7	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9		
		直接搬入	粗大ごみ	g/人日	0.0	0.0	5.5	9.6	11.4	16.8	17.3	0.0	10.1	31.6	15.8	16.6	17.1	17.5	17.9	18.1	18.3	18.4	18.5	18.6	18.6	18.7	18.7	18.7		
		小計		g/人日	250.6	255.5	222.6	246.2	234.8	235.3	248.8	284.5	282.5	303.8	316.3	323.6	329.2	333.9	337.4	340.1	342.4	344.1	345.5	346.8	347.6	348.3	348.9	349.3	349.8	350.0
	総計			g/人日	1,085.9	1,060.0	1,030.3	1,033.5	1,053.2	1,038.2	1,005.5	1,065.1	1,027.5	1,068.2	1,070.9	1,075.1	1,077.8	1,079.9	1,080.8	1,081.1	1,081.3	1,081.0	1,080.4	1,079.8	1,078.1	1,077.1	1,076.1	1,075.3	1,074.2	

表 4.18 ごみ処理量の推計（プラスチック製容器包装 5%、紙類 5%）

ごみ種類		単位	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22
焼却処理量		t/年	4,037	3,813	3,734	3,510	3,510	3,375	2,998	3,198	3,065	3,059																
	可燃ごみ/焼却処理量	-	1.02	0.98	0.96	1.00	0.98	0.94	1.00	0.99	0.94	0.92																
焼却処理量（推計）	0.96×可燃ごみ	t/年								平均	0.96		2,388	2,316	2,251	2,177	2,108	2,043	1,982	1,914	1,852	1,792	1,737	1,676	1,621	1,570	1,523	1,468
減量化量		t/年	3,494	3,292	3,237	3,015	2,895	2,941	2,583	2,766	2,709	2,719																
減量化量（推計）		t/年											2,078	2,015	1,958	1,894	1,834	1,777	1,724	1,665	1,611	1,559	1,511	1,458	1,410	1,366	1,325	1,277
残渣量		t/年	543	521	497	495	615	434	415	432	356	340																
	残渣量/焼却処理量	-	0.13	0.14	0.13	0.14	0.18	0.13	0.14	0.14	0.12	0.11																
残渣量（推計）	0.13×焼却処理量	t/年							平均	0.13			310	301	293	283	274	266	258	249	241	233	226	218	211	204	198	191
1人1日あたりごみ焼却量		g/人・日	902.5	879.8	886.6	860.6	890.0	885.3	809.0	889.1	884.6	920.3	736.4	737.7	738.6	739.8	740.0	740.7	740.2	740.3	740.0	739.5	738.4	737.9	737.1	737.4	736.9	735.7

資源化施設処理量		t/年	820	1,157	748	659	615	583	728	651	495	492																	
	資源ごみ/資源化施設処理量	-	0.42	0.35	0.41	0.46	0.44	0.45	0.35	0.37	0.45	0.46																	
資源化施設処理量（推計）	資源ごみ×0.42	t/年							平均	0.42			1,164	1,129	1,095	1,057	1,021	988	955	921	893	862	836	807	781	757	733	707	
資源化量		t/年	745	703	659	659	511	354	577	489	389	363																	
	資源ごみ/資源化量	-	0.46	0.58	0.46	0.46	0.52	0.75	0.45	0.49	0.58	0.62																	
資源化量（推計）	資源ごみ量/0.58	t/年							平均	0.58			843	817	793	766	740	716	691	667	647	624	605	584	566	548	531	512	
資源化率	資源排出量/資源化量	-	0.15	15.3	15.2	15.6	12.3	8.9	15.5	12.8	10.9	10.2	24.3	24.2	24.2	24.1	24.0	24.0	23.9	23.9	23.9	23.9	23.9	23.9	23.9	23.9	23.9		

最終処分量		t/年	564	587	497	495	499	434	415	487	356	340																	
	残渣量/最終処分量	-	0.96	0.89	1.00	1.00	1.23	1.00	1.00	0.89	1.00	1.00																	
最終処分量（推計）	0.98×残渣量	t/年							平均	0.98			304	295	287	277	269	261	253	244	236	228	221	214	207	200	194	187	
最終処分率	最終処分量/総排出量	%	11.6	12.8	11.5	11.7	12.0	11.0	11.1	12.7	10.0	9.6	8.8	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7		

(5) 将来ごみ量

将来のごみ排出量（単純予測・施策効果を見込んだ場合）の推移を図4.5、4.6に示す。

推計に見込んだ施策として、これまで可燃ごみに含まれていた、プラスチック製容器包装および紙・布類の一部を資源ごみとして排出するよう努めるものであり、ごみの総排出量は変わらないが、資源化量が増えると試算される。

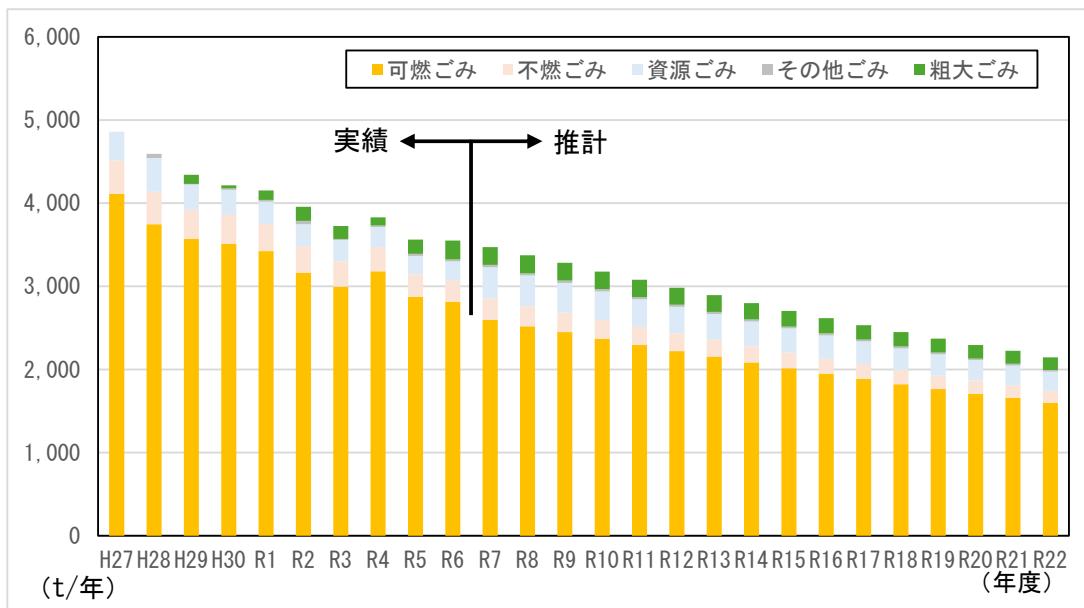


図4.5 将来ごみ量（単純予測）

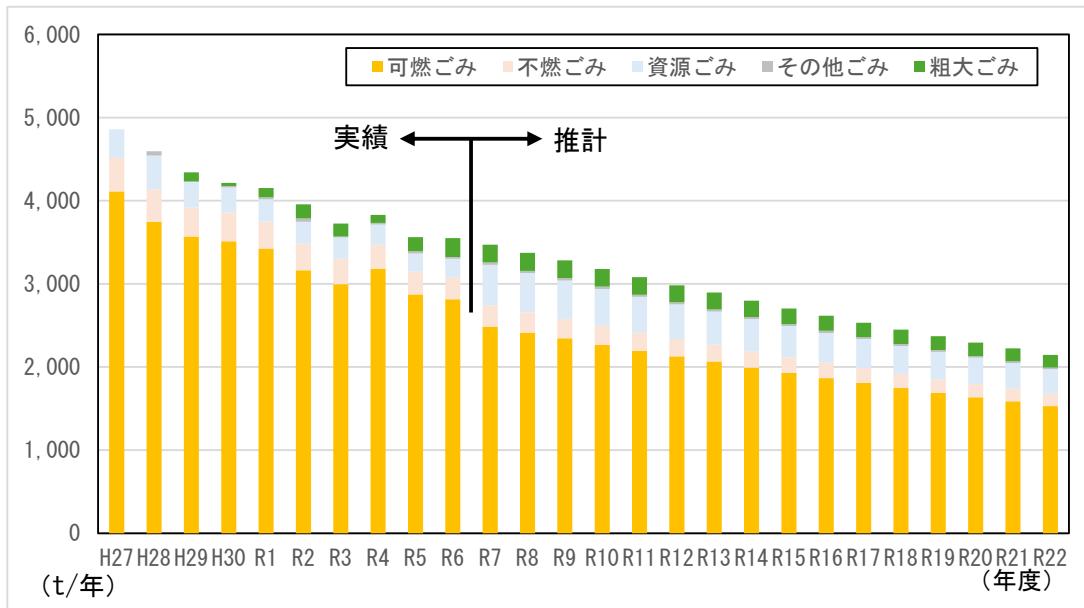


図4.6 将来ごみ量（施策効果を見込んだ場合）

4. ごみ処理基本計画の取り組み

目標達成に向けて、住民、事業者、行政それぞれの役割について以下に示す。

(1) 発生抑制・再資源化計画

【行政の役割】

1) 環境・リサイクル等の情報提供の充実

- 「広報あが」等による情報提供と町・組合ウェブサイト、SNSなどを活用して、社会情勢に合った情報ツールを随時見直し、町・組合の取り組みや循環型社会への関心情報を迅速かつ分かりやすく提供する。
- 転入者、外国人等に対して、ごみの発生抑制、分別排出等について、分かりやすい内容で周知する。

2) 学習機会の創造

- 組合と協力して、幅広い年齢層を対象に、資源化処理施設などの見学を計画し、地域や学校と連携した環境学習を推進する。

ごみ問題・環境問題をテーマにした学習会、環境ポスターの公募、町の教育関連部署、N P Oなどと連携し、小・中学生を対象とした環境教育や体験学習のカリキュラムの作成などを検討する。

3) 排出者への助言および指導

- 引っ越しや年末年始などの際に出る多量ごみについて、再利用できるものはリサイクルショップの活用など、有効利用をしてごみを減らすことができるよう処理方法などを周知する。
- マイバックを利用するなどレジ袋等ができる限り使わないようにする。また、商品の購入に際して、詰め替え用品の活用や簡易包装の徹底などを図るよう周知する。

【住民の役割】

- ごみの排出に際して、分別を徹底する。特に排出ルールの変わったプラスチック製容器包装については資源ごみとして排出することを徹底する。
- 雑誌、紙パック、新聞紙、ダンボールおよびざつ紙など再生紙の材料として利用できる紙類は資源ごみとして排出する。
- 可燃ごみに含まれる生ごみの削減に向け、環境衛生整備事業補助金制度を積極的に活用し、生ごみの削減に努める。
- 使い捨てプラスチック（ワンウェイプラスチック）の使用を控える。
- ごみの減量化を推進するために、過剰包装やレジ袋を使わないよう行動する。

【事業者の役割】

- 事業系ごみについては、事業者自ら減量化、再資源化、適正処理を行うように推進する。
- 商品の流通・販売などの各段階で発生する包装廃棄物については、事業者独自、あるいは事業者間での再生、有効利用のルートを確立し、排出を抑制するように活動する。
- 積極的にリサイクル製品や環境に配慮した商品を取り揃え、自らもそうした商品を活用するように活動する。また、アフターサービスの充実、リサイクルしやすい商品の開発や販売を推進する。
- 社内打ち合わせ資料等については、可能な限り電子化しタブレットなどを使用することで印刷物を少なくする。また、商品紹介に使用するパンフレット等を電子化して、PCやスマートフォンから見られるようにするなど、ペーパーレス化に取組む。

(2) 収集・運搬

【行政の役割】

1) 収集・運搬

- 資源として分別収集しているものが、可燃ごみや不燃ごみとして排出されないようごみの分け方と出し方について、幅広い年齢層に周知できるよう見直しを図る。また、排出ルールが守られない場合にはマナーの指導などを実施する。
- 生活系ごみは、各地区の収集日を明確にし、ステーション方式による委託収集をする。

2) 分別排出

- 収集車両については、ごみの性状や資源としての価値などを考慮し、ごみの種類ごとの適正な車両の使用を推進する。
- 事業系ごみを排出する場合には、自ら処理施設へ持ち込むか、許可業者に収集を依頼するよう指導を徹底する。事業者自らが資源のリサイクルルートや適正処理を図ることが困難な場合も考慮し、事業者間での協力を促進する。

【住民の役割】

- ごみステーションの衛生的な管理をする。
- 決められた日時に、決められたごみを排出する。
- ごみの減量化に努め、再資源化できるよう分別、洗浄する。
- 乾電池、水銀体温計、リチウム電池などの有害ごみは、他のごみと混入しない。

【事業者の役割】

- 多量排出事業者は、事業系ごみを生活系ごみステーションに排出しない。
- 多量排出事業者は、自ら処理施設へ持ち込むか、許可業者に収集を依頼する。
- 草木類等の搬入時は、水分等を減らし減容化に取り組む。
- 有害物、危険物等のごみは持ち込まない。

(3) 中間処理・最終処分計画

【行政の役割】

1) 中間処理

- 組合との協力のもと、焼却量の削減を図るとともに、適正な処理体制によりごみ処理の安定化に取り組む。
- 適正な運転管理および公害防止対策を継続し、ダイオキシン類や重金属類の排出、騒音、振動、悪臭などの発生を抑制するよう組合に要請する。

2) 最終処分

- 現状において、町および組合とともに最終処分場を管理していないことから、最終処分は民間の最終処分場に排出している。今後の安定的な廃棄物処理のため、組合や構成市町と協議し、最終処分場の必要性を含めた協議を進める。
- ごみの発生抑制・資源化に係る各種施策により、最終処分量の低減に努める。

(4) その他関連する施策

【行政の役割】

1) 排出困難者等への対応

- ごみステーションまでのごみ排出が困難な人の支援や、高齢者の見守り活動として、いわゆる「ごみ出し支援制度」の導入を検討する。

2) 適正処理困難物

- 組合で処理できない産業廃棄物や有害物質を含んでいる廃棄物など具体的に掲載し、それらは、排出者が自ら専門の処理業者に処理を依頼できるよう処理ルートを調査し、資源化を念頭に置きながら適正な処理を行う仕組みを作る。また、製造業者等への適正処理の配慮について要請する。

- 在宅医療廃棄物については、処置方法等により一般廃棄物になることから区分を明確にする。また、感染性のある医療廃棄物については、医療機関等、排出者が責任をもって処理、処分を行い、処理の状況を把握し適正処理が確保されるよう利用者へ周知する。

3) 不法投棄防止対策

- 不法投棄を防止するため、不法投棄巡回や町職員によるパトロールの強化、監視システムの体制の整備、関係機関との連携を強め、不法投棄をさせない環境づくりを強化する。

4) 災害等廃棄物対策

- 災害等により一度に多量の廃棄物が発生した場合に備え、組織体制を整備するとともに収集・運搬、処理・処分において迅速な対応ができるよう、県、近隣市町村との連携を図りながら対策を講じる。

【住民の役割】

- 不法投棄はしない。また、不法投棄を確認した場合、警察等へ通報する。

【事業者の役割】

- リサイクルの徹底に努める。
- 産業廃棄物は自らの責任において適正に処理する。

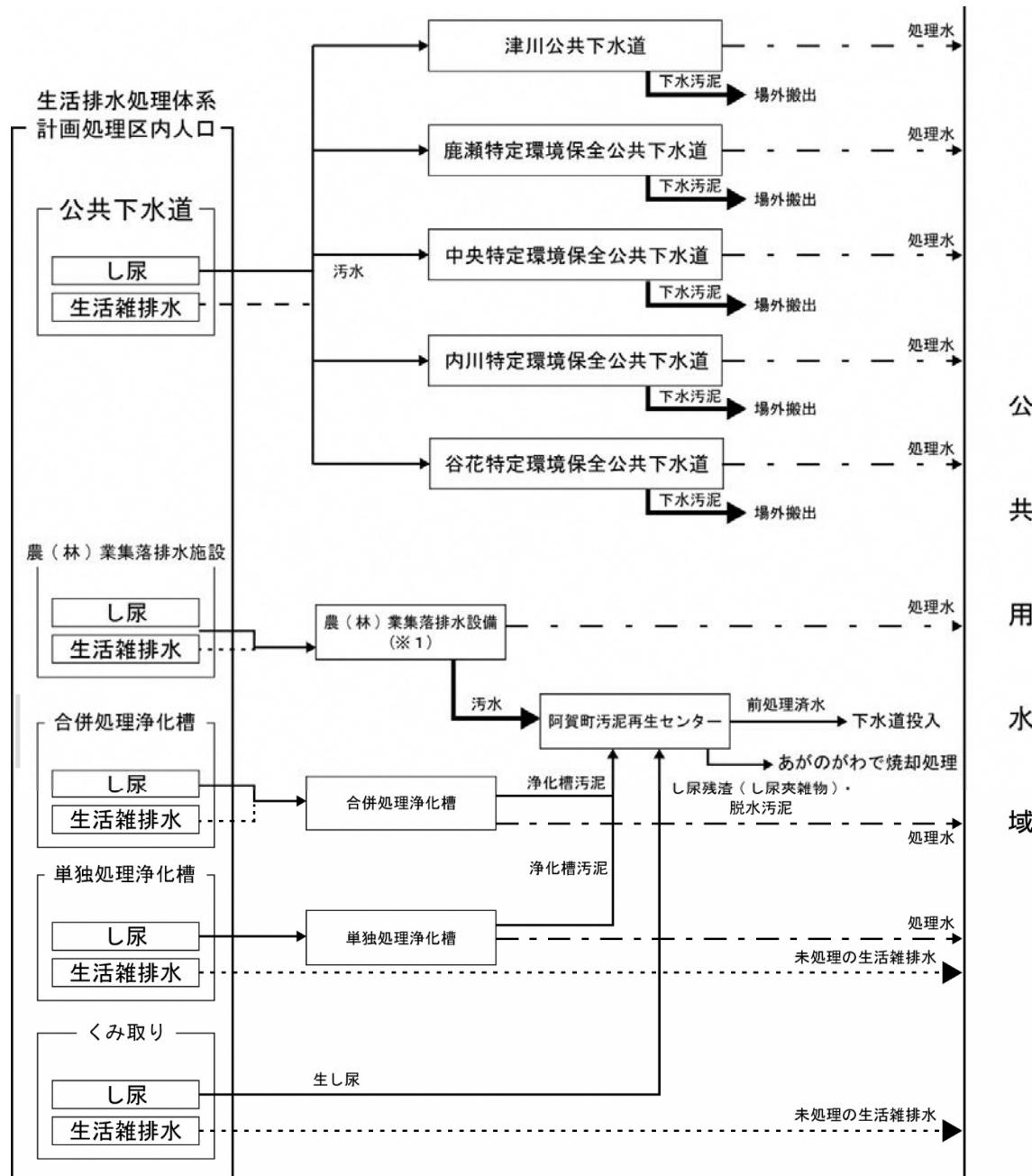
第5章 生活排水処理の実績

1. 生活排水処理フロー

阿賀町の生活排水処理フローを図 5.1 に示す。

公共下水道が整備されている地域では、公共下水道を使用している。

農業集落排水、林業集落排水および浄化槽から排出された汚泥については、阿賀町が管理する阿賀町汚泥再生センターにて処理している。



※1 22 施設：八木山農業集落排水処理施設、八ツ田農業集落排水処理施設、日出谷農業集落排水処理施設、豊美農業集落排水処理施設、七名農業集落排水処理施設、広谷農業集落排水処理施設、西川農業集落排水処理施設、三宝分農業集落排水処理施設、日野川農業集落排水処理施設、五十島農業集落排水処理施設、吉津農業集落排水処理施設、白崎農業集落排水処理施設、岩谷農業集落排水処理施設、綱木農業集落排水処理施設、東下条農業集落排水処理施設、石間農業集落排水処理施設、石戸農業集落排水処理施設、長谷農業集落排水処理施設、新谷古岐農業集落排水処理施設、押手林農業集落排水処理施設、中山林農業集落排水処理施設、室谷集落排水処理施設

図 5.1 生活排水処理フロー

2. 生活排水処理体制

(1) 生活排水処理体系

1) 収集・運搬計画

収集区域は、本地域の全域とする。

2) 収集・運搬の主体

阿賀町におけるし尿および浄化槽汚泥の収集。運搬の主体を表5.1に示す。し尿の収集・運搬は町からの委託者、浄化槽汚泥の収集・運搬は町からの許可業者により実施する。

表5.1 し尿および浄化槽汚泥の収集・運搬主体

項目	収集運搬
し尿	委託業者
浄化槽汚泥	許可業者

3) 中間処理・最終処分計画

阿賀町のし尿および浄化槽汚泥は、阿賀町汚泥再生センターにて処理される。ただし、そこで出たし尿夾雜物・脱水汚泥は、クリーンセンターあがのがわに搬出して焼却処理後に最終処分される。

4) 下水道等の生活排水関連事業

下水道事業等の生活排水関連の事業を表 5.2 に示す。公共下水道事業が 5 事業、集落排水事業が 22 事業、合併処理浄化槽事業が 4 事業となっている。整備率は合併処理浄化槽を除いて 100% となっており、整備は終了している。ただし、水洗化が進んでいない事業においては、今後接続を促すことによって汚水処理率を向上させる計画である。

表 5.2 下水道事業等整備状況

種類	番号	地域	名称	整備率	水洗化率
公共下水道事業	1	津川	津川公共下水道	100.0%	76.5%
	2	鹿瀬	鹿瀬特定環境保全公共下水道	100.0%	91.8%
	3	上川	中央特定環境保全公共下水道	100.0%	93.7%
	4	三川	内川特定環境保全公共下水道	100.0%	98.3%
	5	三川	谷花特定環境保全公共下水道	100.0%	88.0%
農業集落排水	1	津川	八木山農業集落排水処理施設	100.0%	87.5%
	2	津川	八ツ田農業集落排水処理施設	100.0%	50.0%
	3	鹿瀬	日出谷農業集落排水処理施設	100.0%	83.4%
	4	鹿瀬	豊実農業集落排水処理施設	100.0%	95.8%
	5	上川	七名農業集落排水処理施設	100.0%	96.3%
	6	上川	広谷農業集落排水処理施設	100.0%	99.3%
	7	上川	西川農業集落排水処理施設	100.0%	91.2%
	8	上川	三宝分農業集落排水処理施設	100.0%	92.6%
	9	上川	日野川農業集落排水処理施設	100.0%	92.0%
	10	三川	五十島農業集落排水処理施設	100.0%	99.5%
	11	三川	吉津農業集落排水処理施設	100.0%	97.7%
	12	三川	白崎農業集落排水処理施設	100.0%	98.9%
	13	三川	岩谷農業集落排水処理施設	100.0%	98.1%
	14	三川	綱木農業集落排水処理施設	100.0%	98.2%
	15	三川	東下条農業集落排水処理施設	100.0%	82.2%
	16	三川	石間農業集落排水処理施設	100.0%	95.3%
	17	三川	石戸農業集落排水処理施設	100.0%	92.3%
	18	三川	長谷農業集落排水処理施設	100.0%	83.8%
	19	三川	新谷古岐農業集落排水処理施設	100.0%	74.4%
林業集落排水	1	上川	押手林業集落排水処理施設	100.0%	100.0%
	2	上川	中山林業集落排水処理施設	100.0%	100.0%
その他事業	1	上川	室谷集落排水処理施設	100.0%	100.0%
合併処理浄化槽事業	1	津川	合併処理浄化槽	92.59%	100.0%
	2	鹿瀬	合併処理浄化槽	94.74%	100.0%
	3	上川	合併処理浄化槽	97.49%	100.0%
	4	三川	合併処理浄化槽	97.80%	100.0%
合計				99.75%	87.6%

(2) 阿賀町汚泥再生センターの概要

農業集落排水、林業集落排水から排出された汚泥と、合併処理浄化槽、単独処理浄化槽から排出された浄化槽汚泥、また、くみ取り便槽から排出された生し尿は、阿賀町汚泥再生センターにて前処理を行い、下水道投入される。

阿賀町汚泥再生センターの概要を表 5.3 に示す。

表 5.3 し尿処理施設の施設概要

名称	阿賀町汚泥再生センター
竣工年	平成 12 年 3 月（基幹改良工事：令和 3 年）
現在地	東蒲原郡阿賀町西 374
処理方法	<u>脱水希釈放流処理方式</u> • 受入・貯留設備 (破碎装置、夾雜物・繊維除去装置、し渣脱水装置) • 汚泥処理設備 (汚泥脱水機) • 希釈放流設備
処理能力	し尿・浄化槽汚泥 : 22.44 kL/日 し尿 : 3.99 kL/日 浄化槽汚泥 : 13.65 kL/日 農集汚泥 : 4.8 kL/日
放流量	50 m ³ /日
放流先	下水道マンホール
処理対象地域	阿賀町

(3) 生活排水処理経費の推移

生活排水処理費の推移を表5.4に示す。

基本的に処理および維持管理のための処理費用と委託費用が計上されており、それらが全生活排水処理費の大部分となっている。

表5.4 生活排水処理費の推移 単位：千円

		H27	H28	H29	H30	R1
建設・改良費	工事費計	-	-	-	-	34,685
	調査費	-	-	-	6,458	-
	組合分担金	-	-	-	-	-
処理及び 維持管理費	人件費計	1,488	26	6	3	-
	処理費計	87,088	60,546	66,669	81,556	61,723
	車両等購入費	-	-	-	1,758	-
	委託費計	37,193	12,553	35,175	34,311	33,957
	組合分担費計	-	-	-	-	-
	調査研究費	-	2,380	2,495	-	-
その他		-	645	4	-	-
合計		125,769	76,150	104,349	124,086	130,365

		R2	R3	R4	R5	R6
建設・改良費	工事費計	58,351	131,871	-	-	-
	調査費	-	1,816	-	-	-
	組合分担金	-	-	-	-	-
処理及び 維持管理費	人件費計	-	-	-	-	3
	処理費計	55,798	42,038	35,716	44,522	48,344
	車両等購入費	-	-	-	-	-
	委託費計	40,075	10,659	33,449	40,932	35,589
	組合分担費計	-	-	-	-	-
	調査研究費	-	-	-	-	-
その他		-	-	-	-	-
合計		154,224	186,384	69,165	85,454	83,936

3. 形態別処理人口の推移

形態別処理人口の推移を表5.5、図5.4に示す。

全体的に人口の減少に伴って、形態別人口も減少している。

それぞれの形態別処理人口の割合は、公共下水道人口が高くなっている。農（林）業集落排水人口と合併処理浄化槽人口の割合はほぼ横ばいとなっており、単独処理浄化槽人口とし尿くみ取り人口の割合は、減少傾向となっている。

表5.5 形態別処理人口

年度	単位	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
計画処理区内人口（A）	人	12,222	11,874	11,538	11,174	10,775	10,444	10,153	9,855	9,467	9,107
衛生処理人口	人	10,089	9,843	9,639	9,388	9,132	8,869	8,665	8,379	8,072	7,782
公共下水道人口	人	5,681	5,578	5,467	5,340	5,225	5,122	5,034	4,886	4,712	4,575
農業集落排水人口	人	3,403	3,301	3,217	3,109	3,024	2,895	2,805	2,701	2,607	2,487
林業集落排水人口	人	55	50	47	47	44	42	42	41	38	37
その他事業人口	人	111	110	103	97	94	94	91	87	82	80
合併処理浄化槽人口	人	839	804	805	795	745	716	693	664	633	603
未処理人口	人	2,133	2,031	1,899	1,786	1,643	1,575	1,488	1,476	1,395	1,325
単独処理浄化槽人口	人	1,022	986	945	823	804	772	717	666	583	559
未水洗 化人口	し尿くみ取り人口	1,111	1,045	954	963	839	803	771	810	812	766
	自家処理人口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

資料：①公共下水道人口 下水道実施事業別人口普及状況

②その他 一般廃棄物処理事業実態調査結果

(ただし、ごみ処理人数と整合を取るために補正をしている。)

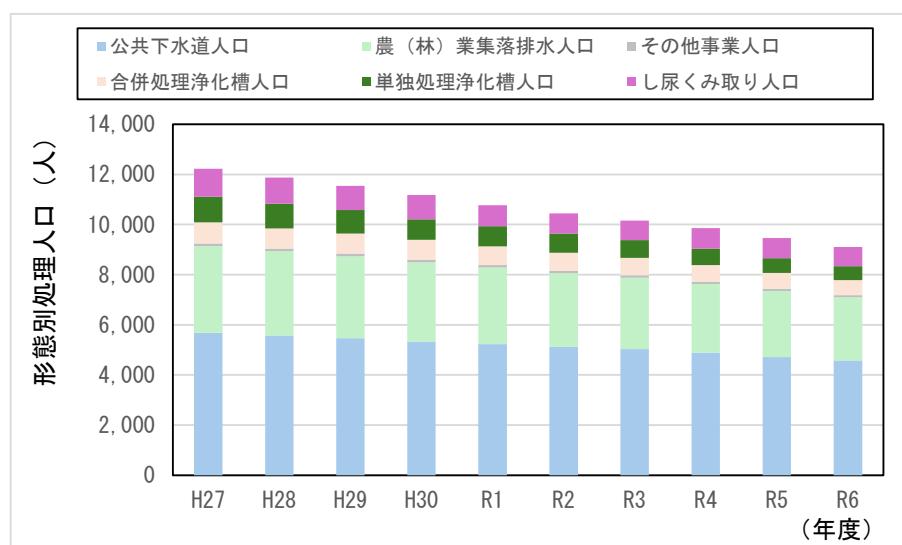


図5.4 形態別処理人口

4. し尿・浄化槽汚泥処理量

阿賀町汚泥再生センターの年間処理量の推移を表5.6、図5.5に示す。

し尿処理量および浄化槽汚泥処理量ともに減少している。浄化槽汚泥が10年間で約17%の減少に対し、し尿処理量は10年間で35%減少していることから、水洗化が進んでいると思われる。

阿賀町汚泥再生センターでは令和3年度までは、汚泥からメタン発酵や堆肥化を行っていたが、令和3年度に基幹改良を行い下水道投入のための前処理のみを行っている。

表5.6 阿賀町汚泥再生センター

年度	単位	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
し尿処理量	kL/年	1,317	1,223	1,165	1,093	1,068	968	970	926	926	859
浄化槽汚泥処理量	kL/年	3,651	3,495	3,497	3,392	3,256	3,164	3,157	3,163	3,143	3,025
有機性廃棄物	kL/年	8	9	7	6	4	2	0	0	0	0
その他	kL/年	392	388	414	402	338	292	19	0	0	0
計	kL/年	5,368	5,115	5,083	4,893	4,666	4,426	4,146	4,089	4,069	3,884

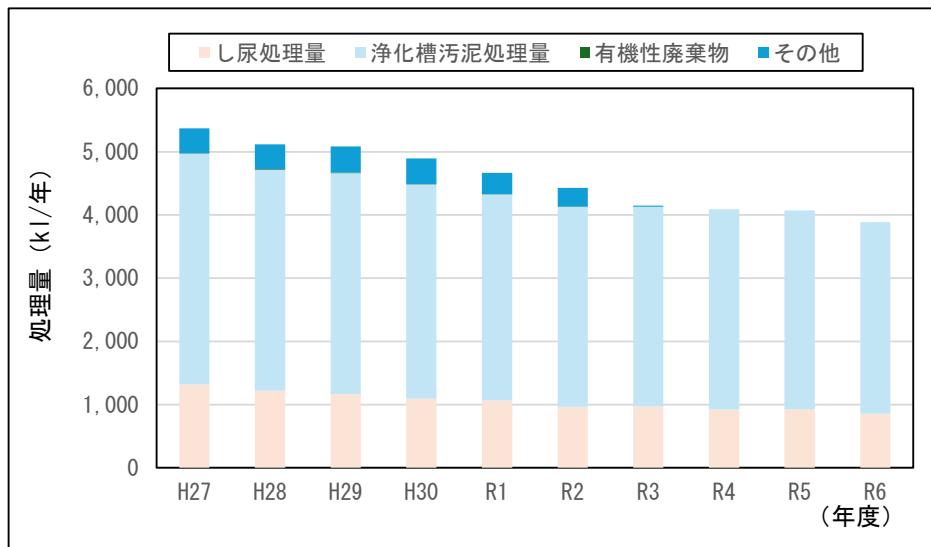


図5.5 阿賀町汚泥再生センター

第6章 生活排水処理基本計画

1. 目標の設定

(1) 国の目標

令和7年8月に国土交通省が発表した広報によると、令和6年度末における全国の汚水処理人口普及率は93.7%であると発表した。

また、併せて人口が5万人未満の市町村の汚水処理人口普及率は84.5%と発表した。

ただし、明確な目標は設定されていない。

(2) 県の目標

新潟県は令和6年9月にホームページを更新し、新潟県汚水処理施設整備構想の見直し方針を公表した。見直し後の整備目標を表6.1に示す。

表6.1 整備目標

指標	令和10年末	令和22年末
汚水処理人口普及率	90.7%	93.1%
汚泥有効利用率	88.7%	89.5%

(3) 本計画の目標値

国については明確に目標を定めていないので、本計画の目標は、「新潟県汚水処理施設整備構想」の整備目標を順守することとする。生活排水の目標値を表6.2に示す。

ただし、阿賀町汚泥再生センターは下水道投入であり、前処理のみを行っているため、汚泥有効利用率については目標を定めない。

表6.2 目標値（生活排水）

指標	目標値	達成年度
汚水処理人口普及率	93.1%	令和22年末
汚泥有効利用率	-	令和22年末

2. 将来生活排水処理量等の推計

(1) 人口の推計

人口の将来予測は、ごみ処理基本計画と同様とした。

(2) 形態別処理人口

過去5年間の形態別処理人口の変動をもとに、表6.3に示す6種類の推計式を作成し、相関係数(R)やグラフの形状を確認し1つを選定した。ただし、数値の変動が大きくない場合においては、最近5年間の実績の平均値を用いた。

推計期間は計画期間（令和7年度から令和22年度）とした。

表6.3 推計方法

項目	説明
過去実績	形態別処理人口
実績期間	過去5年間（令和2年度～令和6年度）
推計式	①直線式、②べき乗式、③一次指数式、④修正指数式、 ⑤ロジスティック式、⑥二次傾向式（6種類）
推計期間	将来16年間（令和7年度～令和22年度）

(4) 推計結果

将来生活排水人口、汚泥発生量の推計結果を表6.4、6.5に示す。

予測の結果、現状で推移した場合においても、①汚水処理人口普及率の目標値を満足できる結果となった。

表6.4 目標値と推計の比較

項目	目標年度	目標値	推計
①汚水処理人口普及率	令和22年度 (2040年度)	93.1%	94.2%

表6.5 処理形態別人口等の推計結果

		実績	実績	実績	推計																						
年度	単位	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22
人口	人	12,222	11,874	11,538	11,174	10,775	10,444	10,153	9,855	9,467	9,107	8,884	8,601	8,327	8,062	7,805	7,557	7,316	7,083	6,857	6,639	6,427	6,223	6,025	5,833	5,647	5,467
衛生処理人口	人	10,089	9,843	9,639	9,388	9,132	8,869	8,665	8,379	8,072	7,782	7,660	7,455	7,253	7,052	6,853	6,658	6,466	6,282	6,105	5,936	5,779	5,631	5,494	5,368	5,253	5,148
公共下水道	人	5,681	5,578	5,467	5,340	5,225	5,122	5,034	4,886	4,712	4,575	4,590	4,541	4,499	4,463	4,431	4,402	4,375	4,351	4,329	4,308	4,289	4,271	4,255	4,239	4,224	4,210
農業集落排水	人	3,403	3,301	3,217	3,109	3,024	2,895	2,805	2,701	2,607	2,487	2,363	2,232	2,095	1,953	1,808	1,662	1,517	1,376	1,239	1,109	987	873	768	672	586	509
林業集落排水事業	人	55	50	47	47	44	42	42	41	38	37	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	
その他事業	人	111	110	103	97	94	94	91	87	82	80	87	87	87	87	87	87	87	87	87	87	87	87	87	87	87	
合併処理浄化槽	人	839	804	805	795	745	716	693	664	633	603	580	555	532	509	487	467	447	428	410	392	376	360	344	330	316	302
未処理人口	人	2,133	2,031	1,899	1,786	1,643	1,575	1,488	1,476	1,395	1,325	1,224	1,146	1,074	1,010	952	899	850	801	752	703	648	592	531	465	394	319
単独処理	人	1,022	986	945	823	804	772	717	666	583	559	507	465	427	392	360	331	304	279	256	235	216	198	182	167	154	141
し尿処理量	人	1,111	1,045	954	963	839	803	771	810	812	766	717	681	647	618	592	568	546	522	496	468	432	394	349	298	240	178
自家処理	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
汚水処理人口割合	-	82.5%	82.9%	83.5%	84.0%	84.8%	84.9%	85.3%	85.0%	85.3%	85.5%	86.2%	86.7%	87.1%	87.5%	87.8%	88.1%	88.4%	88.7%	89.0%	89.4%	89.9%	90.5%	91.2%	92.0%	93.0%	94.2%
し尿処理量	kL/年	1,317	1,223	1,165	1,093	1,068	968	970	926	926	859																
浄化槽汚泥処理量	kL/年	3,651	3,495	3,497	3,392	3,256	3,164	3,157	3,163	3,143	3,025																
処理量 計	kL/年	4,968	4,718	4,662	4,485	4,324	4,132	4,127	4,089	4,069	3,884																
将来し尿処理量	1.2※1 kL/人年											860	817	776	742	710	682	655	626	595	562	518	473	419	358	288	214
将来浄化槽汚泥処理量	0.8※2 kL/人年											2,862	2,703	2,545	2,385	2,226	2,070	1,916	1,768	1,626	1,490	1,365	1,246	1,137	1,037	946	863
処理量 計	kL/年											3,722	3,520	3,321	3,126	2,936	2,751	2,571	2,394	2,221	2,052	1,883	1,719	1,556	1,394	1,234	1,077

※1 : し尿処理量/し尿人口=1.2 (最近5年間の平均)

※2 : 浄化槽汚泥量/ (農業集落人口+林業集落人口+その他事業人口+合併処理浄化槽人口+単独処理浄化槽人口) =0.8 (最近5年間の平均)

3. 生活排水処理基本計画の取り組み

(1) 生活排水処理施設の整備

下水道事業について、いずれの事業も整備は完了しているものの、一部の事業においては接続率が不十分となっている。接続率向上のため、整備範囲における未接続の住民に周知を進める。

また、下水道・農(林)業集落排水範囲以外の単独処理浄化槽やくみ取り便槽を使用している住民に、合併処理浄化槽への切り替えを促していく。

さらに、合併処理浄化槽は1年に1度、定期点検をする必要があることを周知し、公共用水域の水質保全に心掛ける。

(2) 生活排水処理対策

先に示した、接続率の向上や、浄化槽の定期点検の必要性について、「広報あが」等による情報提供と町や組合ウェブサイト、SNSなどを活用して周知をする。

卷末資料

・人口推計

(1) 人口の推計の推計方法

人口の将来予測は、以下に示す条件に基づいてトレンド法を用いて令和 22 年度まで推計した。

(「第 3 次阿賀町総合計画（2025-2034）」においても、将来人口の推計をしているが、推計間隔が 5 年毎となっている。本計画では 1 年ごとの人口が必要なため、改めて推計した。)

また、過去 10 年間の人口の変動をもとに表 1 に示す 6 種類の推計式にて推計し、相関係数（R）やグラフの形状を確認し、6 種類のうち 1 つを選定した。

推計期間は計画期間（令和 7 年度から令和 22 年度）とした。

表 1 推計方法

項目	説明
過去実績	住民基本台帳（外国人を含む）人口 ※各年 10 月 1 日時点
実績期間	過去 10 年間（平成 27 年度～令和 6 年度）
推計式	①直線式、②べき乗数式、③一次指數式、④修正指數式、 ⑤ロジスティック式、⑥二次傾向式（6 種類）
推計期間	将来 16 年間（令和 7 年度～令和 22 年度）

人口の実績と将来推計結果を表 2 に示す。

令和 6 年度時点で約 9,100 人であった人口は、目標年度である令和 22 年度では、約 5,500 人まで減少すると推定される。

表 2 人口の推移（実績・推計）

単位：人

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
人口（実績）	12,222	11,874	11,538	11,174	10,775	10,444	10,153	9,855	9,467	9,107
年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
人口（推計）	8,884	8,601	8,327	8,062	7,805	7,557	7,316	7,083	6,857	6,639
年度	R17	R18	R19	R20	R21	R22				
人口（推計）	6,427	6,223	6,025	5,833	5,647	5,467				

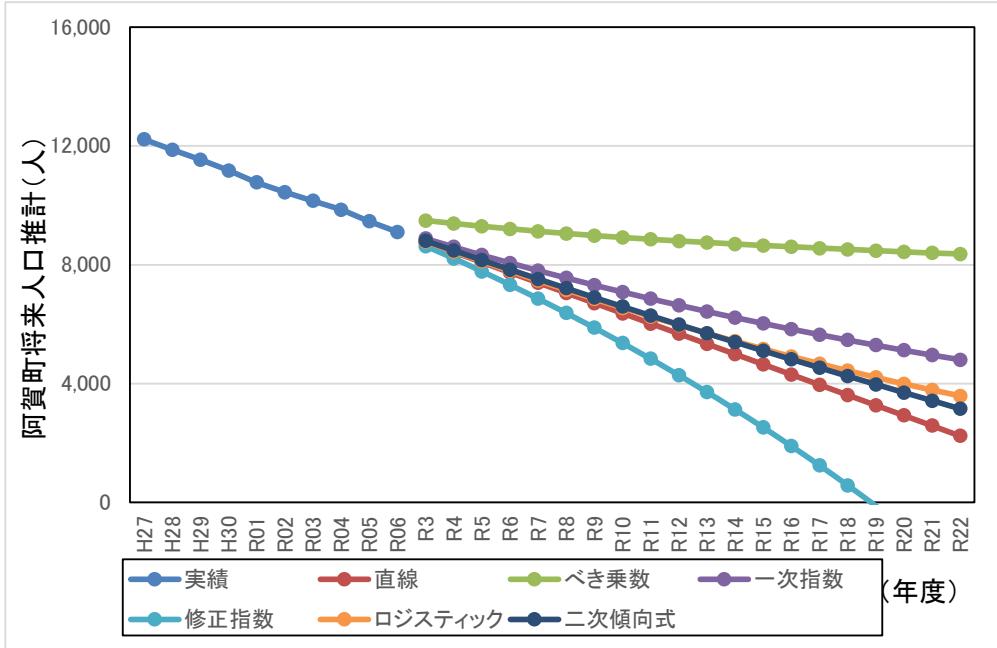
阿賀町 人口

年度	実績
H27	12,222
H28	11,874
H29	11,538
H30	11,174
R01	10,775
R02	10,444
R03	10,153
R04	9,855
R05	9,467
R06	9,107

	計算式
直線	$y=a+b*x$
べき乗数	$y=ax^b$
一次指數	$y=a*b^x$
修正指數	$y=K-a*b^x$
ロジスティック	$y=K/(1+a*\exp(-b*x))$
二次傾向式	$y=a+bx+cx^2$

年度	直線	べき乗数	一次指數	修正指數	ロジスティック	二次傾向式	
R7	8,771	9,491	8,884	8,630	8,778	8,805	
R8	8,428	9,387	8,601	8,209	8,444	8,480	
R9	8,084	9,293	8,327	7,774	8,114	8,158	
R10	7,740	9,207	8,062	7,325	7,789	7,839	
R11	7,397	9,127	7,805	6,860	7,469	7,523	
R12	7,053	9,053	7,557	6,379	7,156	7,210	
R13	6,710	8,984	7,316	5,882	6,849	6,900	
R14	6,366	8,919	7,083	5,368	6,548	6,594	
R15	6,022	8,859	6,857	4,836	6,256	6,290	
R16	5,679	8,802	6,639	4,287	5,971	5,989	
R17	5,335	8,748	6,427	3,719	5,694	5,692	
R18	4,992	8,696	6,223	3,131	5,425	5,398	
R19	4,648	8,648	6,025	2,524	5,164	5,106	
R20	4,304	8,601	5,833	1,896	4,912	4,818	
R21	3,961	8,557	5,647	1,246	4,669	4,533	
R22	3,617	8,515	5,467	575	4,435	4,251	

a	12550.7	12842.8	12683.3	8574.833	0.676	12584.5	
b	-343.6	-0.126	1.0	1.034	-0.066	-360.511	
c, K, H				21,012.7	21,012.7	1.5	
R	0.999	0.988	0.997	0.999	0.999	0.998	
R2	0.997	0.976	0.995	0.999	0.997	0.997	



・将来ごみ排出量等の推計（1人1日あたりのごみ排出量）

現状で推移した場合のごみ排出量の予測では、過去5年間のごみ種類別・搬入方法別の1人1日あたりのごみ排出量をもとに、表3に示す6種類の推計式を作成し、相関係数(R)やグラフの形状を確認し1つを選定した。ただし、数値の変動が大きくない場合は、5年間の平均値を用いた。

推計期間は計画期間（令和7年度から令和22年度）とした。

予測条件は、現状のまま推移した場合と、新たにごみ減量の施策をした場合とし、目標達成可能かを確認した。

表3 推計方法

項目	説明
過去実績	ごみ種類別・搬入方法別のごみ原単位
実績期間	過去5年間（令和2年度～令和6年度）
推計式	①直線式、②べき乗式、③一次指数式、④修正指数式、 ⑤ロジスティック式、⑥二次傾向式（6種類）
推計期間	将来16年間（令和7年度～令和22年度）
推計条件	①現状のまま現状で推移した場合（単純予測） ②ごみ減量等の施策効果を見込んだ場合

表4 トレンド法による将来ごみ原単位

単位：g/人日

	生活系					事業系				
	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	その他	粗大ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	その他	粗大ごみ
R7	582.4	66.6	65.9	2.3	37.4	269.3	11.3	0.0	6.4	29.3
R8	579.0	65.9	65.6	2.3	38.7	274.7	11.5	0.0	6.7	30.7
R9	576.1	65.4	65.3	2.3	39.5	279.0	11.6	0.0	6.9	31.7
R10	573.6	64.9	65.1	2.3	40.1	282.5	11.8	0.0	7.1	32.5
R11	571.3	64.5	64.9	2.3	40.4	285.3	11.9	0.0	7.1	33.1
R12	569.3	64.1	64.7	2.3	40.6	287.5	11.9	0.0	7.2	33.5
R13	567.4	63.8	64.6	2.3	40.8	289.4	12.0	0.0	7.2	33.8
R14	565.8	63.5	64.4	2.3	40.9	290.8	12.0	0.0	7.2	34.1
R15	564.2	63.2	64.3	2.3	40.9	292.0	12.1	0.0	7.2	34.2
R16	562.7	62.9	64.1	2.3	41.0	293.0	12.1	0.0	7.3	34.4
R17	561.4	62.7	64.0	2.3	41.0	293.7	12.1	0.0	7.3	34.5
R18	560.1	62.5	63.9	2.3	41.0	294.3	12.2	0.0	7.3	34.5
R19	558.9	62.2	63.8	2.3	41.0	294.8	12.2	0.0	7.3	34.6
R20	557.8	62.0	63.7	2.3	41.0	295.2	12.2	0.0	7.3	34.6
R21	556.7	61.9	63.6	2.3	41.0	295.6	12.2	0.0	7.3	34.7
R22	555.7	61.7	63.5	2.3	41.0	295.8	12.2	0.0	7.3	34.7
採用式	②	②	②	5年間 平均値	⑤	④	⑤	5年間 平均値	⑤	④

①直線式、②べき乗式、③一次指数式、④修正指数式、⑤ロジスティック式、⑥二次傾向式

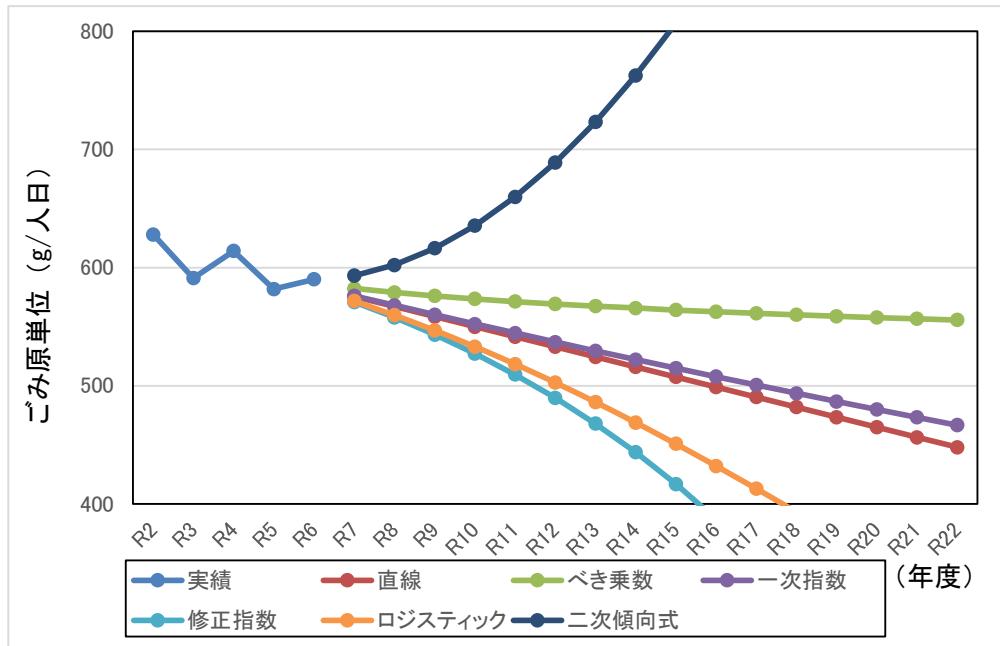
阿賀町 生活系ごみ 委託+直接 可燃ごみ

年度	実績
H23	
H24	
H25	
H26	
H27	
R2	628.0
R3	591.2
R4	614.1
R5	581.8
R6	590.2

	計算式
直線	$y=a+b*x$
べき乗数	$y=ax^b$
一次指數	$y=a*b^x$
修正指數	$y=K-a*b^x$
ロジスティック	$y=K/(1+a*exp(-b*x))$
二次傾向式	$y=a+bx+cx^2$

年度	直線	べき乗数	一次指數	修正指數	ロジスティック	二次傾向式	
R7	575.6	582.4	576.1	570.9	571.8	593.2	
R8	567.1	579.0	568.1	557.9	559.8	602.3	
R9	558.6	576.1	560.1	543.4	546.9	616.4	
R10	550.1	573.6	552.3	527.4	533.1	635.5	
R11	541.6	571.3	544.7	509.6	518.4	659.7	
R12	533.1	569.3	537.1	489.9	502.7	688.9	
R13	524.6	567.4	529.6	468.1	486.3	723.2	
R14	516.1	565.8	522.2	443.8	469.0	762.5	
R15	507.6	564.2	515.0	417.0	451.0	806.8	
R16	499.1	562.7	507.8	387.2	432.3	856.1	
R17	490.6	561.4	500.7	354.1	413.1	910.4	
R18	482.1	560.1	493.7	317.5	393.4	969.8	
R19	473.6	558.9	486.9	276.9	373.4	1,034.2	
R20	465.1	557.8	480.1	231.9	353.2	1,103.7	
R21	456.6	556.7	473.4	182.0	333.0	1,178.2	
R22	448.1	555.7	466.8	126.6	312.8	1,257.7	

a	626.6	622.7	626.6	64.517	0.103	644.2	
b	-8.5	-0.037	1.0	1.109	-0.117	-23.586	
c, K, H				690.8	690.8	2.5	
R	0.698	0.751	0.700	0.682	0.685	0.740	
R2	0.488	0.564	0.490	0.466	0.469	0.547	



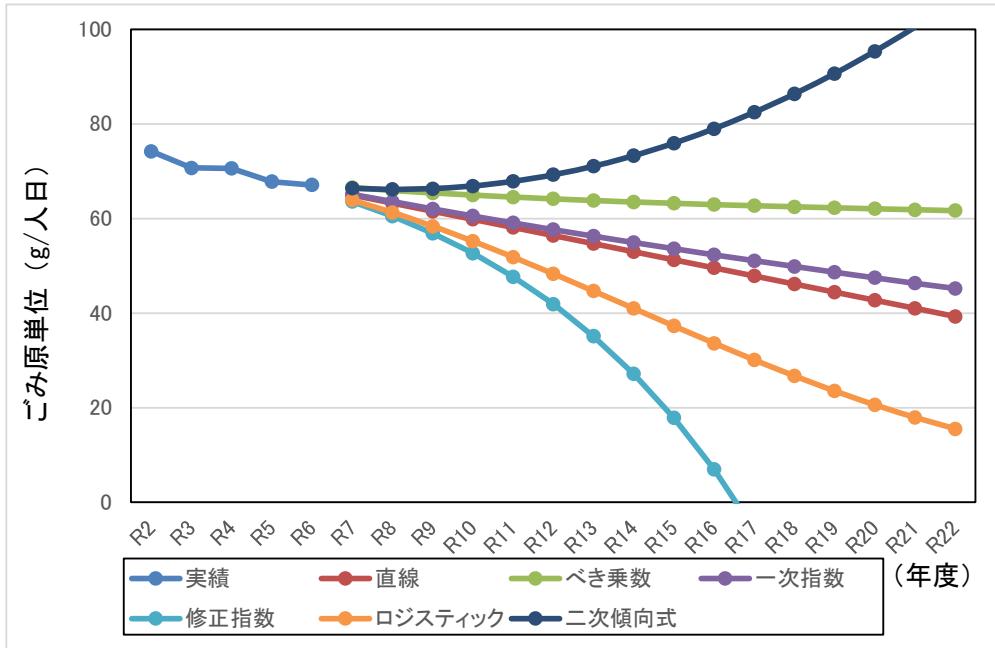
阿賀町 生活系ごみ 委託+直接 不燃ごみ

年度	実績
H23	
H24	
H25	
H26	
H27	
R2	74.2
R3	70.7
R4	70.6
R5	67.8
R6	67.1

	計算式
直線	$y=a+b*x$
べき乗数	$y=ax^b$
一次指數	$y=a*b^x$
修正指數	$y=K-a*b^x$
ロジスティック	$y=K/(1+a*exp(-b*x))$
二次傾向式	$y=a+bx+cx^2$

年度	直線	べき乗数	一次指數	修正指數	ロジスティック	二次傾向式	
R7	65.0	66.6	65.1	63.6	63.9	66.4	
R8	63.2	65.9	63.5	60.5	61.3	66.1	
R9	61.5	65.4	62.0	56.9	58.3	66.3	
R10	59.8	64.9	60.5	52.7	55.2	66.9	
R11	58.1	64.5	59.1	47.7	51.9	67.8	
R12	56.4	64.1	57.7	41.9	48.3	69.2	
R13	54.7	63.8	56.3	35.1	44.7	71.1	
R14	53.0	63.5	54.9	27.2	41.0	73.3	
R15	51.3	63.2	53.6	17.9	37.3	75.9	
R16	49.6	62.9	52.3	6.9	33.6	79.0	
R17	47.9	62.7	51.1	-5.8	30.1	82.4	
R18	46.1	62.5	49.8	-20.8	26.7	86.3	
R19	44.4	62.2	48.6	-38.3	23.6	90.6	
R20	42.7	62.0	47.5	-58.8	20.6	95.3	
R21	41.0	61.9	46.3	-82.8	17.9	100.5	
R22	39.3	61.7	45.2	-110.9	15.5	106.0	

a	75.2	74.2	75.3	6.999	0.093	76.7	
b	-1.7	-0.061	1.0	1.171	-0.182	-2.953	
c, K, H				81.6	81.6	0.2	
R	0.960	0.971	0.962	0.944	0.947	0.970	
R2	0.922	0.943	0.926	0.891	0.897	0.941	



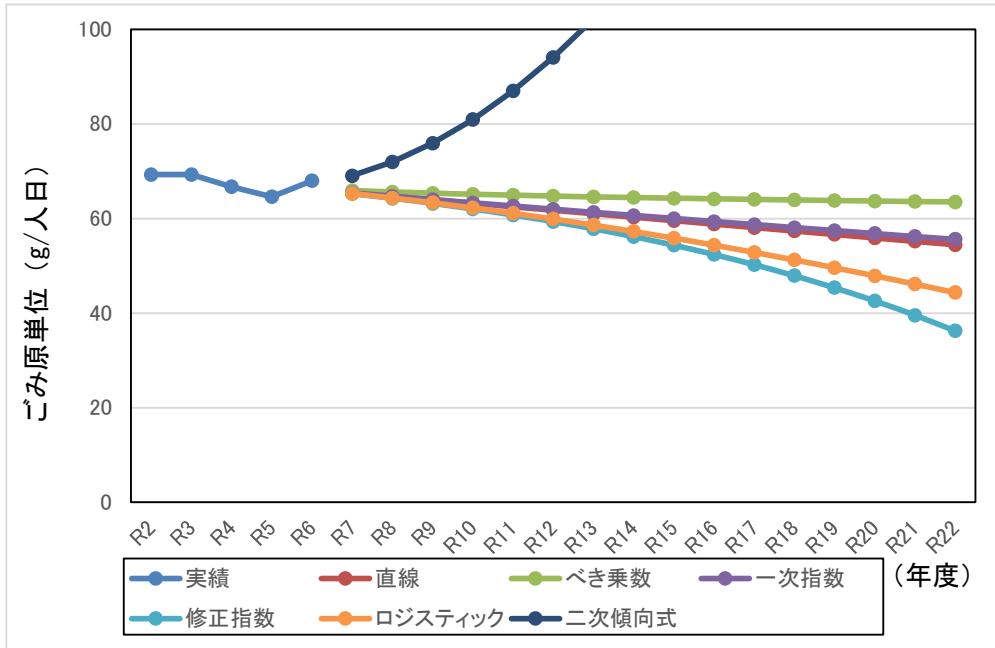
阿賀町 生活系ごみ 委託+直接 資源ごみ

年度	実績
H23	
H24	
H25	
H26	
H27	
R2	69.3
R3	69.3
R4	66.7
R5	64.6
R6	68.0

	計算式
直線	$y=a+b*x$
べき乗数	$y=ax^b$
一次指數	$y=a*b^x$
修正指數	$y=K-a*b^x$
ロジスティック	$y=K/(1+a*exp(-b*x))$
二次傾向式	$y=a+bx+cx^2$

年度	直線	べき乗数	一次指數	修正指數	ロジスティック	二次傾向式	
R7	65.4	65.9	65.4	65.3	65.3	69.0	
R8	64.7	65.6	64.7	64.3	64.3	72.0	
R9	63.9	65.3	64.0	63.2	63.3	75.9	
R10	63.2	65.1	63.3	62.0	62.3	80.9	
R11	62.5	64.9	62.6	60.7	61.1	87.0	
R12	61.7	64.7	62.0	59.3	59.9	94.1	
R13	61.0	64.6	61.3	57.8	58.6	102.2	
R14	60.3	64.4	60.6	56.2	57.3	111.4	
R15	59.6	64.3	60.0	54.4	55.9	121.6	
R16	58.8	64.1	59.3	52.4	54.4	132.9	
R17	58.1	64.0	58.7	50.2	52.8	145.2	
R18	57.4	63.9	58.1	47.9	51.2	158.5	
R19	56.6	63.8	57.4	45.4	49.6	172.9	
R20	55.9	63.7	56.8	42.6	47.9	188.3	
R21	55.2	63.6	56.2	39.6	46.1	204.8	
R22	54.4	63.5	55.6	36.3	44.3	222.3	

a	69.8	69.5	69.8	6.547	0.094	73.4	
b	-0.7	-0.030	1.0	1.090	-0.097	-3.859	
c, K, H				76.2	76.2	0.5	
R	0.582	0.641	0.585	0.555	0.559	0.762	
R2	0.338	0.411	0.342	0.308	0.312	0.580	



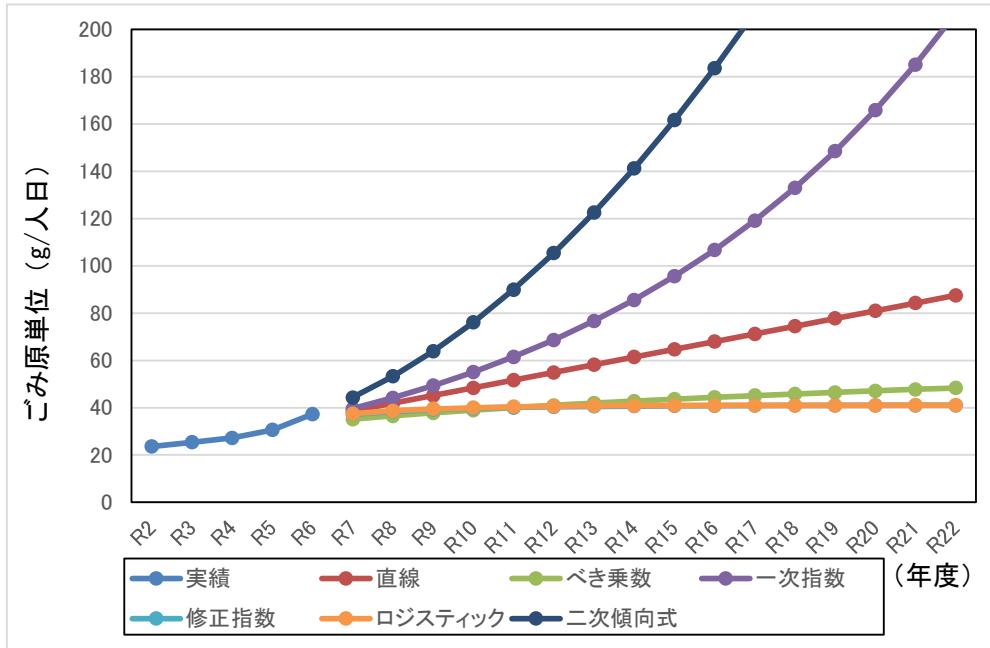
阿賀町 生活系ごみ 委託+直接 粗大ごみ

年度	実績
H23	
H24	
H25	
H26	
H27	
R2	23.6
R3	25.4
R4	27.2
R5	30.6
R6	37.3

	計算式
直線	$y=a+b*x$
べき乗数	$y=ax^b$
一次指數	$y=a*b^x$
修正指數	$y=K-a*b^x$
ロジスティック	$y=K/(1+a*exp(-b*x))$
二次傾向式	$y=a+bx+cx^2$

年度	直線	べき乗数	一次指數	修正指數	ロジスティック	二次傾向式
R7	38.6	35.2	39.6	37.2	37.4	44.3
R8	41.9	36.6	44.2	38.4	38.7	53.3
R9	45.1	37.8	49.3	39.1	39.5	63.8
R10	48.4	39.0	55.1	39.7	40.1	76.1
R11	51.6	40.0	61.5	40.1	40.4	89.9
R12	54.9	41.0	68.7	40.4	40.6	105.4
R13	58.2	41.9	76.7	40.6	40.8	122.5
R14	61.4	42.8	85.6	40.7	40.9	141.2
R15	64.7	43.6	95.6	40.8	40.9	161.6
R16	67.9	44.4	106.7	40.9	41.0	183.6
R17	71.2	45.1	119.1	40.9	41.0	207.2
R18	74.5	45.8	133.0	40.9	41.0	232.4
R19	77.7	46.5	148.5	41.0	41.0	259.3
R20	81.0	47.1	165.8	41.0	41.0	287.8
R21	84.2	47.7	185.1	41.0	41.0	317.9
R22	87.5	48.3	206.6	41.0	41.0	349.7

a	19.0	22.3	20.4	30.738	1.504	24.7	
b	3.3	0.254	1.1	0.706	0.459	-1.626	
c, K, H				41.0	41.0	0.8	
R	0.955	0.897	0.971	0.882	0.916	0.995	
R2	0.911	0.804	0.943	0.778	0.839	0.991	



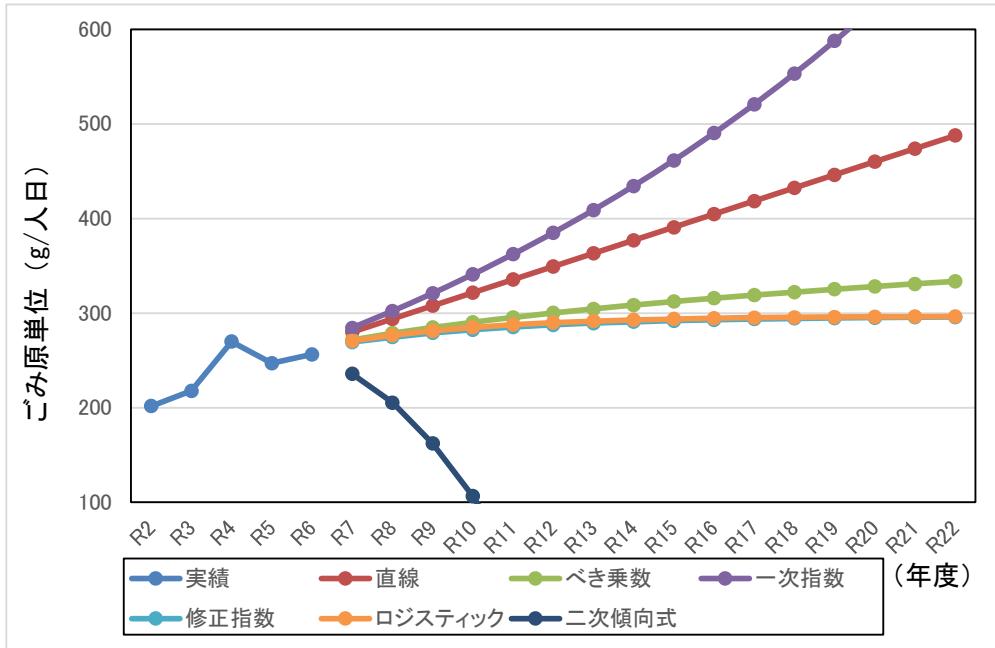
阿賀町 事業系ごみ 許可+直接 可燃ごみ

年度	実績
H23	
H24	
H25	
H26	
H27	
R2	201.7
R3	217.8
R4	269.9
R5	247.0
R6	256.3

	計算式
直線	$y=a+b*x$
べき乗数	$y=ax^b$
一次指數	$y=a*b^x$
修正指數	$y=K-a*b^x$
ロジスティック	$y=K/(1+a*exp(-b*x))$
二次傾向式	$y=a+bx+cx^2$

年度	直線	べき乗数	一次指數	修正指數	ロジスティック	二次傾向式	
R7	280.1	271.8	284.4	269.3	270.6	235.8	
R8	293.9	278.7	302.1	274.7	276.6	205.3	
R9	307.7	284.9	321.0	279.0	281.2	162.2	
R10	321.6	290.4	341.0	282.5	284.9	106.4	
R11	335.4	295.5	362.2	285.3	287.7	38.0	
R12	349.3	300.1	384.8	287.5	289.9	-43.1	
R13	363.1	304.4	408.8	289.4	291.5	-136.9	
R14	376.9	308.4	434.3	290.8	292.8	-243.3	
R15	390.8	312.1	461.4	292.0	293.8	-362.3	
R16	404.6	315.7	490.2	293.0	294.5	-494.0	
R17	418.5	319.0	520.7	293.7	295.1	-638.4	
R18	432.3	322.2	553.2	294.3	295.5	-795.4	
R19	446.1	325.2	587.7	294.8	295.9	-965.1	
R20	460.0	328.1	624.4	295.2	296.1	-1,147.5	
R21	473.8	330.9	663.3	295.6	296.3	-1,342.5	
R22	487.7	333.5	704.7	295.8	296.4	-1,550.1	

a	197.0	202.8	197.8	101.159	0.511	152.7	
b	13.8	0.163	1.1	0.805	0.277	51.811	
c, K, H				296.9	296.9	-6.3	
R	0.779	0.838	0.763	0.825	0.818	0.886	
R2	0.607	0.703	0.583	0.681	0.668	0.784	



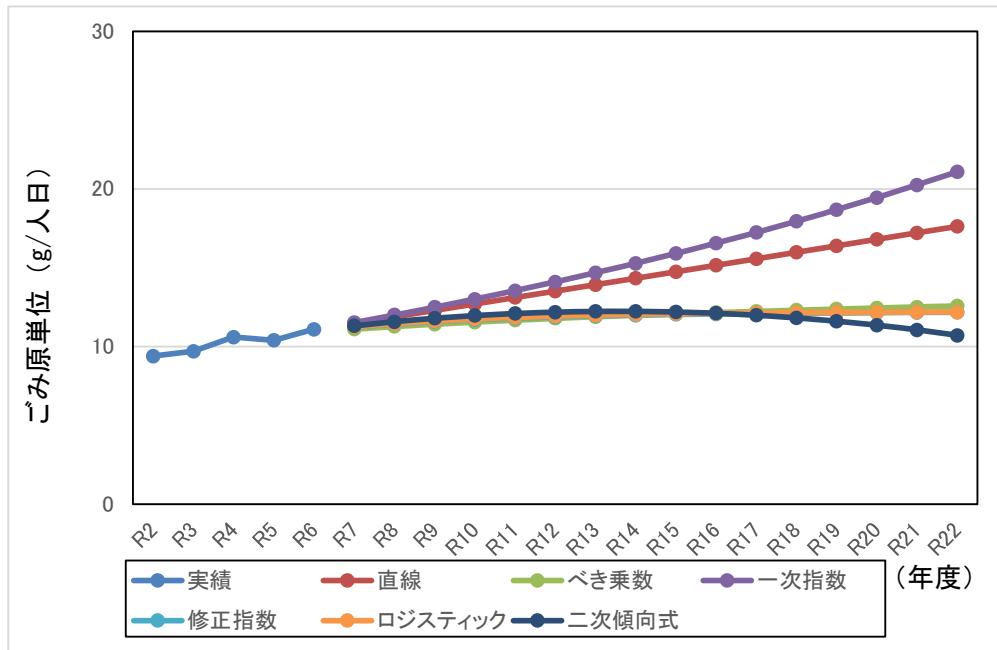
阿賀町 事業系ごみ 許可+直接 不燃ごみ

年度	実績
H23	
H24	
H25	
H26	
H27	
R2	9.4
R3	9.7
R4	10.6
R5	10.4
R6	11.1

	計算式
直線	$y=a+b*x$
べき乗数	$y=ax^b$
一次指數	$y=a*b^x$
修正指數	$y=K-a*b^x$
ロジスティック	$y=K/(1+a*exp(-b*x))$
二次傾向式	$y=a+bx+cx^2$

年度	直線	べき乗数	一次指數	修正指數	ロジスティック	二次傾向式	
R7	11.5	11.1	11.5	11.2	11.3	11.3	
R8	11.9	11.3	12.0	11.4	11.5	11.6	
R9	12.3	11.4	12.5	11.6	11.6	11.8	
R10	12.7	11.6	13.0	11.7	11.8	12.0	
R11	13.1	11.7	13.5	11.8	11.9	12.1	
R12	13.5	11.8	14.1	11.9	11.9	12.2	
R13	13.9	11.9	14.7	11.9	12.0	12.2	
R14	14.3	12.0	15.3	12.0	12.0	12.2	
R15	14.8	12.1	15.9	12.0	12.1	12.2	
R16	15.2	12.2	16.6	12.1	12.1	12.1	
R17	15.6	12.2	17.2	12.1	12.1	12.0	
R18	16.0	12.3	17.9	12.1	12.2	11.8	
R19	16.4	12.4	18.7	12.1	12.2	11.6	
R20	16.8	12.5	19.5	12.2	12.2	11.4	
R21	17.2	12.5	20.2	12.2	12.2	11.1	
R22	17.6	12.6	21.1	12.2	12.2	10.7	

a	9.0	9.3	9.1	3.600	0.397	8.9	
b	0.4	0.099	1.0	0.804	0.259	0.539	
c, K, H				12.2	12.2	0.0	
R	0.943	0.934	0.941	0.943	0.944	0.944	
R2	0.888	0.873	0.885	0.889	0.891	0.892	



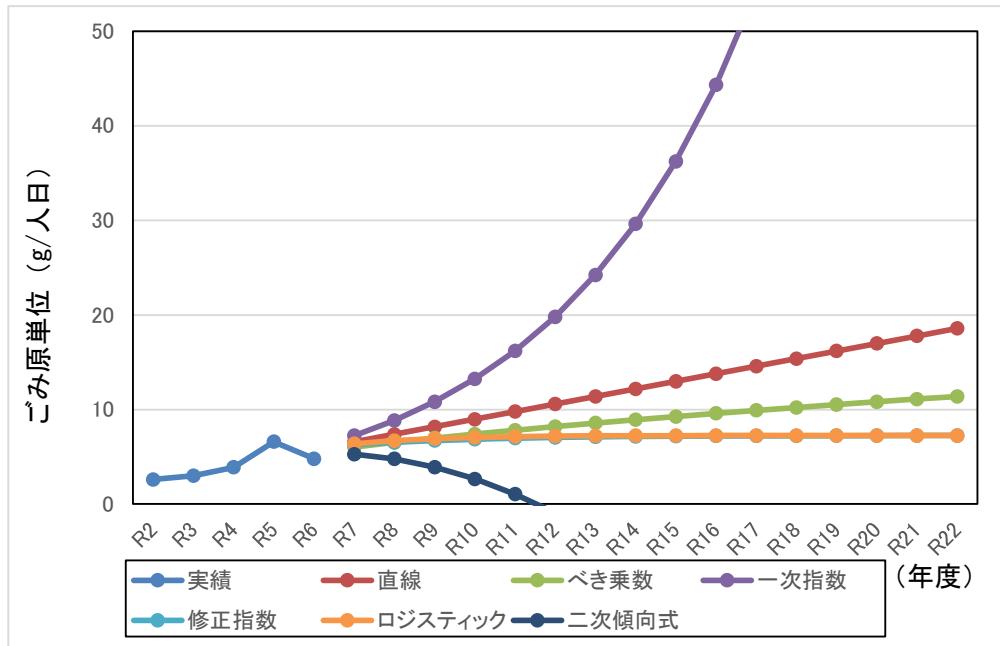
阿賀町 事業系ごみ 許可+直接 その他ごみ

年度	実績
H23	
H24	
H25	
H26	
H27	
R2	2.6
R3	3.0
R4	3.9
R5	6.6
R6	4.8

	計算式
直線	$y=a+b*x$
べき乗数	$y=ax^b$
一次指數	$y=a*b^x$
修正指數	$y=K-a*b^x$
ロジスティック	$y=K/(1+a*exp(-b*x))$
二次傾向式	$y=a+bx+cx^2$

年度	直線	べき乗数	一次指數	修正指數	ロジスティック	二次傾向式	
R7	6.6	6.0	7.2	6.3	6.4	5.3	
R8	7.4	6.5	8.8	6.5	6.7	4.8	
R9	8.2	7.0	10.8	6.7	6.9	3.9	
R10	9.0	7.4	13.2	6.9	7.1	2.7	
R11	9.8	7.8	16.2	7.0	7.1	1.1	
R12	10.6	8.2	19.8	7.1	7.2	-0.9	
R13	11.4	8.6	24.2	7.1	7.2	-3.3	
R14	12.2	8.9	29.6	7.1	7.2	-6.0	
R15	13.0	9.3	36.2	7.2	7.2	-9.1	
R16	13.8	9.6	44.3	7.2	7.3	-12.6	
R17	14.6	9.9	54.2	7.2	7.3	-16.4	
R18	15.4	10.2	66.3	7.2	7.3	-20.6	
R19	16.2	10.5	81.1	7.2	7.3	-25.2	
R20	17.0	10.8	99.2	7.2	7.3	-30.2	
R21	17.8	11.1	121.4	7.2	7.3	-35.5	
R22	18.6	11.4	148.5	7.3	7.3	-41.2	

a	1.8	2.4	2.2	6.552	3.034	0.5	
b	0.8	0.507	1.2	0.730	0.516	1.914	
c, K, H				7.3	7.3	-0.2	
R	0.792	0.802	0.757	0.809	0.813	0.821	
R2	0.627	0.642	0.573	0.654	0.662	0.674	



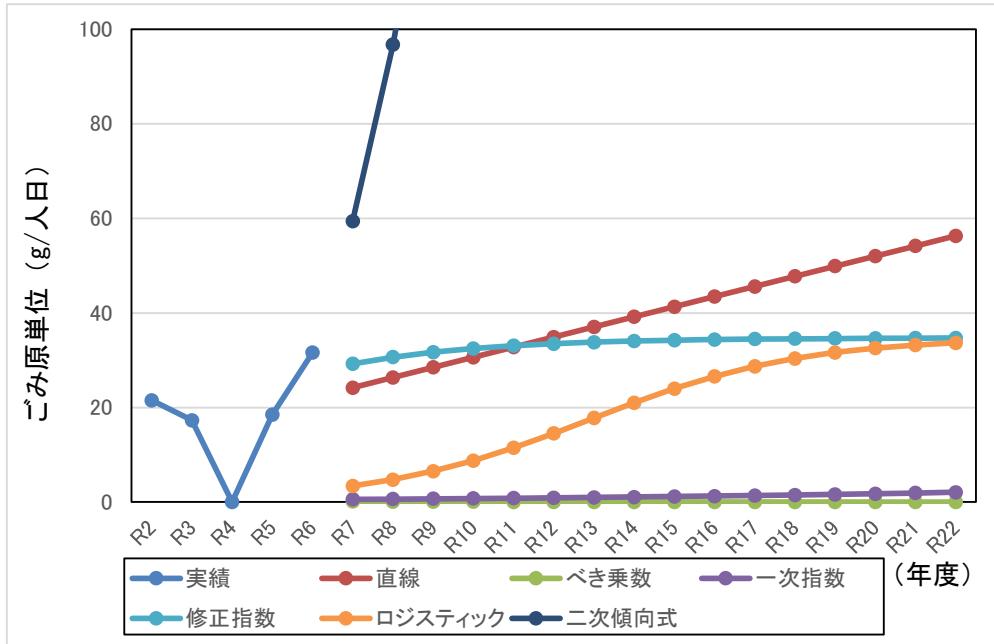
阿賀町 事業系ごみ 許可＋直接 粗大ごみ

年度	実績
H23	
H24	
H25	
H26	
H27	
R2	21.5
R3	17.3
R4	0.0
R5	18.5
R6	31.6

	計算式
直線	$y=a+b*x$
べき乗数	$y=ax^b$
一次指數	$y=a*b^x$
修正指數	$y=K-a*b^x$
ロジスティック	$y=K/(1+a*exp(-b*x))$
二次傾向式	$y=a+bx+cx^2$

年度	直線	べき乗数	一次指數	修正指數	ロジスティック	二次傾向式
R7	24.2	0.1	0.6	29.3	3.4	59.4
R8	26.3	0.1	0.7	30.7	4.8	96.7
R9	28.5	0.1	0.7	31.7	6.5	144.1
R10	30.6	0.1	0.8	32.5	8.8	201.6
R11	32.8	0.1	0.8	33.1	11.5	269.1
R12	34.9	0.1	0.9	33.5	14.5	346.7
R13	37.0	0.0	1.0	33.8	17.8	434.3
R14	39.2	0.0	1.1	34.1	21.0	532.0
R15	41.3	0.0	1.2	34.2	24.0	639.7
R16	43.5	0.0	1.3	34.4	26.6	757.5
R17	45.6	0.0	1.4	34.5	28.7	885.4
R18	47.7	0.0	1.5	34.5	30.4	1,023.3
R19	49.9	0.0	1.6	34.6	31.6	1,171.3
R20	52.0	0.0	1.8	34.6	32.6	1,329.3
R21	54.2	0.0	1.9	34.7	33.2	1,497.4
R22	56.3	0.0	2.1	34.7	33.7	1,675.5

a	11.4	2.0	0.4	32.084	88.696	46.6	
b	2.1	-1.525	1.1	0.745	0.378	-28.031	
c, K, H				34.8	34.8	5.0	
R	0.296	0.087	0.337	0.155	0.455	0.875	
R2	0.088	0.008	0.113	0.024	0.207	0.766	



- ・将来ごみ量の推計

先に求めた将来人口および1人1日あたりのごみ排出量を乗じて、将来ごみ量を推計した。

ただし、今回は実績が旧処理場での処理実績、推計が新処理場での処理推計であるため、表5に調整を行った。

また、以下の項目は過去5年間の実績の平均値を使用した。

- ・焼却処理量に対する残渣量
- ・資源化施設処理量に対する資源化量
- ・残渣量に対する最終処分量

表5 調整項目

項目	内容	対処
直接搬入の割合	処理場までの搬入距離が遠くなつたため、直接搬入の割合が少なくなると考えられる。	クリーンセンターあがのがわの3か月分の実績から推計した。
プラスチック製容器包装の排出量	プラスチック製容器包装が個別搬入になったため。	クリーンセンターあがのがわの3か月分の実績から推計した。

・将来生活排水処理量等の推計

(1) 人口の推計の推計方法

人口の将来予測は、ごみ処理基本計画と同様とした。

(2) 形態別処理人口の推計

過去5年間の形態別処理人口の変動をもとに、表6に示す6種類の推計式を作成し、相関係数(R)やグラフの形状を確認し1つを選定した。ただし、数値の変動が大きくない場合においては、最新年度実績を用いた。推計期間は計画期間(令和7年度から令和22年度)とした。し尿人口については、将来人口と形態別処理人口に齟齬が出ないよう調整した。

表6 推計方法

項目	説明
過去実績	形態別処理人口
実績期間	過去5年間(令和2年度～令和6年度)
推計式	①直線式、②べき乗式、③一次指数式、④修正指数式、 ⑤ロジスティック式、⑥二次傾向式(6種類)
推計期間	将来16年間(令和7年度～令和22年度)

表7 トレンド法による形態別処理人口推計結果

単位：人

	公共下水道	農集落排水	林集落排水	その他事業排水	合併処浄化槽	単独処理浄化槽	し尿処理	自家処理
R7	4,590	2,363	40	87	580	507	717	0
R8	4,541	2,232	40	87	555	465	681	0
R9	4,499	2,095	40	87	532	427	647	0
R10	4,463	1,953	40	87	509	392	618	0
R11	4,431	1,808	40	87	487	360	592	0
R12	4,402	1,662	40	87	467	331	568	0
R13	4,375	1,517	40	87	447	304	546	0
R14	4,351	1,376	40	87	428	279	522	0
R15	4,329	1,239	40	87	410	256	496	0
R16	4,308	1,109	40	87	392	235	468	0
R17	4,289	987	40	87	376	216	432	0
R18	4,271	873	40	87	360	198	394	0
R19	4,255	768	40	87	344	182	349	0
R20	4,239	672	40	87	330	167	298	0
R21	4,224	586	40	87	316	154	240	0
R22	4,210	509	40	87	302	141	178	0
採用式	②	⑤	最新実績	最新実績	③	③	人口調整	最新実績

①直線式、②べき乗式、③一次指数式、④修正指数式、⑤ロジスティック式、⑥二次傾向式

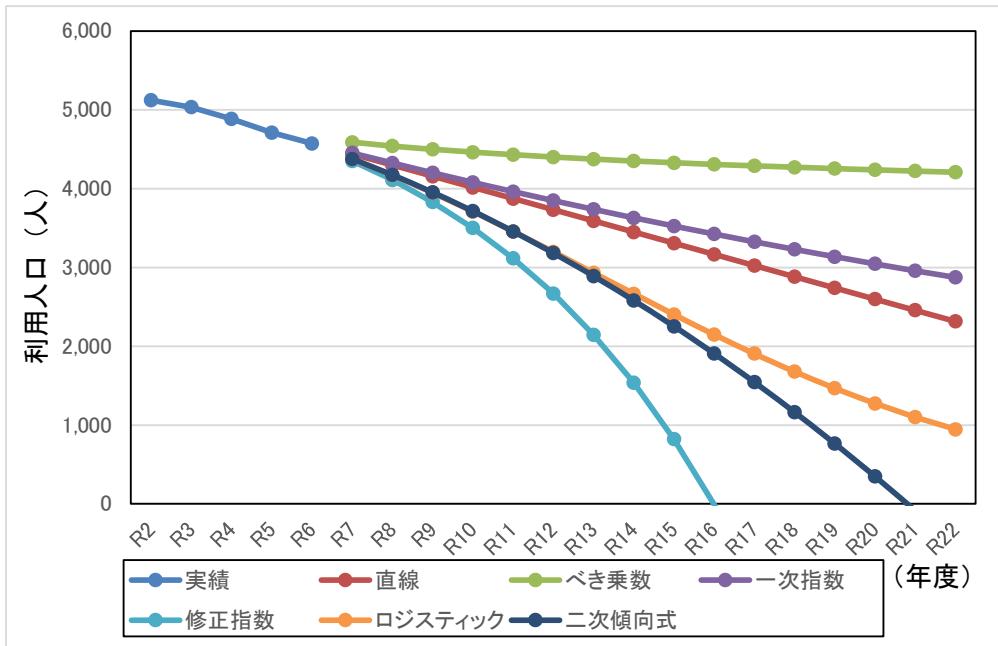
阿賀町 生活排水 公共下水道

年度	実績
H23	
H24	
H25	
H26	
H27	
R2	5,122
R3	5,034
R4	4,886
R5	4,712
R6	4,575

	計算式
直線	$y=a+b*x$
べき乗数	$y=ax^b$
一次指數	$y=a*b^x$
修正指數	$y=K-a*b^x$
ロジスティック	$y=K/(1+a*exp(-b*x))$
二次傾向式	$y=a+bx+cx^2$

年度	直線	べき乗数	一次指數	修正指數	ロジスティック	二次傾向式	
R7	4,441	4,590	4,454	4,353	4,378	4,379	
R8	4,299	4,541	4,326	4,112	4,172	4,175	
R9	4,158	4,499	4,201	3,831	3,949	3,954	
R10	4,016	4,463	4,080	3,502	3,710	3,715	
R11	3,875	4,431	3,963	3,118	3,459	3,458	
R12	3,733	4,402	3,849	2,670	3,198	3,184	
R13	3,591	4,375	3,738	2,147	2,932	2,892	
R14	3,450	4,351	3,631	1,536	2,666	2,582	
R15	3,308	4,329	3,526	823	2,404	2,254	
R16	3,167	4,308	3,425	-10	2,150	1,909	
R17	3,025	4,289	3,326	-982	1,907	1,546	
R18	2,883	4,271	3,230	-2,118	1,679	1,165	
R19	2,742	4,255	3,137	-3,443	1,469	767	
R20	2,600	4,239	3,047	-4,992	1,276	350	
R21	2,459	4,224	2,959	-6,799	1,102	-83	
R22	2,317	4,210	2,874	-8,910	947	-535	

a	5290.6	5193.7	5306.7	567.233	0.107	5228.6	
b	-141.6	-0.069	1.0	1.168	-0.184	-88.457	
c, K, H				5,790.7	5,790.7	-8.9	
R	0.995	0.943	0.993	0.997	0.998	0.998	
R2	0.990	0.889	0.987	0.994	0.995	0.995	



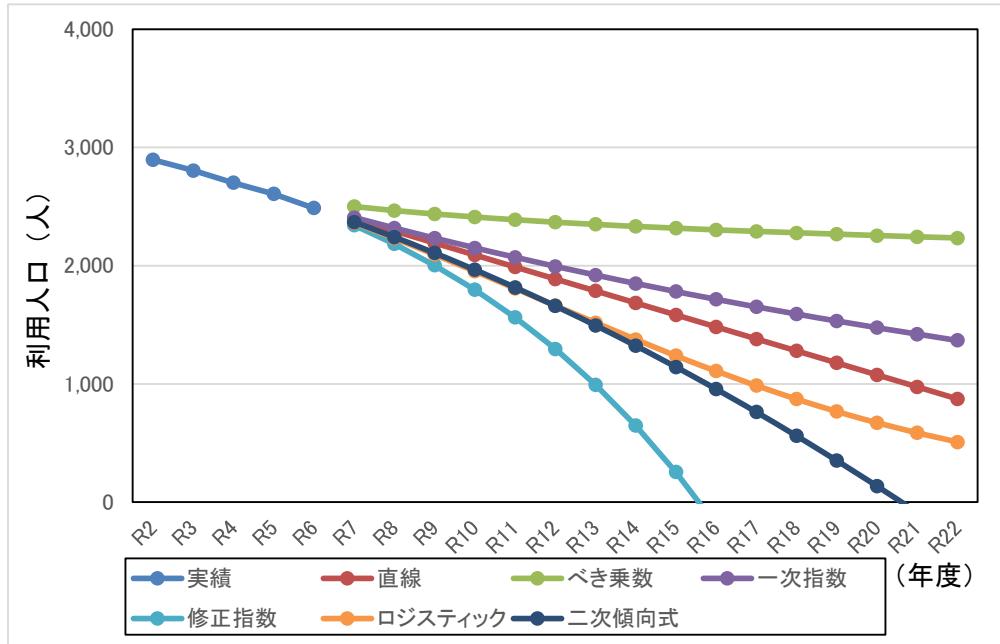
阿賀町 生活排水 農業集落排水

年度	実績
H23	
H24	
H25	
H26	
H27	
R2	2,895
R3	2,805
R4	2,701
R5	2,607
R6	2,487

	計算式
直線	$y=a+b*x$
べき乗数	$y=ax^b$
一次指數	$y=a*b^x$
修正指數	$y=K-a*b^x$
ロジスティック	$y=K/(1+a*exp(-b*x))$
二次傾向式	$y=a+bx+cx^2$

年度	直線	べき乗数	一次指數	修正指數	ロジスティック	二次傾向式	
R7	2,395	2,500	2,407	2,342	2,363	2,369	
R8	2,293	2,466	2,318	2,184	2,232	2,242	
R9	2,192	2,437	2,233	2,003	2,095	2,107	
R10	2,091	2,411	2,150	1,797	1,953	1,965	
R11	1,989	2,388	2,071	1,563	1,808	1,816	
R12	1,888	2,368	1,994	1,297	1,662	1,659	
R13	1,786	2,350	1,921	993	1,517	1,495	
R14	1,685	2,333	1,850	648	1,376	1,323	
R15	1,584	2,317	1,781	255	1,239	1,144	
R16	1,482	2,303	1,716	-193	1,109	957	
R17	1,381	2,290	1,652	-702	987	763	
R18	1,279	2,277	1,591	-1,282	873	561	
R19	1,178	2,266	1,532	-1,943	768	353	
R20	1,077	2,255	1,476	-2,694	672	136	
R21	975	2,244	1,421	-3,550	586	-88	
R22	874	2,234	1,369	-4,524	509	-319	

a	3003.2	2937.0	3017.1	527.040	0.175	2976.4	
b	-101.4	-0.090	1.0	1.138	-0.167	-78.914	
c, K, H				3,489.4	3,489.4	-3.7	
R	0.999	0.958	0.998	0.999	1.000	1.000	
R2	0.998	0.917	0.995	0.998	0.999	0.999	



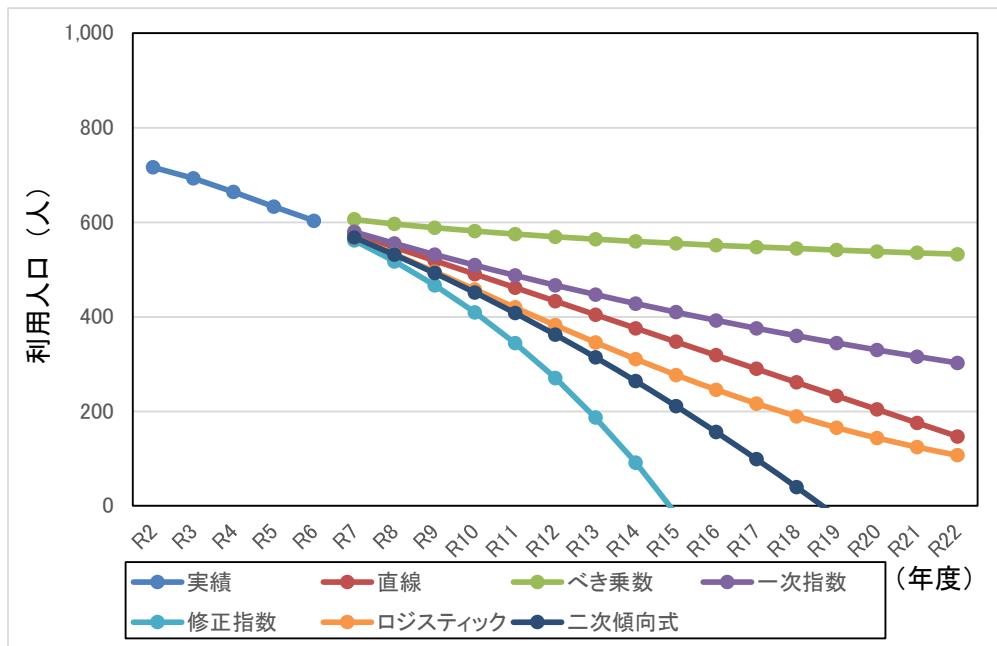
阿賀町 生活排水 合併処理浄化槽

年度	実績
H23	
H24	
H25	
H26	
H27	
R2	716
R3	693
R4	664
R5	633
R6	603

	計算式
直線	$y=a+b*x$
べき乗数	$y=ax^b$
一次指數	$y=a*b^x$
修正指數	$y=K-a*b^x$
ロジスティック	$y=K/(1+a*exp(-b*x))$
二次傾向式	$y=a+bx+cx^2$

年度	直線	べき乗数	一次指數	修正指數	ロジスティック	二次傾向式	
R7	576	606	580	562	568	568	
R8	547	596	555	517	532	531	
R9	519	588	532	467	495	493	
R10	490	581	509	409	458	451	
R11	462	575	487	344	420	408	
R12	433	569	467	271	382	362	
R13	404	564	447	187	346	314	
R14	376	560	428	92	311	264	
R15	347	555	410	-17	277	211	
R16	319	551	392	-139	246	156	
R17	290	548	376	-279	216	99	
R18	261	544	360	-437	190	40	
R19	233	541	344	-617	166	-22	
R20	204	538	330	-821	144	-86	
R21	176	535	316	-1,052	124	-152	
R22	147	532	302	-1,315	107	-221	

a	747.6	729.2	752.4	152.938	0.203	739.6	
b	-28.6	-0.103	1.0	1.135	-0.170	-21.743	
c, K, H				889.3	889.3	-1.1	
R	0.999	0.953	0.997	0.999	1.000	1.000	
R2	0.997	0.908	0.994	0.998	0.999	0.999	



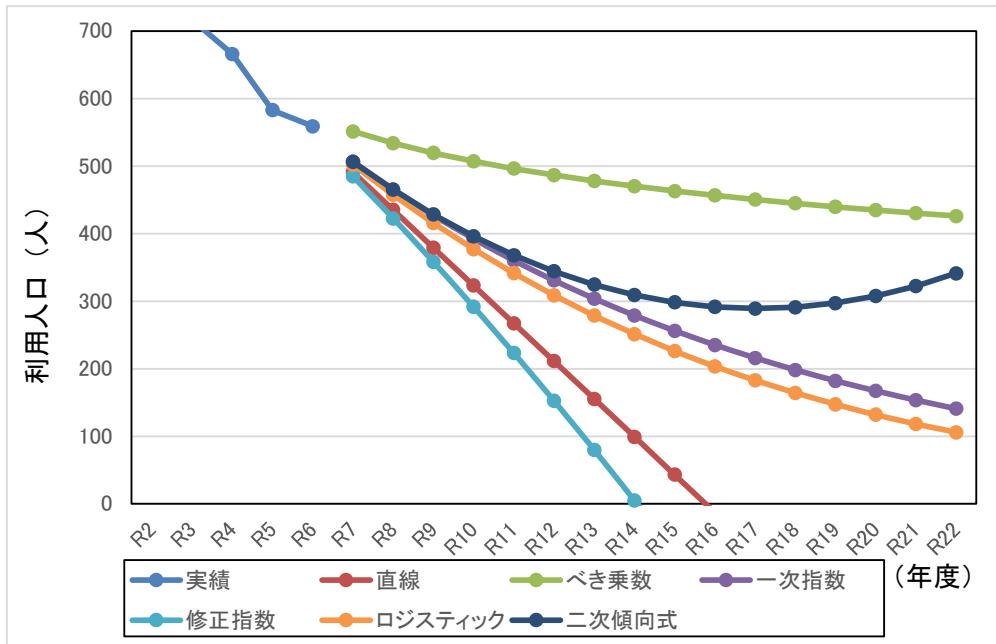
阿賀町 生活排水 単独処理浄化槽

年度	実績
H23	
H24	
H25	
H26	
H27	
R2	772
R3	717
R4	666
R5	583
R6	559

	計算式
直線	$y=a+b*x$
べき乗数	$y=ax^b$
一次指數	$y=a*b^x$
修正指數	$y=K-a*b^x$
ロジスティック	$y=K/(1+a*\exp(-b*x))$
二次傾向式	$y=a+bx+cx^2$

年度	直線	べき乗数	一次指數	修正指數	ロジスティック	二次傾向式
R7	491	551	507	485	502	506
R8	435	534	465	423	458	465
R9	379	520	427	358	416	429
R10	323	507	392	292	377	396
R11	267	496	360	223	342	368
R12	211	487	331	153	309	344
R13	155	478	304	80	279	325
R14	99	470	279	5	251	309
R15	43	463	256	-72	226	298
R16	-13	457	235	-152	204	292
R17	-69	451	216	-234	183	289
R18	-125	445	198	-319	164	291
R19	-181	440	182	-406	147	297
R20	-237	435	167	-496	132	308
R21	-293	430	154	-589	118	322
R22	-349	426	141	-685	106	341

a	827.4	797.0	845.3	1671.156	1.977	842.4
b	-56.0	-0.206	0.9	1.031	-0.116	-68.857
c, K, H				2,493.0	2,493.0	2.1
R	0.991	0.958	0.991	0.990	0.992	0.992
R2	0.981	0.918	0.983	0.979	0.983	0.983



- ・将来し尿・浄化槽汚泥処理量の推計

先に求めた将来処理形態別人口に原単位を、将来し尿・浄化槽汚泥処理量を推計した。

ただし、し尿および浄化槽汚泥の原単位は、過去5年間の実績の平均値を使用した。

なお、浄化槽汚泥発生量の推計における、浄化槽汚泥は農業集落排水、林業集落排水、その他事業排水、合併処理浄化槽、単独処理浄化槽により発生する汚泥を指す。